

和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業に係る

# 埋蔵文化財関連資料整理概報

－和歌山県内 6 遺跡の概要報告書－

2012年3月

和歌山県教育委員会

公益財団法人和歌山県文化財センター





## 例 言

1. 本書は、平成23年度和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業に係る埋蔵文化財関連資料整理業務の報告書である。
2. 当事業は和歌山県に委託を受けて、公益財団法人和歌山県文化財センターが実施した。
3. 当事業では財団法人和歌山県文化財センターが発掘調査した下記遺跡の資料整理をおこなった。

### ＜事業対象遺跡と調査コード＞

宇田森遺跡（和歌山市）：91－01・149、00－01・149

秋月遺跡（和歌山市）県Ⅷ次調査：98－01・331

小林遺跡（紀の川市）：97－09・003

平池古墳群（紀の川市）：03－10・018

八反田遺跡（新宮市）：91－43・019

那智山坊跡（那智勝浦町）：89－44・006

4. 各遺構の出土遺物については、注記・接合・復元・補強・実測・トレース・台帳整備等の作業をおこなった。また、調査担当者の協力を得て遺構の再検証をおこなうとともに、遺構図をトレースし本書に掲載した。
5. 当事業の事務局は専務理事・小堀基二、事務局長・田中洋次、事務局次長兼管理課長・山本高照、事業担当は埋蔵文化財課で、事業は埋蔵文化財課課長・村田弘、技師・川崎雅史が担当した。
6. 当事業の補助員・作業員は職業安定所を通じ雇用した。
7. 事業期間は2011年5月19日～2012年3月16日である。
8. 各事業の発掘調査の内容については、実績報告書を基に調査の主担当者と打ち合わせて、川崎が執筆し、編集した。
9. 調査及び整理事業の資料は和歌山県教育庁文化遺産課及び公益財団法人和歌山県文化財センターが保管している。
10. 本書の作成に際しては、下記の方々、関係機関からの協力・助言を得た。記して、感謝の意を表したい。  
河内一浩（羽曳野市教育委員会）、阪本敏行、森村健一（堺市立泉北すえむら資料館）、紀の川市教育委員会、和歌山県立紀伊風土記の丘

# 目 次

## I 事業概要

|                    |   |
|--------------------|---|
| 1. 事業の趣旨 .....     | 1 |
| 2. 事業内容 .....      | 1 |
| (1) 業務の概要 .....    | 1 |
| (2) 雇用促進 .....     | 2 |
| (3) 整理業務 .....     | 2 |
| (4) 概要報告書の作成 ..... | 2 |

## II 資料整理対象遺跡の概要報告 .....

|   |
|---|
| 3 |
|---|

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 宇田森遺跡 .....     | 3  |
| (1) 遺跡の位置と概要 ..... | 3  |
| (2) 調査成果 .....     | 3  |
| (3) まとめ .....      | 9  |
| 2. 秋月遺跡 .....      | 14 |
| (1) 遺跡の位置と概要 ..... | 14 |
| (2) 調査成果 .....     | 14 |
| (3) まとめ .....      | 19 |
| 3. 小林遺跡 .....      | 22 |
| (1) 遺跡の位置と概要 ..... | 22 |
| (2) 調査成果 .....     | 22 |
| (3) まとめ .....      | 26 |
| 4. 平池古墳群 .....     | 29 |
| (1) 発掘調査の概要 .....  | 29 |
| (2) 遺構 .....       | 29 |
| (3) 遺物 .....       | 37 |
| (4) まとめ .....      | 39 |
| 5. 八反田遺跡 .....     | 40 |
| (1) 遺跡の位置と概要 ..... | 40 |
| (2) 調査の成果 .....    | 40 |
| (3) まとめ .....      | 42 |
| 6. 那智山坊跡 .....     | 50 |
| (1) 遺跡の位置と概要 ..... | 50 |
| (2) 調査の成果 .....    | 50 |
| (3) まとめ .....      | 52 |

|               |       |
|---------------|-------|
| 出土遺物観察表 ..... | 60～74 |
|---------------|-------|

|             |    |
|-------------|----|
| 報告書抄録 ..... | 75 |
|-------------|----|

## 挿 図 目 次

|     |                        |     |
|-----|------------------------|-----|
| 図 1 | 事業対象遺跡の位置図             | 1   |
| 図 2 | 宇田森遺跡の位置               | 2   |
| 図 3 | 宇田森遺跡遺構（1）             | 5・6 |
| 図 4 | 宇田森遺跡遺構（2）             | 8   |
| 図 5 | 宇田森遺跡出土遺物（1）           | 10  |
| 図 6 | 宇田森遺跡出土遺物（2）           | 11  |
| 図 7 | 宇田森遺跡出土遺物（3）           | 12  |
| 図 8 | 宇田森遺跡出土遺物（4）           | 13  |
| 図 9 | 秋月遺跡の位置                | 14  |
| 図10 | 秋月遺跡 調査区位置図            | 14  |
| 図11 | 秋月遺跡遺構（1）              | 15  |
| 図12 | 秋月遺跡遺構（2）              | 17  |
| 図13 | 秋月古墳群                  | 19  |
| 図14 | 秋月遺跡出土遺物（1）            | 20  |
| 図15 | 秋月遺跡出土遺物（2）            | 21  |
| 図16 | 小林遺跡の位置                | 22  |
| 図17 | 小林遺跡 調査区位置図            | 22  |
| 図18 | 小林遺跡遺構（1）              | 23  |
| 図19 | 小林遺跡遺構（2）              | 25  |
| 図20 | 小林遺跡出土遺物（1）            | 27  |
| 図21 | 小林遺跡出土遺物（2）            | 28  |
| 図22 | 平池古墳群の位置               | 29  |
| 図23 | 平池 1 号墳 調査区配置図・平面図     | 29  |
| 図24 | 平池 1 号墳 調査区平面図・土層図（1）  | 30  |
| 図25 | 平池 1 号墳 調査区平面図・土層図（2）  | 32  |
| 図26 | 平池 1 号墳 調査区平面図・土層図（3）  | 33  |
| 図27 | 平池 2 号墳 調査区配置図・平面図     | 33  |
| 図28 | 平池 2 号墳 調査区平面図・土層図     | 34  |
| 図29 | 平池 3 号墳 調査区配置図・平面図・土層図 | 35  |
| 図30 | 平池 4 号墳 調査区配置図・平面図・土層図 | 36  |
| 図31 | 平池古墳群出土遺物（1）           | 38  |
| 図32 | 平池古墳群出土遺物（2）           | 39  |
| 図33 | 八反田遺跡の位置               | 40  |
| 図34 | 八反田遺跡 調査区位置図           | 40  |
| 図35 | 八反田遺跡遺構（1）             | 43  |
| 図36 | 八反田遺跡遺構（2）             | 44  |
| 図37 | 八反田遺跡出土遺物（1）           | 45  |
| 図38 | 八反田遺跡出土遺物（2）           | 46  |
| 図39 | 八反田遺跡出土遺物（3）           | 47  |
| 図40 | 八反田遺跡出土遺物（4）           | 48  |
| 図41 | 八反田遺跡出土遺物（5）           | 49  |
| 図42 | 那智山坊跡の位置               | 50  |
| 図43 | 那智山坊跡 調査区位置図           | 50  |
| 図44 | 那智山坊跡遺構                | 51  |
| 図45 | 那智山坊跡出土遺物（1）           | 54  |
| 図46 | 那智山坊跡出土遺物（2）           | 55  |
| 図47 | 那智山坊跡出土遺物（3）           | 56  |
| 図48 | 那智山坊跡出土遺物（4）           | 57  |
| 図49 | 那智山坊跡出土遺物（5）           | 58  |
| 図50 | 那智山坊跡出土遺物（6）           | 59  |

## 写真目次

|      |                                |    |
|------|--------------------------------|----|
| 写真1  | 遺物洗浄作業 .....                   | 2  |
| 写真2  | 遺物実測作業 .....                   | 2  |
| 写真3  | 宇田森遺跡（平成3年度）第3トレンチ（西から）.....   | 4  |
| 写真4  | 宇田森遺跡（平成3年度）S X 01（東から） .....  | 4  |
| 写真5  | 宇田森遺跡（平成12年度）Xトレンチ（北から）.....   | 7  |
| 写真6  | 宇田森遺跡（平成12年度）S K 01（北から） ..... | 7  |
| 写真7  | 宇田森遺跡（平成12年度）近世の遺構（東から）.....   | 9  |
| 写真8  | 秋月遺跡調査区 西区（北から） .....          | 16 |
| 写真9  | 秋月遺跡 遺構110（南東から）.....          | 16 |
| 写真10 | 秋月遺跡 遺構111（東から）.....           | 18 |
| 写真11 | 秋月遺跡 遺構106（東から）.....           | 18 |
| 写真12 | 秋月遺跡 遺構316・326～328（北東から） ..... | 19 |
| 写真13 | 小林遺跡 A区上面遺構（東から） .....         | 24 |
| 写真14 | 小林遺跡 A区下面遺構（東から） .....         | 24 |
| 写真15 | 小林遺跡 B区上面遺構（北西から） .....        | 26 |
| 写真16 | 平池1号墳全景（北から） .....             | 33 |
| 写真17 | 平池1号墳8トレンチ（東から） .....          | 33 |
| 写真18 | 平池2号墳全景（南から） .....             | 34 |
| 写真19 | 平池3号墳2トレンチ（南から） .....          | 35 |
| 写真20 | 平池4号墳全景（北から） .....             | 36 |
| 写真21 | 八反田遺跡 A区（北から） .....            | 41 |
| 写真22 | 八反田遺跡 S B 1（西から） .....         | 41 |
| 写真23 | 八反田遺跡 B区（南から） .....            | 41 |
| 写真24 | 八反田遺跡 B区不明遺構（東から） .....        | 42 |
| 写真25 | 那智山坊跡 調査前の現状（南から） .....        | 50 |
| 写真26 | 那智山坊跡 第2・第3石垣（南から） .....       | 52 |
| 写真27 | 那智山坊跡 建物基礎（北から） .....          | 52 |
| 写真28 | 那智山坊跡 掘立柱建物・柱穴（南から） .....      | 52 |

# I 事業概要

## 1. 事業の趣旨

平成15・16年度に緊急雇用促進事業において、発掘調査で出土し、県が収蔵庫にコンテナで保管する遺物について整理をおこない、再収納を実施した。それにより、報告書が刊行されていない発掘調査成果で、活用に資するものについて、平成16年度に「和歌山県緊急雇用対策特別基金事業に係る発掘調査資料整理業務」として、6遺跡の調査成果及び出土遺物の整理・資料整理・概要報告書作成事業を実施した。

今回、先の事業では対象とならなかった、6遺跡の発掘調査成果及び出土遺物整理について、新たに出土遺物及び調査記録整理を行い、概要報告書を作成することになった。

事業の対象となった6遺跡は、宇田森遺跡（和歌山市）、秋月遺跡（和歌山市）、小林遺跡（紀の川市）、平池古墳群（紀の川市）、八反田遺跡（新宮市）、那智山坊跡（那智勝浦町）である。宇田森遺跡は、県下を代表する弥生時代中期の集落で、秋月遺跡は、紀伊国一宮である日前宮に接する遺跡で、過去の調査で県下最古の前方後円墳が確認されている。小林遺跡は、直近にある古代寺院・最上廃寺と関連性が想定でき、また、平池古墳群は、「紀伊の飛鳥」と呼ばれ、前方後円墳や大型円墳が点在する地域に築かれている。八反田遺跡は、弥生～古墳時代にかけての各地の土器が出土する集落で、那智山坊跡は、熊野三山の栄華を窺える多くの遺物が出土する。

以上のうち、宇田森遺跡と平池古墳群は、遺跡の内容を把握するための調査で、遺跡は現状保存されたものの、他の4遺跡は緊急調査で記録保存され、発見された遺構の現状保存は図れなかった。発掘調査は、正報告書の発刊をもって調査完了とすべきであるが、財政事情等の理由もあり実現していなかった。本報告が、これの代替とはならないものの、発掘調査成果の一端を公開することにより、学術研究及び教育に活用されることが望まれる。

## 2. 事業内容

### (1) 業務の概要

当事業は、「平成23年度和歌山県埋蔵文化財関連資料整理」で、事業の遂行にあたっては、公共職業安定所を通じて作業員を雇用し、事業対象となる6遺跡の出土遺物及び調査記録整理・概要報告書作成等の作業を実施した。事業期間は平成23年5月19日から平成24年3月16日までである。

### (2) 雇用促進

当事業は雇用対策事業であり、公共職業安定所を通じて整理補助員・整理事業員を雇用し、事業にあたっ

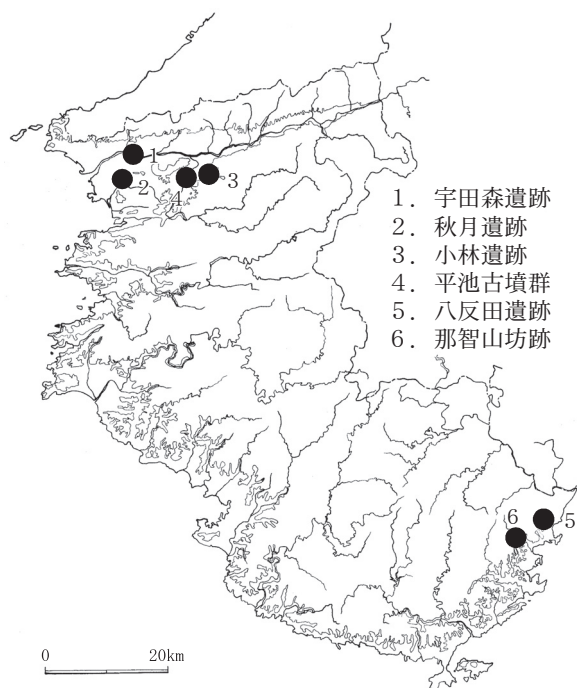


図1 対象事業遺跡の位置図



た。雇用期間は平成23年10月6日から平成24年3月9日までの5箇月間である。作業従事者数は女性7人で、内訳は整理補助員が延106人、整理作業員が延320人である。

### （３） 整理業務

対象となる遺跡の遺物コンテナ数は、宇田森遺跡63箱、秋月遺跡59箱、小林遺跡26箱、平池古墳群16箱、那智山坊跡44箱、八反田遺跡48箱の計256箱である。作業は全点を対象に、応急整理等で未実施であった遺物の洗浄・注記・接合・補強・復元を行うとともに、数量把握を伴う登録及び登録写真撮影、台帳作成をおこなった。また、登録写真・登録台帳はデータ化し、ＣＤ・ＤＶＤに保存した。これらの作業は主に整理作業員があたり、最終的に概要報告書掲載遺物とそれ以外の遺物に分け、コンテナに再収納した。

### （４） 概要報告書の作成

概要報告書作成のために、出土遺物の実測・トレース・拓本、遺構図のトレースとともに、これらのレイアウトをおこない、仕上がり寸法でＡ３図版１枚、Ａ４図版29枚、Ａ５図版６枚、Ａ６図版14枚を作成した。作業は、主に整理補助員が当たった。また、このほかに、それぞれ遺物の所見を一覧にした観察表を作成している。

遺物の実測点数は580点で、59点は調査担当者から提供を受け、選別した後624点の遺物トレースを実施した。可能限りの遺物掲載に努めたが、所収した遺物が遺跡の内容すべてを物語るものではない。いくつかの遺跡において、ラベルを紛失、応急整理で実施されていた注記が消えるなど、出土地点等が不明な遺物もあったが、遺跡の性格を顕すようなものについては掲載した。また、遺構番号を付した図の不備で、出土遺構名が判明していても、遺構の対照ができなかったものについても、同様な理由で掲載している。

遺構図は、概要報告書の紙面の都合もあり、発掘調査で作成されている図面で、全体図を基本として選定し掲載した。なお、遺構名は、実績報告書で変更されたものもあったが、遺物カードとの整合性から基本的に調査時に付されたものを使用している。このこともあり、遺跡によって番号に冠する名称は「ＳＫ」・「遺構」など異なる。また、宇田森遺跡のように２次の調査が行われている場合は、同じ遺構名も存在する。



写真１ 遺物洗浄作業



写真２ 遺物実測作業

## Ⅱ 資料整理対象遺跡の概要報告

### 1. 宇田森遺跡

調査コード 91-01・149 00-01・149

所在地 和歌山市宇田森

調査原因 遺跡の範囲確認

期 間 平成3年度 1991.09.01～1992.01.31

平成12年度 2000.09.02～10.31

調査機関 (財)和歌山県文化財センター

調査担当 平成3・12年度 黒石哲夫

調査面積 平成3年度 680㎡

平成12年度 180㎡

遺跡種別 集落跡

主な成果 弥生時代中期の居住範囲を確認

今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告

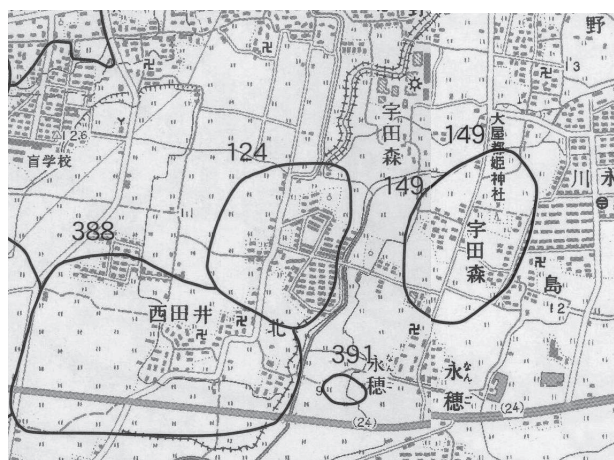


図2 宇田森遺跡の位置（上図の149）

#### （1） 遺跡の位置と概要

宇田森遺跡は和歌山市北東部にあり、紀ノ川北岸に形成された標高9～10m前後の沖積平野に所在する。遺跡の範囲は宇田森集落から式内社である大屋都姫神社にかけての付近で、昭和42・43年度にかけておこなわれた発掘調査で、竪穴建物・溝などの遺構や多数の遺物が発見された。これにより弥生時代から江戸時代にかけての複合遺跡であることが明らかになり、鴨居川を挟んで対峙するように立地する北田井遺跡などとともに、本県を代表する弥生時代中期の集落遺跡として周知されている。

調査対象地は、旧水田に盛土をおこないグラウンドとして使用されていたが、宅地開発が進行するなか、今後宅地として土地活用される可能性もあることから、弥生時代中期の集落をはじめ、遺跡の広がりを確認するため平成3年度と平成12年度の2度にわたって試掘確認調査が実施された。

#### （2） 調査成果

##### A. 平成3年度

グラウンドとなっている敷地のうち、昭和42年度の調査で内容確認されている北西部以外に、幅約4mのトレンチを設定した。トレンチは東西方向に3本（北より第1～3トレンチ）と、南北方向2本（西より第4・5トレンチ）を、井桁状に28～36m間隔で交差するように配置した。ただ、盛土が2.0m近くに及び、遺構面までの深さが2.0m以上となることから、遺構検出が行えたのは、調査区のごく一部にとどまった。盛土以下の基本的な層序は、旧耕作土・床土・中世の包含層、弥生時代の包含層となる。検出した遺構は、断片的なものでしかなく、掘り下げも最小限にとどめていることから遺構の性格を十分把握することはできず、また、溝としているものについても、延長方向に対応する落ちが確認できておらず、検討を要する。

##### a. 第1トレンチ

第4トレンチと交差する部分で、弥生時代の溝2条（SD13・14）を検出した。トレンチ中央から東側

は大きく攪乱をうけている。

S D13はS D14と交差する溝で、それより新しい。幅0.5mで、長さ3.5m確認している。遺物は弥生時代後期の土器などが出土している。

S D14は昭和42年度で検出されたA溝に続くもので、東側は攪乱坑によって削平されるが、西側は北西方向に延び、弧を描いて南西方向に折れることが明らかになっている。延長35m以上あり、幅1.3m、深さ0.4mで、断面形状は船底状を呈する。遺物は弥生時代中期の土器（11～14）・サヌカイトなどが出土している。

b. 第2トレンチ

トレンチ中央付近で弥生時代の溝（S D02・03）、土坑（S X01）などを検出している。

S D02・03は落ち際を確認した程度で規模は明らかでない。S D02は深さが0.6m以上あり、弥生時代中期・後期の土器（17～31）が多量に出土している。S X01は楕円形を呈する土坑で、長さ1.45m、幅0.95m、深さ0.6mで、断面はU字状を呈する。遺物は多量の弥生時代中期・後期の土器（39～46）のほか、石鏃（66）などが出土している。

c. 第3トレンチ

トレンチの西端でのみ遺構検出をおこなっている。時期不詳のピット群や細い溝（S D11・12）などを検出している。

d. 第4トレンチ

トレンチの北端で弥生時代の溝（S D15）、トレンチの中央で弥生時代の溝（S D19）やピット群を検出している。

S D15は北方向への落ちを検出したのみで全容は明らかでないが、幅4.0m以上、深さ0.4m以上を測る。遺物は弥生時代中期・後期の土器（32）や柱状片刃石斧（58）などが出土している。S D19は南方向への落ちを検出したのみで全容は明らかでないが、幅7.0m以上、深さ0.3m以上を測る。窪地の可能性もある。遺物は弥生時代中期の土器などが出土している。

e. 第5トレンチ

トレンチの中央付近で弥生時代の中期の溝（S D01・04・05・07・08・17）や土坑（S K01・03・04）、弥生時代後期の溝（S D06・18）などのほか、弥生時代中期と考えられる竪穴建物の落ち（S I 01）を検出している。

S D01は幅12.0m、深さ0.7m以上あり、落ち際の状況から東西方向に延びる流路の可能性も考えられるが、延長方向に同様な落ちが検出されていないことから、窪地状の遺構の可能性もある。遺物は弥生時



写真3 宇田森遺跡（平成3年度）第3トレンチ（西から）

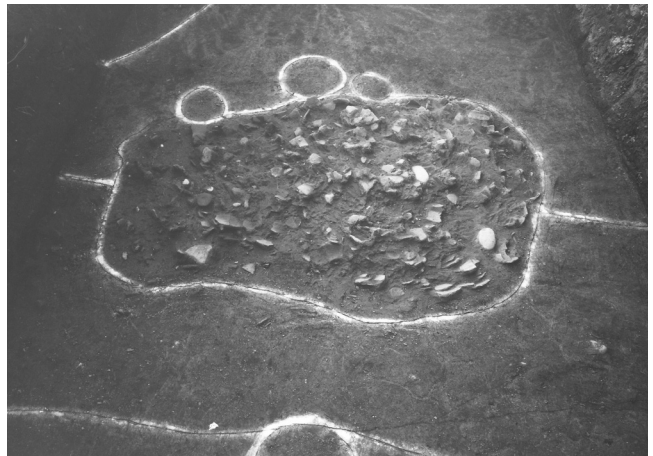
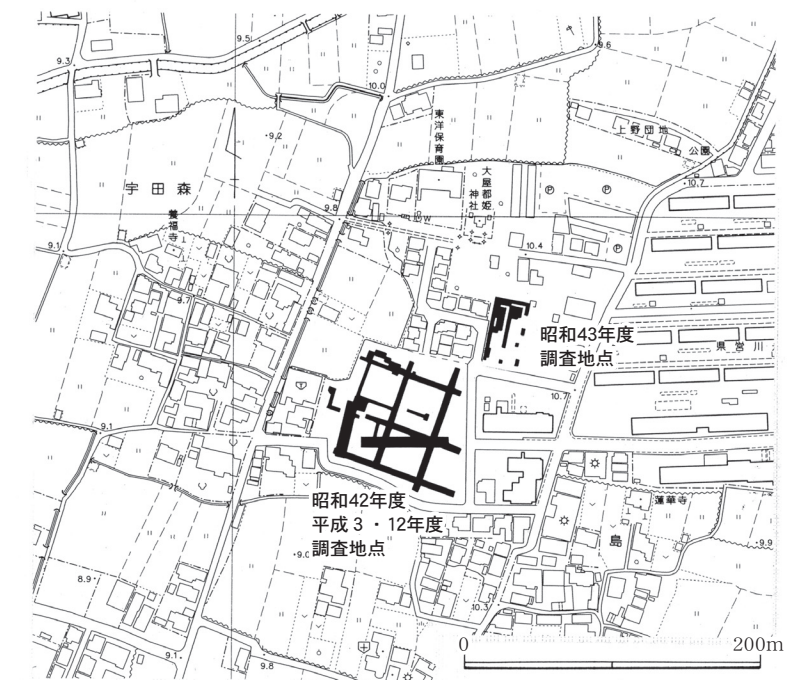
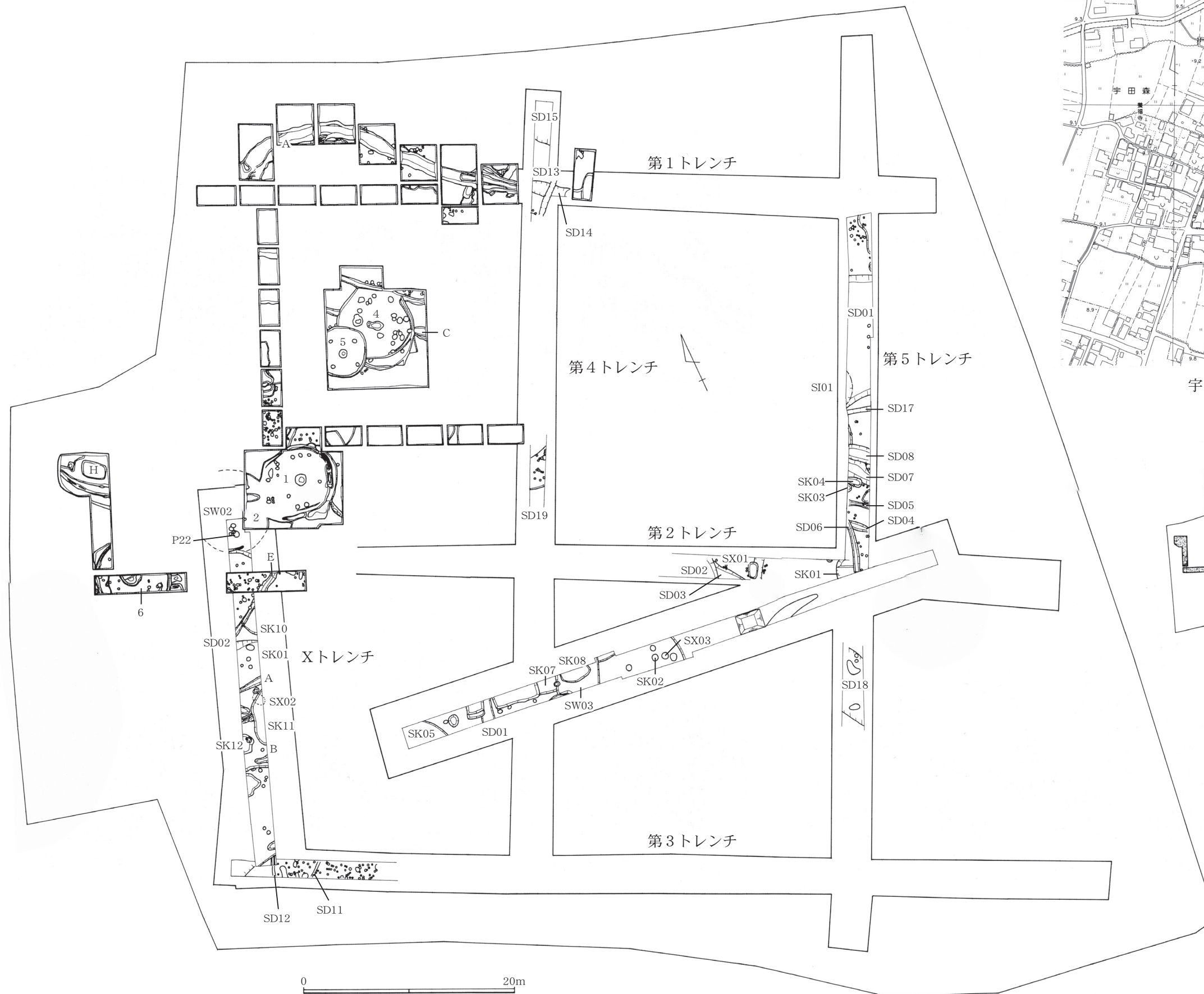
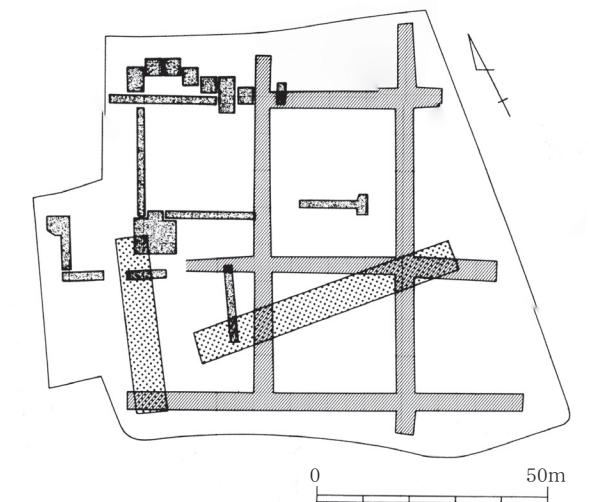


写真4 宇田森遺跡（平成3年度）S X01（東から）





宇田森遺跡既往の調査区



調査区位置図

図3 宇田森遺跡遺構(1)

代中期の土器（1～8）、石包丁（59・60）、石鏃（61）などが出土している。S D04・05・07・08は近接して北西－南東方向に延びる溝で、規模はS D04が幅約0.8m、S D05が幅0.4m、S D07・08が幅1.5～2.0mを測る。遺物はS D04から弥生土器（9）などが、S D05からも弥生土器（10）などが出土している。S K03・04は全容が明らかでないが楕円形もしくは円形を呈すると考えられる。遺物はS K03から弥生土器（15）などが、S K04からも弥生土器（16）などが出土している。

S D06は南北方向に延びる溝で、S D04やS K01を切り込む。遺物は弥生土器などが出している。S D18は北西－南東方向に延びる溝で、第2トレンチのS D02かS D03に対応する可能性がある。幅6.4m、深さ0.4m以上で、断面は船底状を呈すると考えられる。遺物は弥生土器（33～38）などが出土している。

## B. 平成12年度

平成3年度の調査区と同じグラウンド内で、昭和42年度・平成3年度の調査を補足するため既往の調査区に一部重複させ、南北方向に約35mのXトレンチと東西方向に約55mのYトレンチを、検出面の幅が2mになるように設定し調査を実施した。

### a. Xトレンチ

**弥生時代の遺構** 弥生時代中期の竪穴建物（S W02）・土坑（S K10～12）、弥生時代後期の溝（S D02）などがある。

S W02はトレンチの北端部で検出したもので、位置関係から昭和42年度の調査で検出したA地区2号建物と同じで、復元すると直径7m程度と推定できる。壁の高さは0.35mあり、壁際には壁溝が巡る。床面上で検出したP22は建物に伴う柱穴の可能性があり、弥生土器（69～71）が出土する。

S K10～12はトレンチ中央付近で検出したもので、大半が調査区域外となり全容不明である。S K11は長さ5.3m、幅1.2m以上で、深さ0.3mを測り、遺物は弥生土器（77）などが出土する。S K12は長さ2.0m、幅1.0mを測り、遺物は弥生土器（78）が、S K10からも弥生土器（76）が出土する。

S D02はトレンチの北寄りを斜めに横切るように検出した。長さ4.0m以上で、幅約0.4m、深さ約0.3mを測る。昭和42年度調査のB地区E溝と同一のもので、弥生時代後期末頃の土器（82）などが出土している。

**中世の遺構** 土坑（S K01）、窪地（S X02）などがある。S K01はトレンチの中央付近で検出した。平面形状が楕円形を呈し、長さ・幅約0.9m×0.6m、深さ0.15mを測る。遺物は土師器皿



写真5 宇田森遺跡（平成12年度）Xトレンチ（北から）



写真6 宇田森遺跡（平成12年度）S K01（北から）



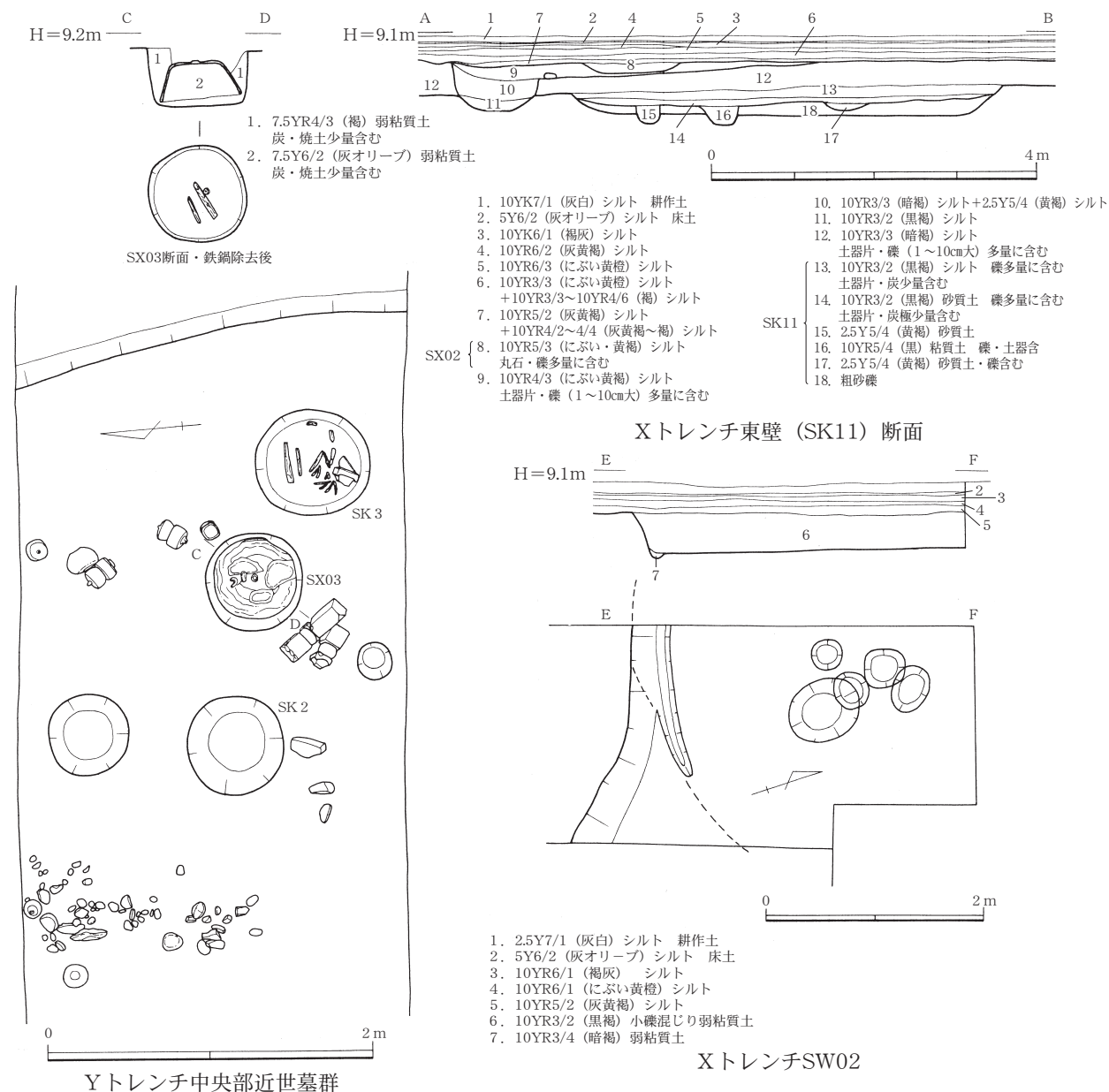


図4 宇田森遺跡遺構(2)

(91~94) などが出土している。SX02はトレンチ中央付近で検出したもので、瓦片や礫などとともに国産陶器(84~86)、土師器(87~89)、瓦質土器(90)などが出土している。出土遺物から室町時代中期の遺構であると考えられる。

#### b. Yトレンチ

**弥生時代の遺構** 弥生時代中期の土坑(SK05・08)、弥生時代後期の土坑(SK04・SK07・SW03)や溝(SD01)などがある。

SK05はトレンチ南端で検出したもので、ほとんどが調査区域外となる。検出できた上端は弧状を呈し、底面も平坦であることから円形竪穴建物の可能性もあるが、床面に存在すべき壁溝や柱穴は確認できない。埋土から弥生土器(72)などが出土している。SK08は上部をSW03によって削平される。北側が調査区域外であるが、平面形状は楕円形を呈すると考えられ、長さ3.0m、幅1.1m以上、現存する深さ0.1mを測る。埋土には炭や焼土が混入しており、弥生土器(73~75)がまとまって出土している。

S K 04は方形状の土坑で、北側が調査区域外となる。南辺は約4.4mで、深さ約0.2mを測る。底はほぼ平坦で、埋土から弥生土器が出土している。S K 07はS K 04とS W 03の間に位置し、両者より古い。北側は調査区域外となる。埋土から弥生時代後期末頃の土器（83）が出土している。S W 03は平面が方形状で、1辺は4.2m以上、深さ0.25mを測る。底面はほぼ平坦で、埋土から弥生土器などが出土している。S D 01はトレンチの西端付近で検出したもので、幅1.2m、深さ約0.2mの規模である。断面形状は箱状で、遺物は弥生土器（80・81）が出土する。

**近世の遺構** 中央部で土壇墓群（S K 02・03・015・016、S X 03）を検出した。昭和42年の埋立て時まで墓地があった地点である。土壇墓は円形で、直径0.5～0.7m、深さ0.3m前後を測る。このうちS K 03・S X 03からは人骨片が出土し、埋土に炭・焼土など含まれることから、火葬骨を埋納したものであると考えられる。また、周辺部には、五輪塔や宝篋印塔などの石塔が散乱する。S X 03は底部に穴を穿った鉄鍋を伏せて蓋としたもので、内部からは、銭貨（寛永通宝）、土師質柿釉小皿などが出土している。また、同様な小皿はS K 02からも出土（95～100）しており、土壇墓群の時期は江戸時代後期から幕末頃であると考えられる。ただ、周辺から出土する石塔類には中世末期から近世初め頃に帰属するものがあることやS X 03の盛土内に16世紀代の唐津焼皿（101）が含まれていたことなどから、墓地の成立はこの頃まで遡る可能性が高い。

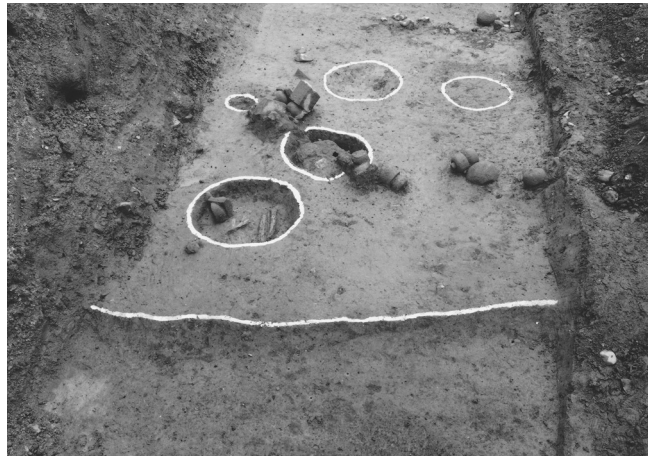


写真7 宇田森遺跡（平成12年度）近世の遺構（東から）

### （3） まとめ

これまでの調査成果から、宇田森遺跡は弥生時代中期から江戸時代に至る複合遺跡で、その規模は南北約600m、東西約400mの範囲が想定できる。遺跡が最も活況を呈するのは弥生時代中期で、この時期の遺構・遺物が最も多い。これ以後は、溝や土坑などは検出できるものの、住居跡などは確認できず、古墳時代中期以降奈良時代の遺構・遺物はほとんどない状況である。中世には、一定量の遺物も出土し、柱穴なども検出していることから集落が営まれていた可能性がある。また、江戸時代には、共同墓地が築かれていることもあきらかになった。

弥生時代中期の居住範囲は、竪穴建物が密集している昭和42年度のA地点から大屋都姫神社にかけてであると想定で、およそ東西約200m、南北約200mで、現在見つかった遺構から判断すれば、環濠に囲繞されていなかった可能性がある。

### ＜過去の主要文献＞

小賀直樹1968『和歌山市宇田森遺跡発掘調査概報』和歌山県教育委員会

藤丸紹八郎1969『和歌山市宇田森遺跡発掘調査概報2』和歌山県教育委員会

黒石哲夫2001「宇田森遺跡の確認調査」『（財）和歌山県文化財センター年報』（財）和歌山県文化財センター

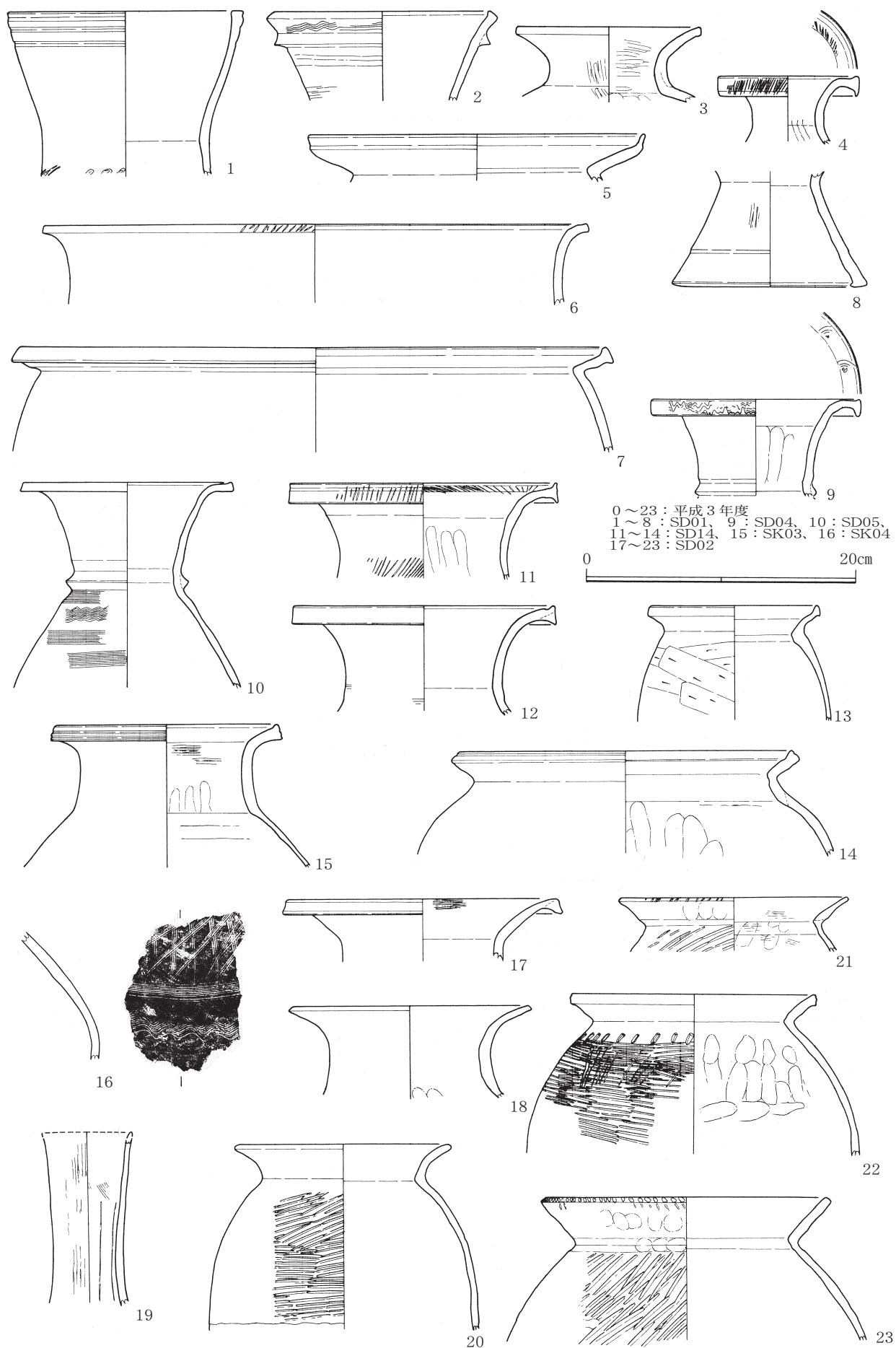


図5 宇田森遺跡出土遺物（1）



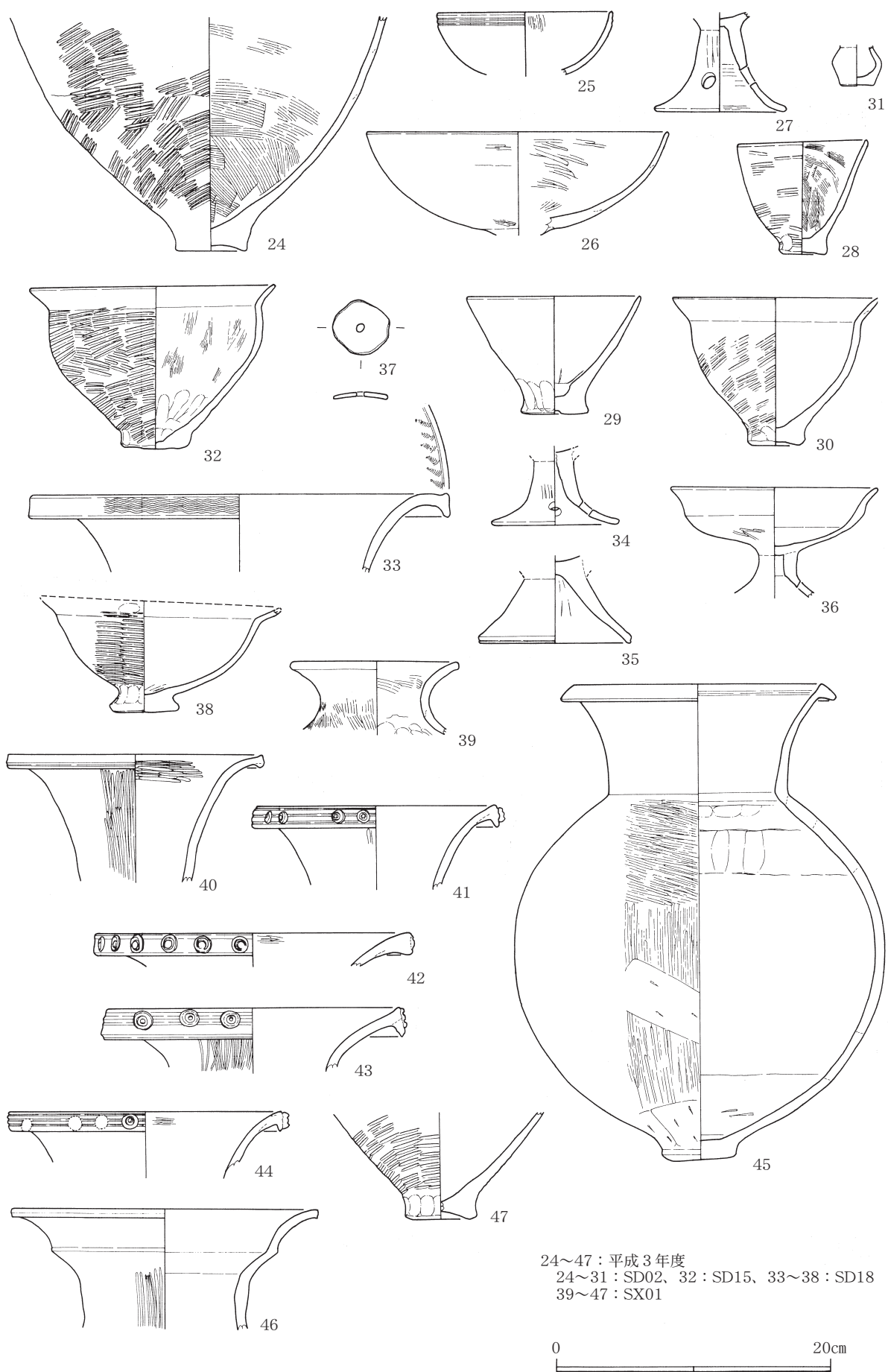
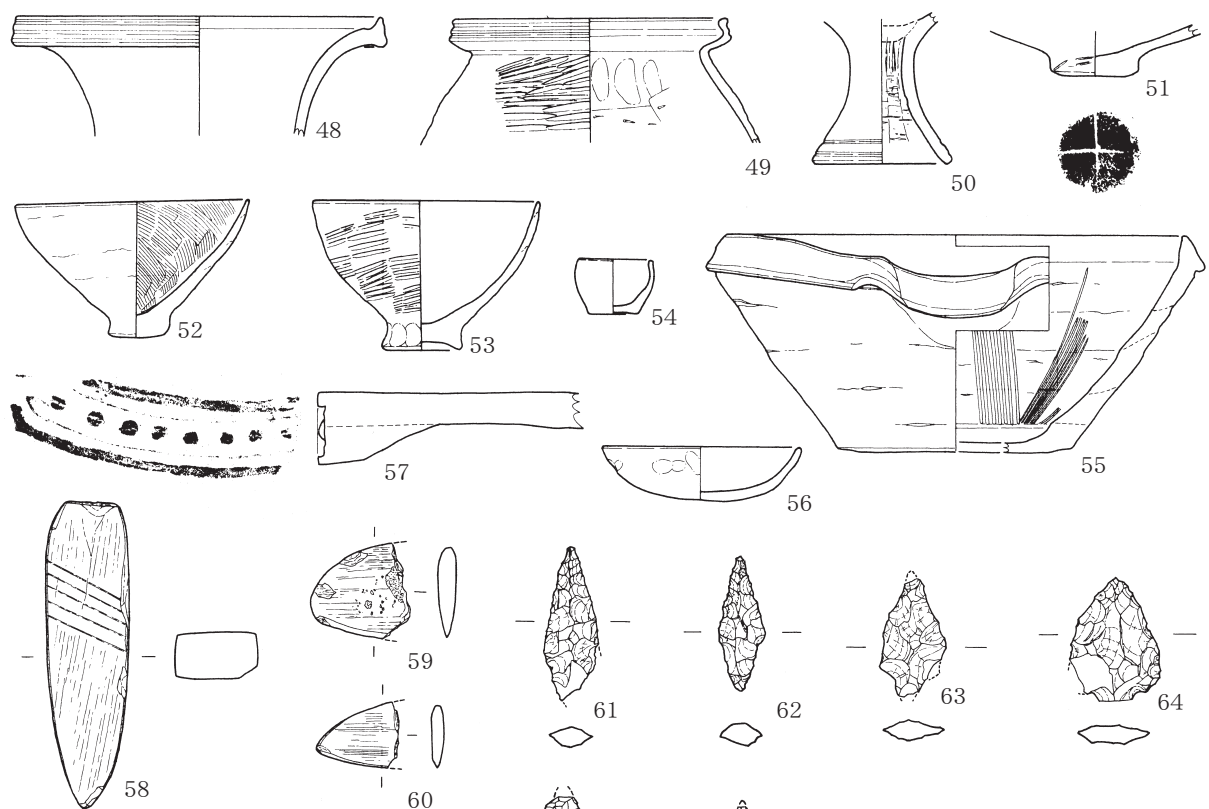


図6 宇田森遺跡出土遺物（2）

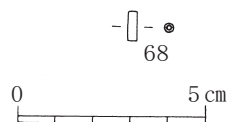


48～68：平成3年度

48～50・52～57・62・67：包含層等、51：SK02

58：SD15、59～61・64：SD01、63：SK06

65：SX02、66：SX01、68：SD02



(61～68のみ)

69～78：平成12年度

69～71：P 22 (SW02柱穴)、72：SK05、

73～75：SK08、76：SK10、77：SK11、

78・79：SK12

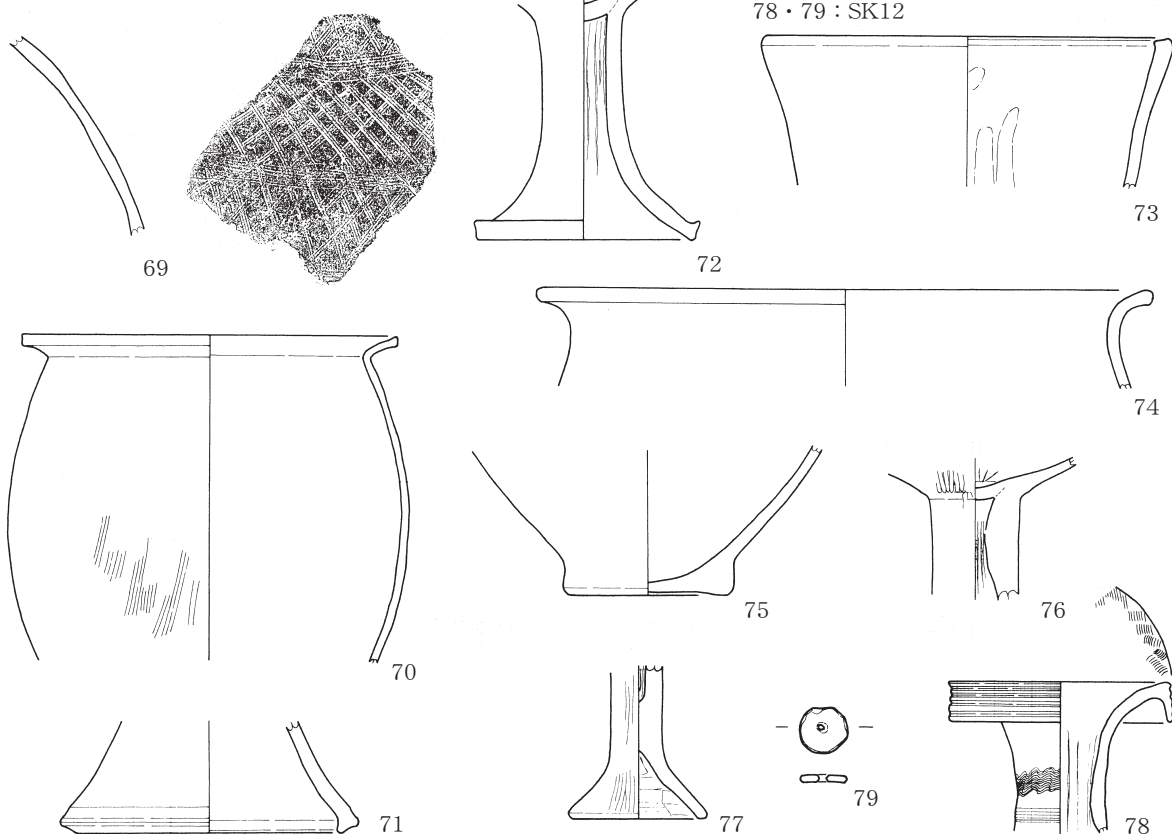
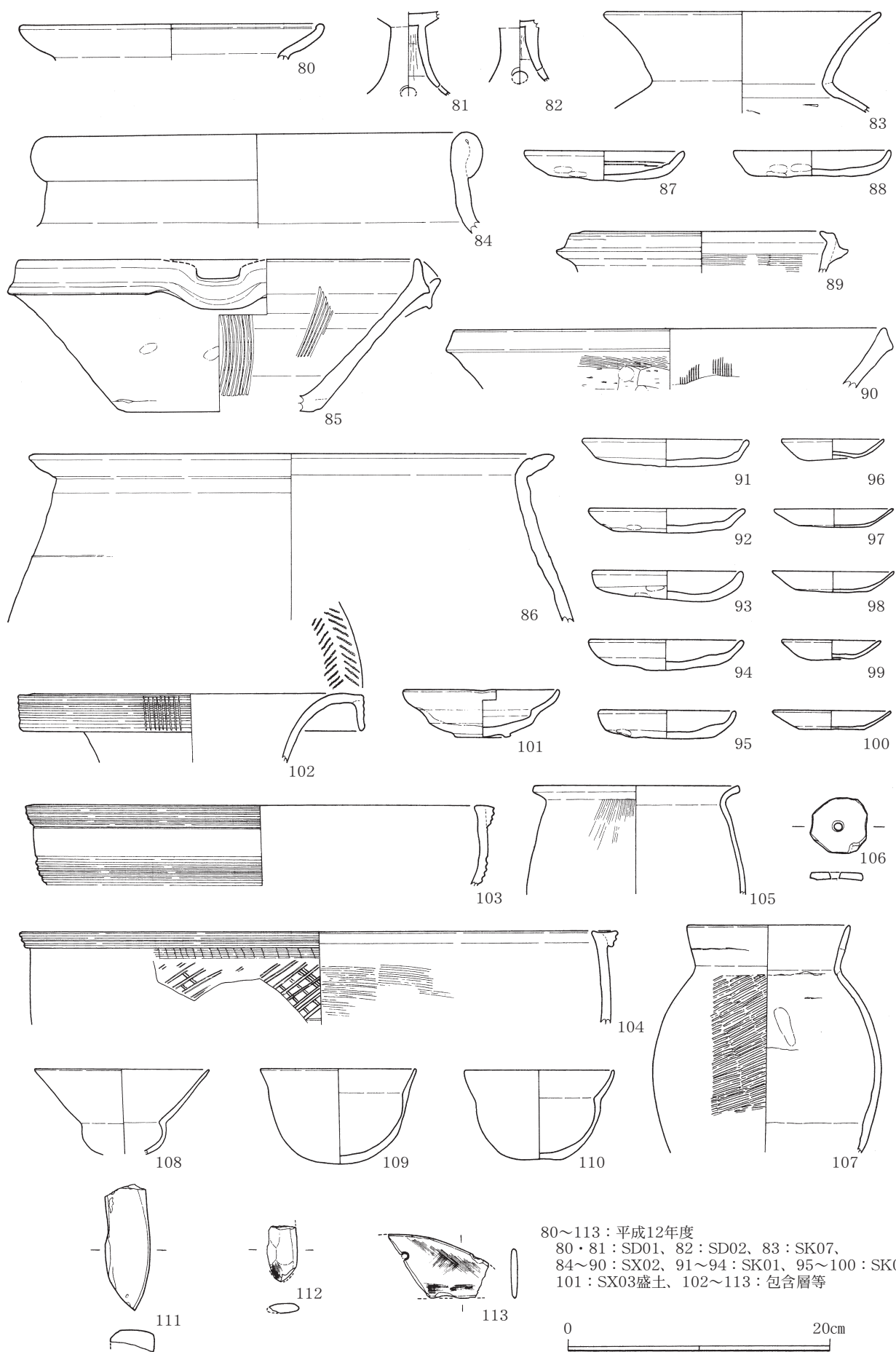


図7 宇田森遺跡出土遺物 (3)



80~113：平成12年度  
 80・81：SD01、82：SD02、83：SK07、  
 84~90：SX02、91~94：SK01、95~100：SK02  
 101：SX03盛土、102~113：包含層等

図8 宇田森遺跡出土遺物（4）

## 2. 秋月遺跡

調査コード 98-01・331

所在地 和歌山市太田・秋月

調査原因 向陽高等学校体育施設整備事業

期 間 1999. 02. 05～03. 31

調査機関 (財)和歌山県文化財センター

調査担当 土井孝之 齋藤有美

調査面積 508m<sup>2</sup>

遺跡種別 古墳 集落跡 寺院跡

主な成果 古代～中世の屋敷地 古墳時代の墓域  
を区切る溝

今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告

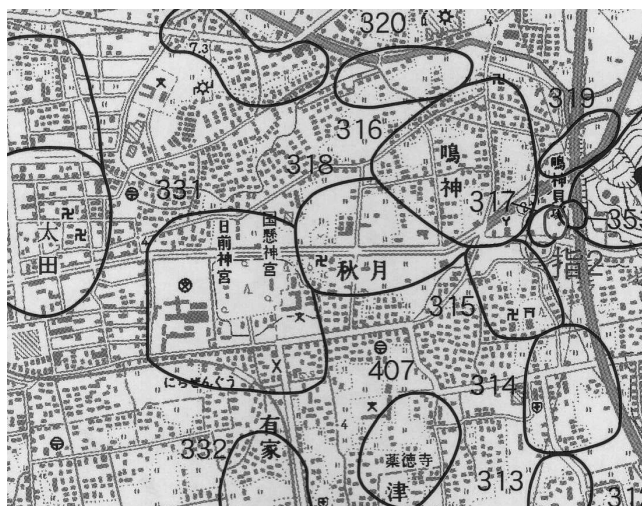


図9 秋月遺跡の位置（上図331）

### (1) 遺跡の位置と概要

秋月遺跡は、紀ノ川左岸の沖積地に位置する弥生時代前期から中世にかけての複合遺跡である。その範囲は日前国懸宮を中心として東西・南北とも550mに及ぶ。

これまで、和歌山県関係（和歌山県文化財研究会、当センターを含む）の調査が9次、和歌山市関係（和歌山市文化体育振興事業団を含む）の調査も9次にわたって実施されている。遺跡の東部では、市立日進中学校の改築工事などに伴い、主に和歌山市により調査され、弥生時代前期に成立した集落が連綿と継続されていることや、大神宮寺が平安時代後期に創建されたことが確認されている。遺跡の西部では、県立向陽中・高等学校の改築工事などに伴い、主に当センターにより調査され、古墳時代前期や古代・中世の遺構や古墳群、平安時代後期に創建される貞福寺の存在が確認されている。

本書に所収する発掘調査は、県下最古の前方後円墳を含む古墳群が展開する南東部で、体育施設（プール）の新設予定地を対象として行なったもので、**県Ⅷ次調査**となる。

調査地の現地形はかなり改変され、盛土による学校敷地や宅地となっているが、旧地形は大きく北東から南西方向に傾斜する。

## (2) 調査成果

調査区は旧プールの水槽部分を調査対象外として、北を上として逆「コ」の字に設定している。調査では便宜上、各辺を北区・西区・南区と呼称する。遺構の重複が著しいこともあって、遺構面の把握が困難であり、ほぼ同一面で弥生時代後期末（庄内併行期）・古墳時代・奈良時代・平安時代後期末・鎌倉時代・室町時代中期・江戸時代の遺構を検出している。

江戸時代の遺構 堀（遺構1）、土坑などがある。

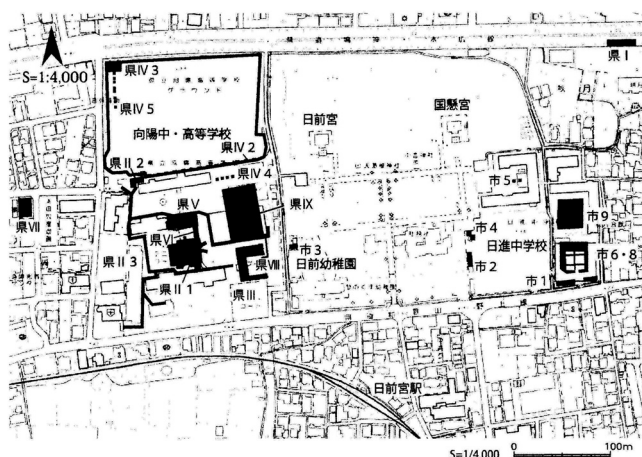


図10 秋月遺跡 調査区位置図（県Ⅷが本所所収）



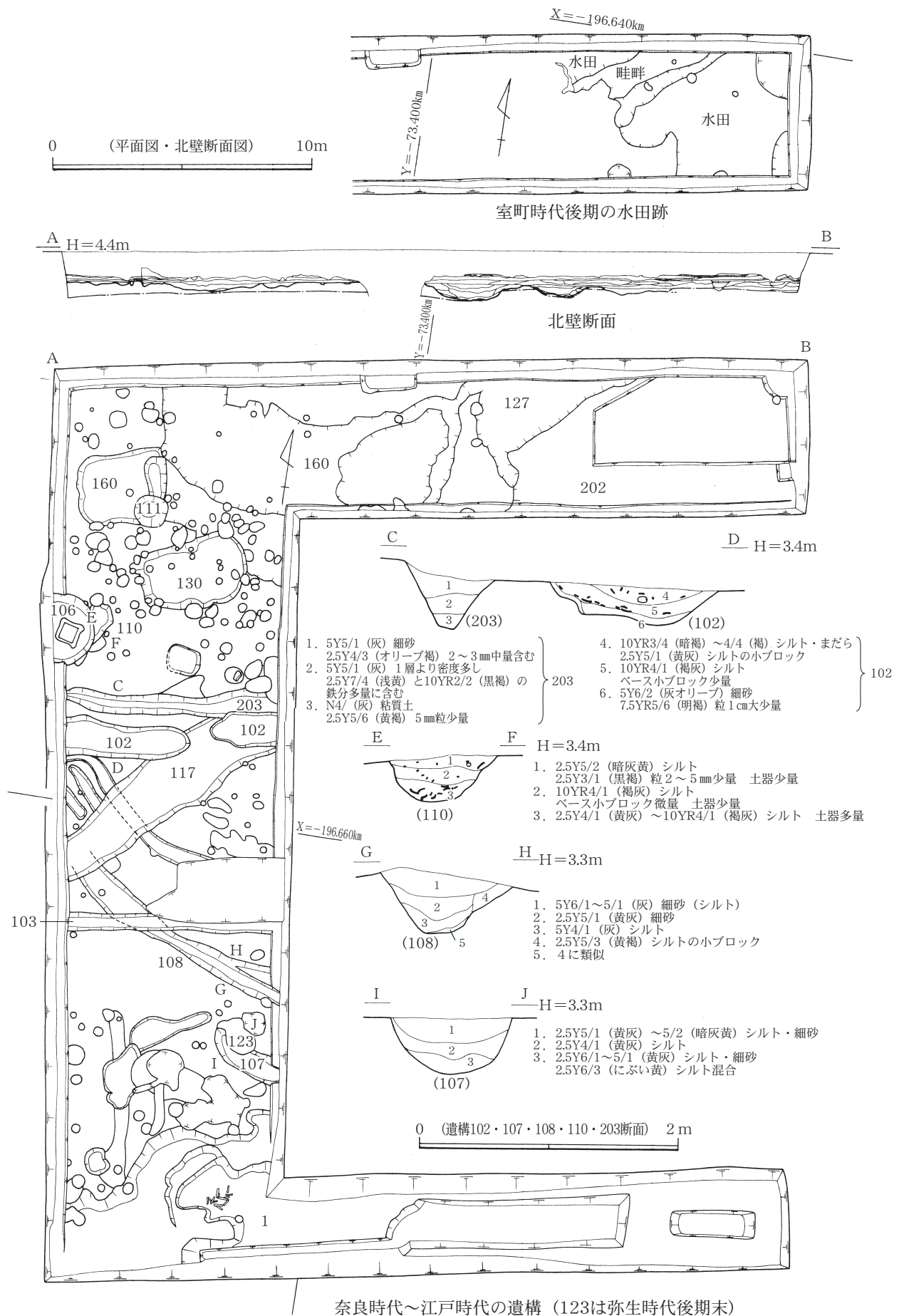


図11 秋月遺跡遺構 (1)

遺構1は調査区の南端で検出した遺構で、東西方向に伸びると考えられる。堀の一部を検出・掘削した程度で、全容は明らかでないが幅5.0m以上、深さ1.5m以上を測る。遺物は備前焼(3・4)、唐津焼(2)、瀬戸・美濃系陶器(1)、焼塩壺(5)などが出土している。遺物から江戸時代前期頃に埋め戻されたことが窺える。

**室町時代の遺構** 溝(遺構102)、土坑(遺構110)などがある。

遺構102は西区の中央付近で検出した東西に伸びる溝で、調査区内で約0.8mの間隔をあけて途切れる。平安時代末頃から鎌倉時代の溝と同様に周辺部に形成されている条里型地割と同一方向に走る。規模は幅1.2～1.5m、深さ0.4mを測る。遺物は土師器(7～9)、瓦器、瓦質土器、瓦(10)、砥石などが出土している。

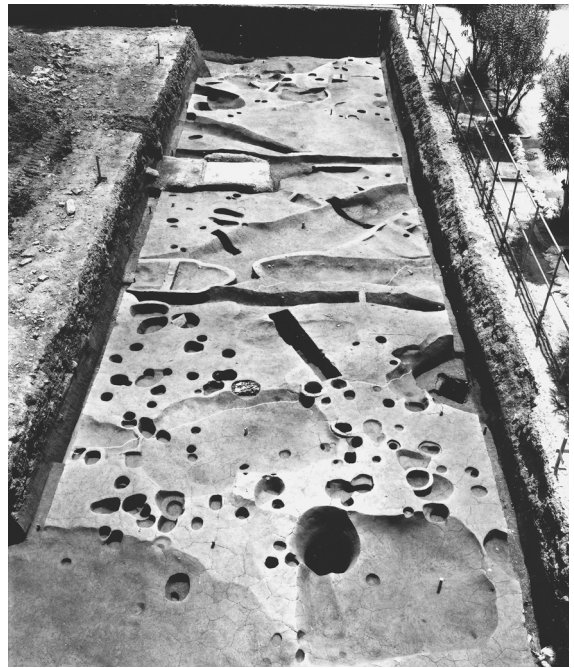


写真8 秋月遺跡調査区 西区(北から)

土坑110は奈良時代の井戸(遺構106)を切り込んで掘削されている。平面形状は不整楕円形で、長さ2.8m、幅0.9m、深さ0.35mを測る。断面形状は船底状で、土坑底に土師器皿を一括廃棄した後に人為的に埋められていることが断面観察から窺える。規格性のある土師器小皿(18～23)・皿(24～28)が完形で多量に出土していることから、儀式などに使用した後に、投棄された可能性が考えられる。

**平安時代後期～鎌倉時代** 溝(遺構103・203)、井戸(遺構111)などがある。

遺構103・203は、ほぼ東西方向に伸びる溝で、周辺部に形成されている条里型地割と同一方向に走る。遺構103は幅0.6～0.7m、深さ0.35mで、北に約7.5m隔てた遺構102は幅0.6～1.0m、深さ0.4mを測る。遺物は遺構103から須恵器、土師器(11～15)、瓦器、土錘(16)、砥石(17)などが、遺構203からは須恵器、土師器、瓦器、白磁、瓦などが出土している。遺物から平安時代末頃から鎌倉時代の溝であると考えられる。

遺構111は西区北側で検出した素掘り井戸で、遺構160と重複し、それより新しい。平面形状は円形で、規模は直径約1.4mで、深さは検出面から1.6mを測る。上位では上方に広がるが、中位以下ではほぼ垂直に掘削されており、底面は船底状を呈する。遺物は須恵器や土師器、瓦器、黒色土器、白磁など多く出土しており、中位付近には投棄された状態で、土師器小皿(29・30)・皿(31・32)・羽釜(34)、瓦器碗(33)などが見つかった。

**奈良時代の遺構** 溝(遺構107・108・117)、井戸(遺構106)などがある。

遺構107・108は西区の南側にあって、南北方向に伸びる溝である。遺構107は幅1.0m、深さ0.4mで、調査区内から始まり東方へ伸びているが、確認したのが長さ3.0m程度であり、溝の性格をもつか不明である。遺物は須恵器(52・53)、土師器(54～56)



写真9 秋月遺跡 遺構110(南東から)

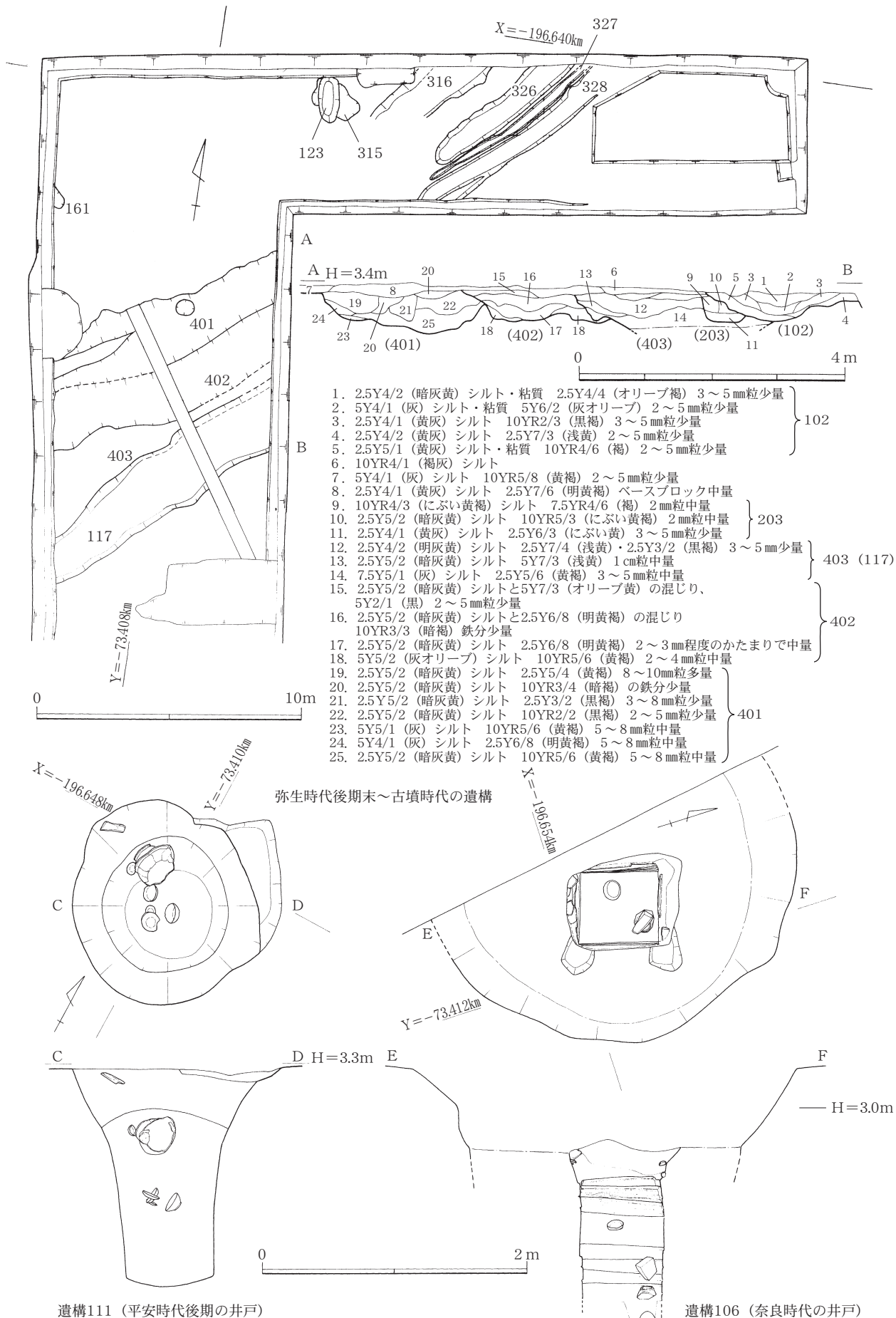


図12 秋月遺跡遺構（2）





写真10 秋月遺跡 遺構111（東から）



写真11 秋月遺跡 遺構106（東から）

が出土している。遺構108は幅0.5～1.2m、深さ0.4mで、両端が調査区域外に伸びている。遺物は須恵器(57)、土師器などが出土している。

遺構117は北東－南西方向に伸びる溝で、両端が調査区域外となる。幅1.6～2.3m、深さ0.3mで、同時期と考えられる遺構108より新しく掘削されている。遺物は須恵器(63)、土師器などが出土している。また、古墳時代の須恵器(64～68)、土師器(69・70)も遺構117として取り上げられているが、遺構403に伴う遺物であると考えられる。

遺構106は西区の西壁にかかる状態で検出された井戸で、掘形の半分近くは調査区域外となる。掘形は円形で、直径約2.7mを測り、そのやや東寄りに方形の井戸枠が構築されている。井戸枠は、掘形検出面より約0.8m以下で残り、上部は破壊されている。井戸枠の内法は南北0.6m、東西0.5mで、結晶片岩の板石を立てるように、ほぼ垂直に積み重ねている。検出面から2.0m下まで掘り下げたが底は確認できなかった。遺物は多くの土器類が出土しており、井戸枠内から須恵器(39・42)、土師器(44・47・50・51)、井戸の掘形から須恵器(38・41・43)、土師器(45・48)、井戸枠より上位から瓦器(36)、須恵器(37・40)、土師器(46・49)が出土している。

**弥生時代後期末～古墳時代** 弥生時代後期末(庄内併行期)の土坑(遺構123・161・315)、溝(遺構328)、古墳時代の溝(遺構316・326・327・401～403)がある。この時期の遺構は、遺構123を除き地山面が高い北西部に集中している。

土坑は大半が調査区域外あるいは後世の攪乱を受け、全容が明らかなものではなく、性格も不明である。各土坑からは弥生時代後期末頃の土器が出土している。

遺構316・326・327は、北東－南西方向に伸びる。方向的にも西区で検出している遺構401～403などと繋がると考えられるが、明確でない。溝の幅は、遺構316で1.5m、遺構326で1.1m、遺構327で0.4mを測る。遺物は遺構316で須恵器はそう(71)、遺構326で円筒埴輪が出土しているのをはじめ、各溝から土師器や須恵器が出土している。遺物から古墳時代中期から後期にかけての溝であると考えられる。

遺構401～403はおもに平面検出で、完掘をおこなっておらず、重複することからも規模等は明確でない。ただ、断面精査から遺構401→遺構402→遺構403の順で掘削されていることが窺える。また、遺構403の上面に遺構117が掘削されている。遺物は各溝から土師器・須恵器が出土しており、古墳時代中期～後期にかけての溝であると考えられる。

遺構328は北東－南西方向に伸びる。西区に伸びると考えられるが、西区では古墳時代の溝と重複し、



完掘もしていないことから明確でない。幅0.8m、深さ約0.3mで、9.0m以上伸びている。遺物は弥生時代後期末頃（庄内併行期）の土器（74）が出土している。

### （3） まとめ

秋月遺跡（秋月古墳群）では、これまでの調査で12基の古墳が確認され、古墳時代初頭から後期にかけて連綿と造墓が行われていることが明らかになっている。方形周溝墓の系譜を引く低墳丘の方墳、県下最古の前方後円墳、そして後期の円墳などが密集して存在するが、今回の調査区では、埴輪が数点出土した程度で古墳は確認できなかった。ただ、微高地の縁辺部に沿って北東から南西に掘削される溝は、何度か場所を変えるなどして掘り直していることが窺え、時期的にも弥生時代後期末（庄内併行期）から古墳時代後期にかけてと、造墓が行われて時期とほぼ同じ消長である。また、溝より南東部では古墳時代の遺構が検出できないことから古墳などの墓域の南東部を区切る溝であった可能性がある。

古代以降になると井戸がつくられるなど、調査区周辺は生活域となったことが窺える。日前宮の東には平安時代後期になって貞福寺が創建されたと伝えられるが、今回の調査でも寺に関連する瓦も出土している。検出した平安時代後期以降の溝は、それ以前のものとは異なり東西方向に一直線に伸び、現在周辺部で確認することができる条理型地割の方向に沿っている。このことは、条理型地割の形成が平安時代後期頃であることを示唆するものであり、貞福寺の創建もほぼ期を一にするものであった可能性がある。

調査区の南側で、全く存在の知られていなかった江戸時代前期に埋没した東西方向の堀を確認した。天正13年（1585）の秀吉の紀州攻めの折には、直近にある太田城の水攻めが行われ、日前宮も攻撃対象とされるが、貞福寺や宮を防御する目的で構築された堀であった可能性も否定できない。

### 《過去の主要文献》

齋藤有美1999「秋月遺跡の発掘調査」『（財）和歌山県埋蔵文化財センター年報』（財）和歌山県文化財センター

山本高照・丹野拓2005「秋月遺跡」『緊急雇用対策特別基金事業に係る発掘調査資料整理概報』（財）和歌山県文化財センター

丹野拓・富永里菜2011『秋月遺跡』（財）和歌山県文化財センター



写真12 秋月遺跡 遺構316・326～328（北東から）

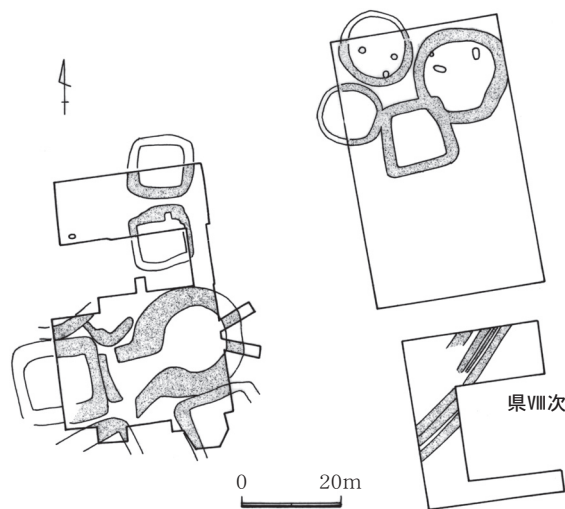


図13 秋月古墳群

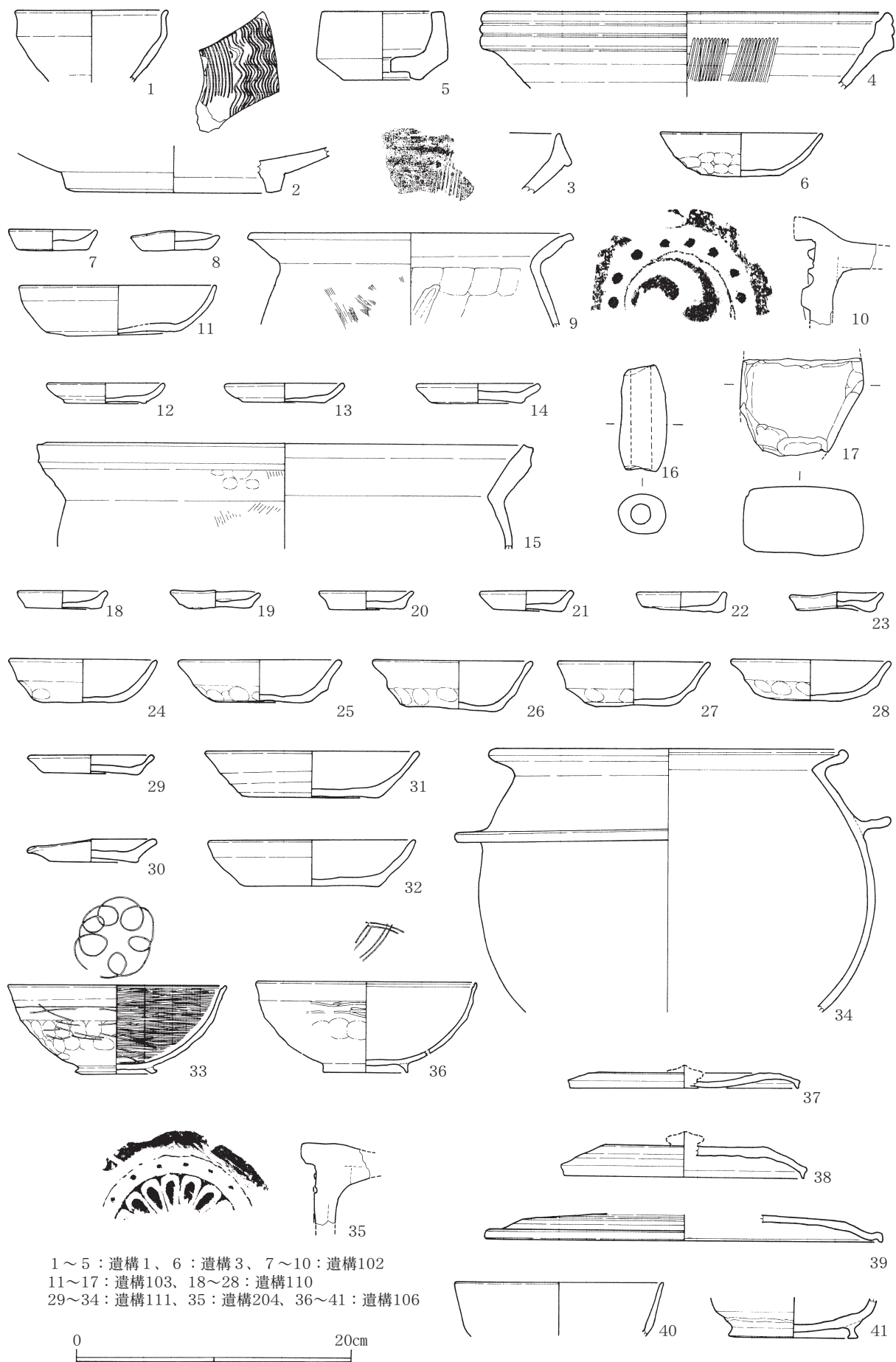


図14 秋月遺跡出土遺物（1）

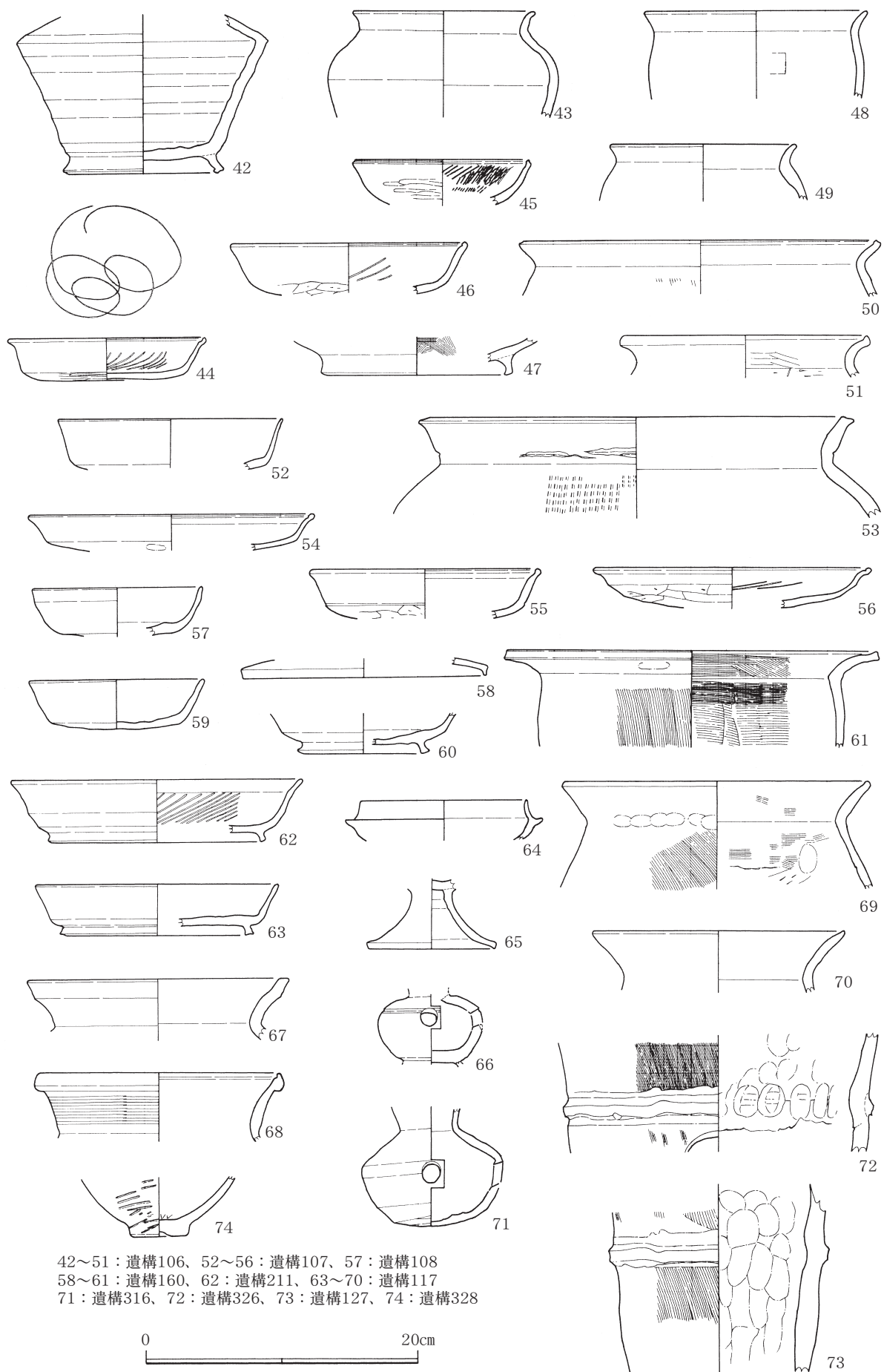


図15 秋月遺跡出土遺物（2）



### 3. 小林遺跡

調査コード 97-09・003

所在地 紀の川市桃山町神田

調査原因 県道かつらぎ・桃山線道路改良工事

期間 1997. 04. 02～1997. 11. 28

調査機関 (財)和歌山県文化財センター

調査担当 佐伯和也

調査面積 1,100m<sup>2</sup>

遺跡種別 散布地

主な成果 多量の遺物を含む古代の溝  
弥生時代後期の溝

今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告

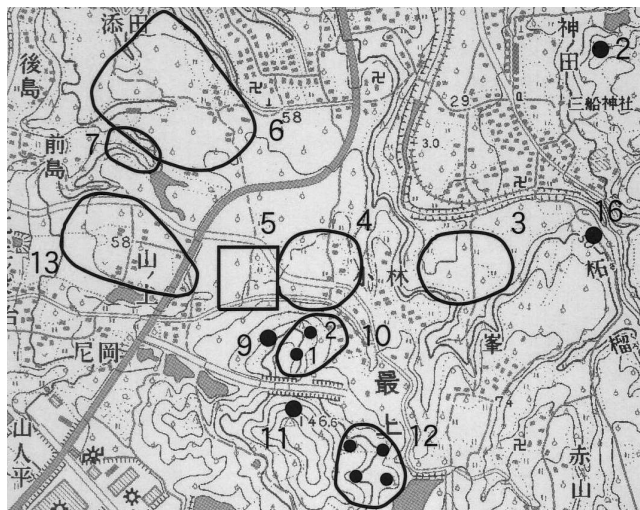


図16 小林遺跡の位置（上図の3）

#### (1) 遺跡の位置と概要

小林遺跡は、紀ノ川左岸で貴志川が合流する付近にあり、周辺に形成された河岸段丘を開析する石榴川沿いの谷あい位置する。谷入口付近の沖積平野部には弥生時代の元遺跡が、周辺の段丘上には神田古墳や小林古墳群、西ノ池古墳群、奈良時代の最上廃寺などが存在する。小林遺跡は県の遺跡地図で、縄文時代の散布地とされ、石鏃が採取されている。

調査地の現況は水田から転作した桃畑で、調査区名は、調査地の中央を東西に延びる農道を境にして南側をA区、北側をB区としている。遺構検出はA・B区とも上・下2面で行っている。

#### (2) 調査成果

##### A. A区の調査

上面遺構 奈良時代以降の遺跡面で、第1層（耕作土）・第2層（床土）直下で、堀立柱建物（建物1・2）・溝（遺構23・24・26・27）・土坑（遺構128）・柱穴等を検出した。

建物1は奈良時代の遺構などと重複してすべての柱穴を確認していないが、東西3間（7.4m）×南北3間以上（6.6m）の総柱建物と考えられる。建物軸はほぼ真北を指す。柱間は2.2m前後で、比較的整っている。柱の掘形は直径20～30cm、深さ約20cmを測る。奈良時代から平安時代前期頃の溝（遺構24）が埋まった後に建てられていることや、建物を構成する柱穴119から出土した土師器皿（48）から平安時代後半頃の建物であると考えられる。

建物2は東西3間（6.6m）×南北3間（6.5m）以上の総柱建物で、建物軸はほぼ真北を指す。間

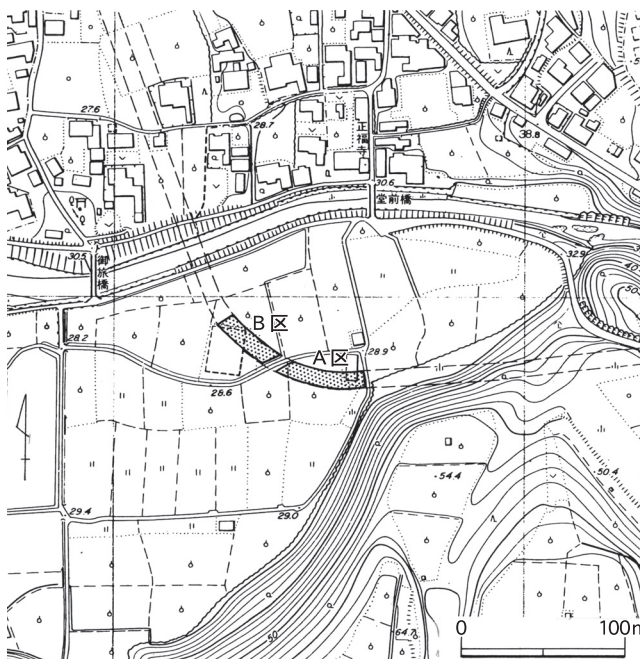


図17 小林遺跡 調査区位置図



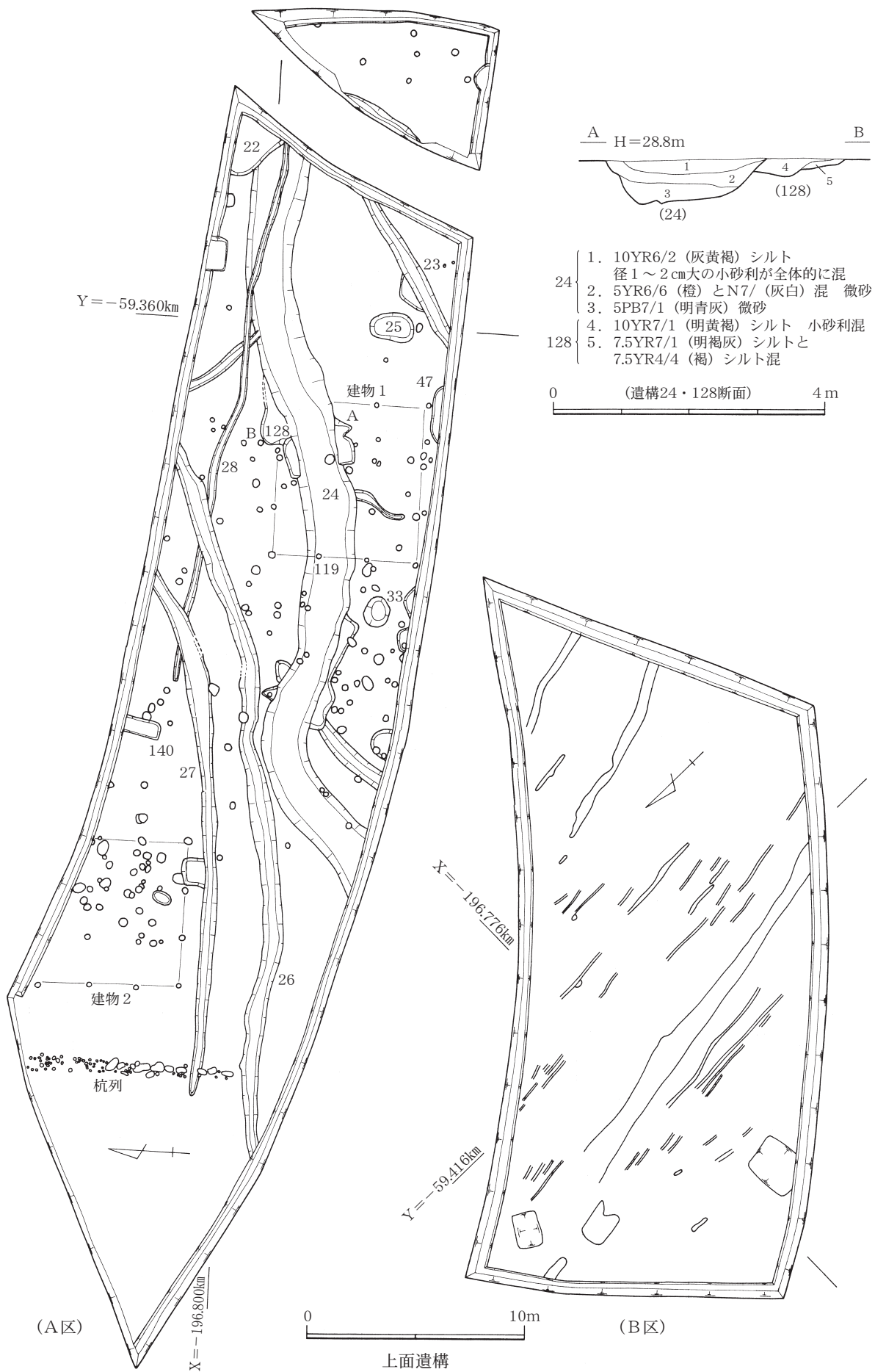


図18 小林遺跡遺構(1)

尺は2.2m前後と比較的整っている。柱の掘形は直径25cm～35cm、深さ10～15cmを測る。遺物は柱穴から土師器片が出土しているが、時期は確定できない。ただ、建物1との位置関係や建物方位から推定して併存していた可能性が考えられる。

遺構24は東西方向に蛇行しながら延びる。幅1～2m、深さ0.8m測る。断面は逆台形を呈する。埋土はおおきく3層に分けることができるが、どの層からも遺物が多く出土する。これらの遺物には須恵器（1～13）、土師器（14～26）、製塩土器（27～29）がある。出土遺物から奈良時代中頃から平安時代前期頃まで機能していたと考えられる。

遺構26・27は1.5～2.2mの間隔を空けて、東西方向にほぼ平行に伸びている。溝の幅は0.5m～1.0m、深さ0.15～0.25mで、30m以上にわたって検出している。遺物は土師器などが出土しているが、時期は確定できない。用水路の性格も考えられるが、建物に重複せず平行に伸びることからも、平安時代後期頃の道路状の可能性もある。

遺構128は南側を遺構24により削平され、全容は不明である。検出した平面形状は不定形で、長さ3.5m以上、幅1.5m以上、深さ0.25m以上を測る。遺物は古墳時代前期の土師器（36・37）などが出土している。本来なら下面遺構に帰属するものと思われるが、上面において検出されている。

**下面遺構** 第3層の包含層下の面で、溝（遺構205～207・215）、旧河道（遺構402）、土坑（遺構222・223）、柱穴などを検出した。

遺構205・206は別々の遺構として掘削されているが、同一の溝である可能性が高い。東西は上面で検出した遺構24と接し、交差もしていないことから、遺構24と一連のもので、古い時期の流れであった可能性がある。また、出土した須恵器（31～35）からも、遺構24とはほとんど時期差が認められず、上面遺構に帰属するものであると言える。

遺構207・215は調査区の東西両端付近で検出した溝で北東－南西方向に伸びる。遺構207は幅1.3～1.6m、深さ1.0mで、2段掘りされ、下段は垂直に近い状態に掘削され底はほぼ平坦である。遺構215は幅1.0～2.3m、深さ0.1～0.23mで、断面は船底状を呈する。底のレベルは北側に下っており、ほぼ同じ底レベルを保つ遺構207とは異なる。遺物は遺構207から弥生時代後期後半代の土器（38～41）が、遺構215からも弥生時代後期後半代の土器（42～47）が出土している。

遺構402は遺構215の西側で検出した。掘削はトレンチ部分だけにとどめたが幅4.0m、深さ約1.0mを測る。断面観察から、何時期かあることが判断でき、最終堆積層からは古墳時代前期の土師器（56・57）な



写真13 小林遺跡 A区上面遺構（東から）



写真14 小林遺跡 A区下面遺構（東から）

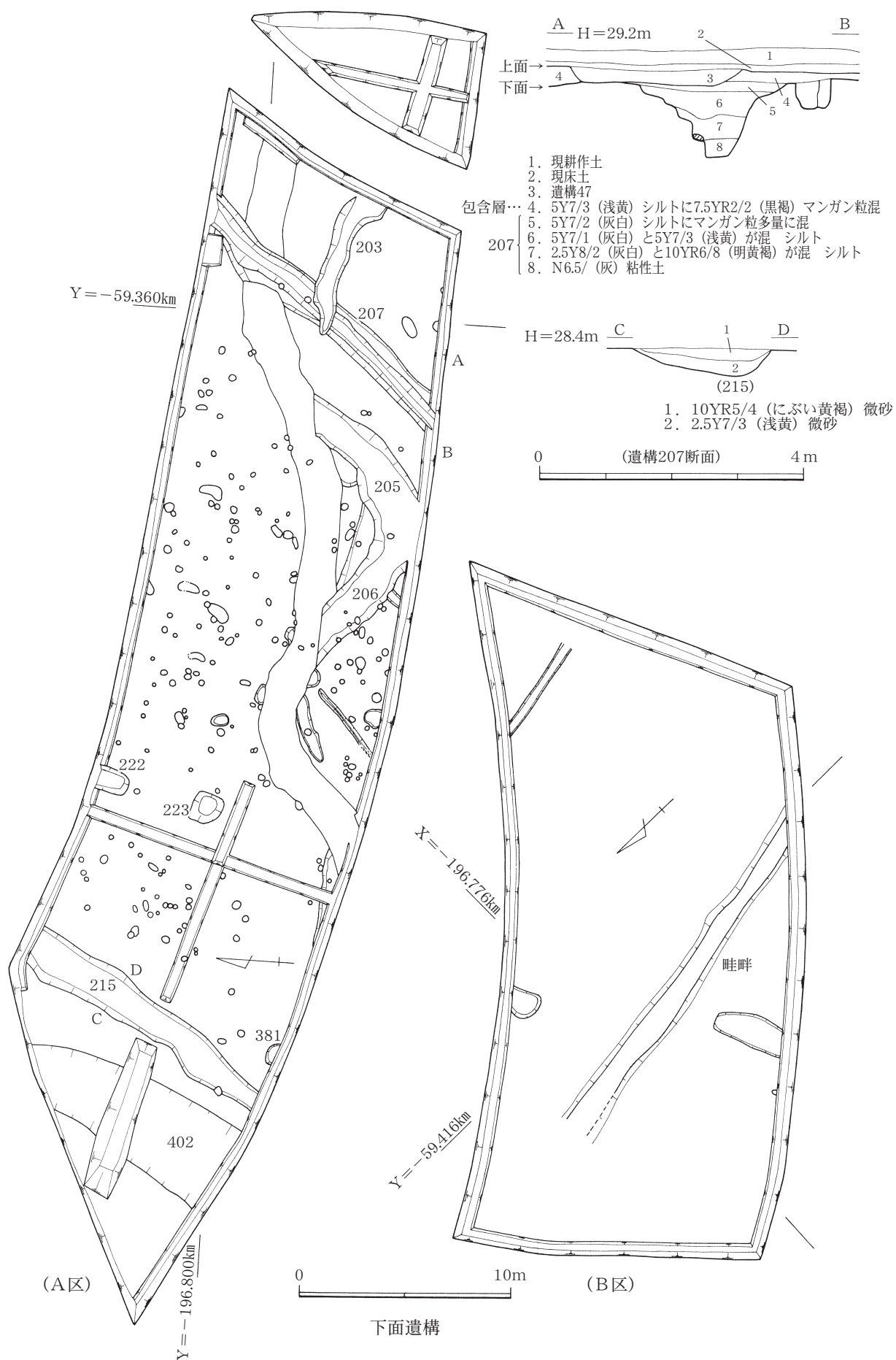


図19 小林遺跡遺構（2）



どが出土する。南方向の延長線上には現在の谷筋があり、この谷から流れ込む旧河道と推測することができる。また、隣接する遺構215に関しても、河道の一時期の流れであった可能性もある。

遺構222は北側が調査区域外となるが、平面形状は隅丸の長方形を呈すると考えられる。長さ1.5m以上、幅1.0mで、深さ1.0mを測る。遺構223は平面形状が不整楕円形を呈し、長さ1.8m、幅1.4m、深さ0.7mを測る。遺物はどちらの土坑からも縄文時代晩期と考えられる土器片（49）が出土するが、ベースとなる層位にも縄文土器が含まれることから混入である可能性が高い。

## B. B区の調査

B区は現地地形においてもA区より40～60cm程度低く、断面を観察する限り、現地表より約1m下の第11層から上位は、厚さ10～20cmの間隔で水平堆積していることが窺え、連綿と水田として利用されていたことが窺える。このうち5～8層までが瓦器を含む層位であり、古代末頃から中世にかけての水田耕作土であると考えられる。また、9層以下には瓦器が含まれず、土師器や黒色土器が出土していることから、当地における水田経営が古代まで遡る可能性が高い。最下層となる砂利層からは弥生時代後期から古墳時代の土器が微量出土しており、当該時期は河原であった可能性がある。

遺構検出は5層上面と7層上面でおこなっており、5層上面で検出したのが上面遺構、7層上面で検出したのが下面遺構となる。

上面では耕作痕（鋤溝）、畦畔、下面では畦畔、土坑等を検出している。畦畔や鋤溝は南北方向に伸びており、地割の方向を窺うことができる。上面・下面とも遺物などから中世に帰属するものと考えられる。

### （3）まとめ

調査区付近で生活の痕跡を見出せるのは縄文時代晩期頃からで、A区の弥生～古墳時代の遺構のベースとなる層位から縄文土器（滋賀里式か？）が出土している。ただ、面的な掘り下げをおこなっておらず、遺物量も少ないことから内容は明らかでない。

その後、空白期において弥生時代後期後半頃から古墳時代前期にかけては、A区の溝などから多くの土器が出土しており、集落が直近で営まれていたことが想像できる。住居跡などは見つかっていないが、遺構207・215で挟まれる区画は周囲より一段高く、多くの柱穴が掘削されていることから、この面続きに集落が存在と考えられる。ただ周辺の地形を考えると、集落はごく小規模なものであった可能性がある。

古墳時代中・後期の遺構や遺物は見つかっていないが、古代には、再度土地活用されるようになったことが、多量の遺物が出土する溝（遺構24）、掘立柱建物などの存在から窺える。この時期の遺物の中には瓦もあり、最上廃寺などとの関連も考えられる。

掘立柱建物が存在した平安時代後半頃には、B区付近で水田経営が行われていたことが想像でき、中世以降も水田として維持されたと考えられる。



写真15 小林遺跡 B区上面遺構（北西から）

### ＜過去の主要文献＞

佐伯和也1998「小林遺跡の発掘調査」『（財）和歌山県文化財センター年報』（財）和歌山県文化財センター



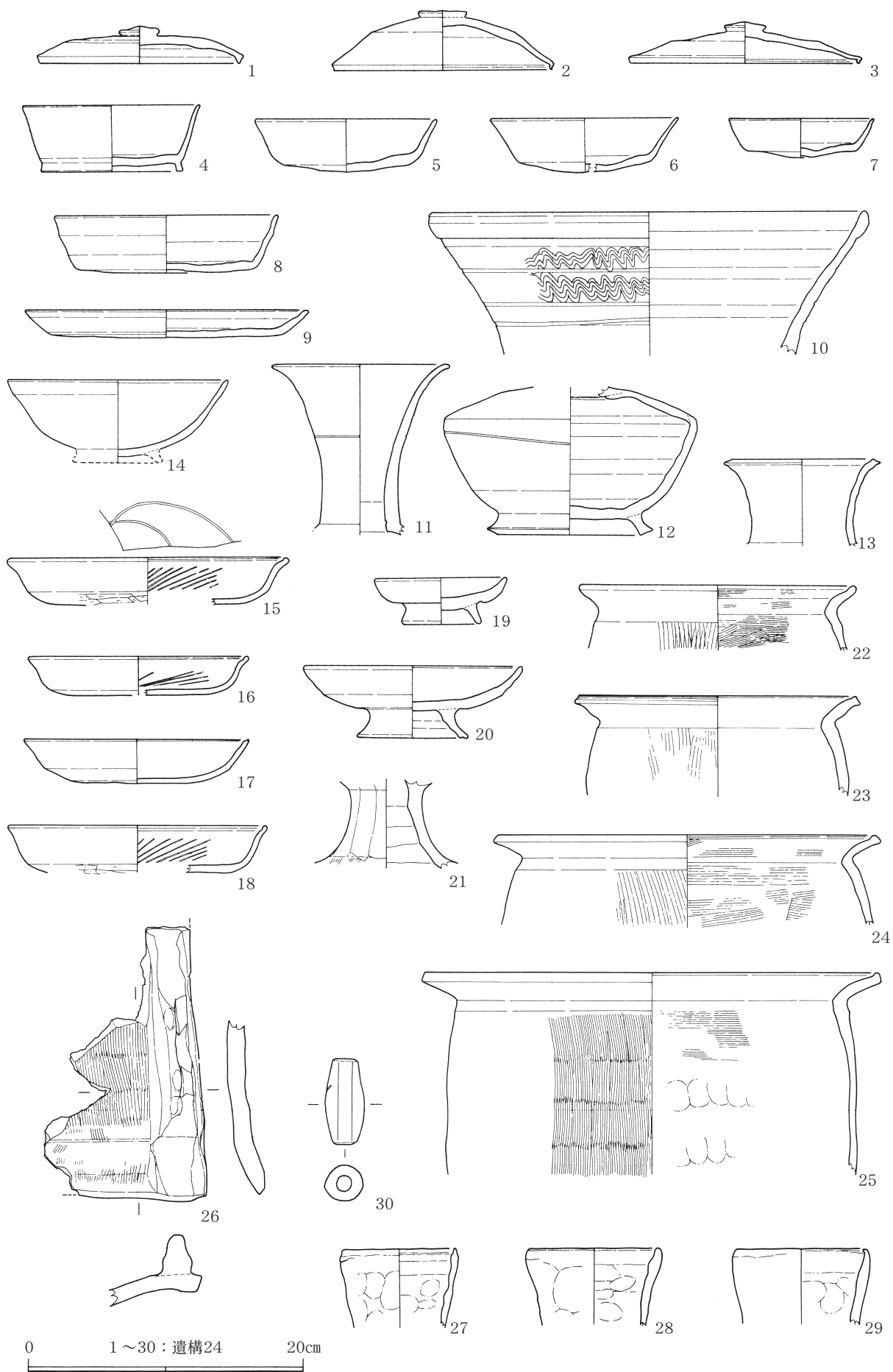
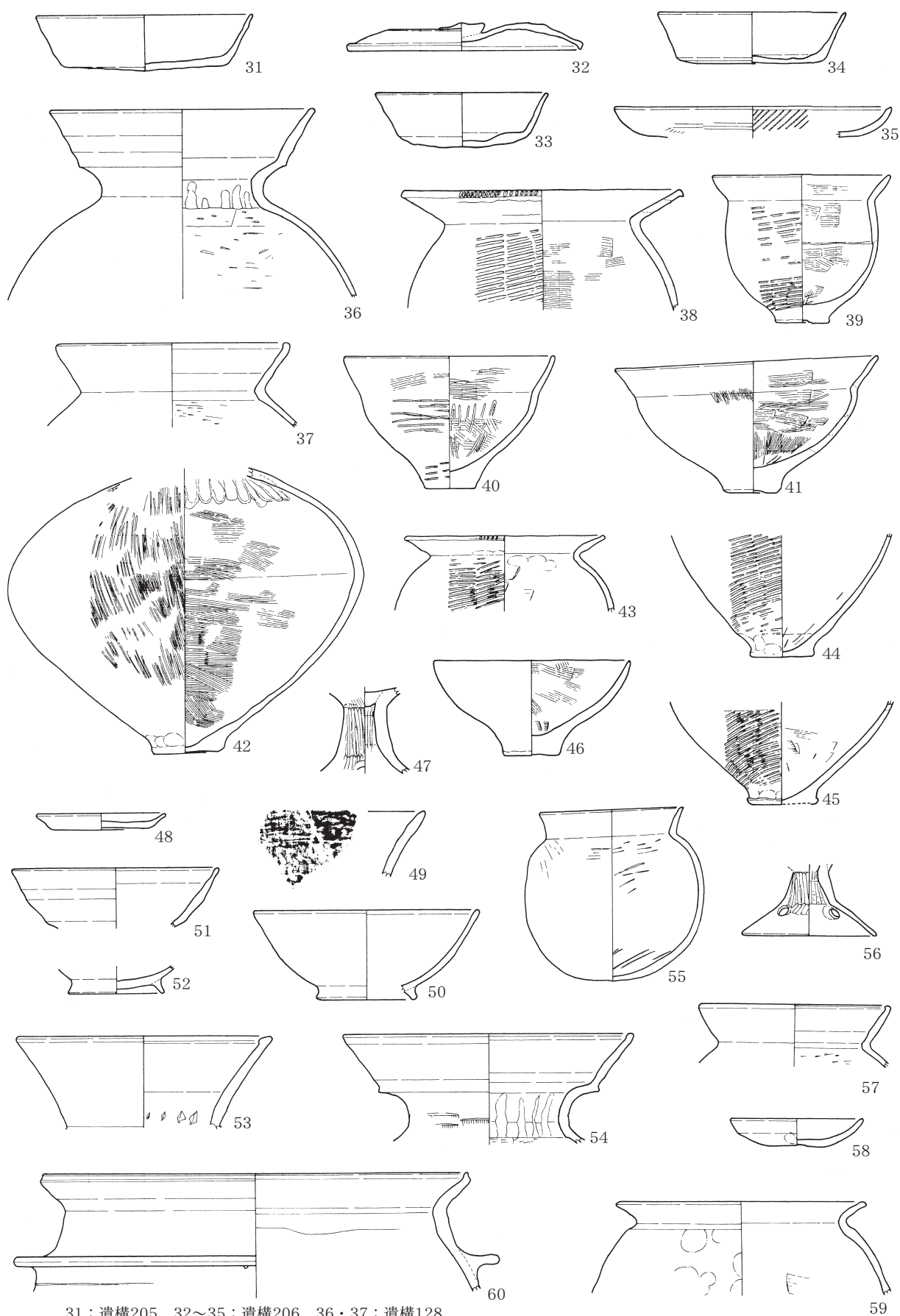


図20 小林遺跡出土遺物 (1)



31：遺構205、32～35：遺構206、36・37：遺構128、  
38～41：遺構207、42～47：遺構215、48：遺構119  
49：遺構223、50～55：A区包含層、56・57：遺構402  
58～60：B区包含層

図21 小林遺跡出土遺物（2）

#### 4. 平池古墳群

調査コード 03-10・018  
所在地 紀の川市貴志川町神戸  
調査原因 池改修  
期 間 2002. 11. 17～2003. 02. 16  
調査機関 (財)和歌山県文化財センター  
調査担当 藤井幸司  
調査面積 335㎡  
遺跡種別 古墳  
主な成果 古墳の規模確認、埴輪・須恵器の出土  
により築造時期の確認  
今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告

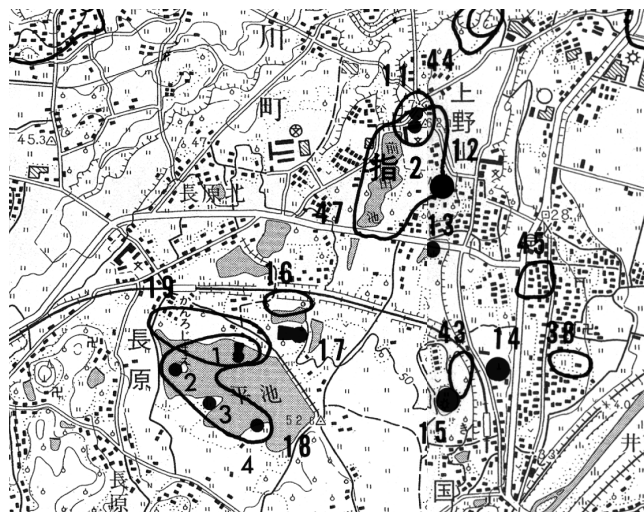


図22 平池古墳群の位置 (上図18)

##### (1) 発掘調査の概要

平池古墳群は、現在は農業灌漑用水池である平池内に所在する4基の古墳群である。1号墳は北岸に位置する前方後円墳、2号墳は池中西側に位置する円墳、3号墳と4号墳は南岸に位置する円墳とされている。平池は紀ノ川の支流貴志川左岸の河岸段丘上に位置しており、周辺には中期から後期の丸山古墳、罐子塚古墳、双子三昧塚古墳等の古墳が存在する。

貴志川町(現紀の川市)が、平池周辺環境保全事業(まちづくり総合支援事業)に伴う各古墳の池水による浸食を防止するための護岸工事計画を策定するために、事前に実施した範囲確認調査である。調査後は、砂による遺構面養生を行ったうえで、発掘調査区の埋戻しを実施した。また、調査結果に基づき護岸工事が計画されたため、事業着手以前まで遺存していた遺構は現状保存されているほか、調査の結果判明した平池1・2号墳の墳裾が遊歩道上や池底に明示されるなどの埋蔵文化財に配慮した工事が実施されている。

調査は池水排水後、古墳上及びその周辺池底の平板測量7,400㎡実施した。その後、平板測量図から推定される仮主軸ないしは仮中心を設定し、それを基準として地区およびトレンチ設定を実施した。その結果、トレンチ調査は335㎡の調査に及んだ。

##### (2) 遺構

###### A. 平池1号墳

平池北側堤に接するが、池水満水時には堤に接せず池内に島状に位置する形である。調査前には長20m、幅8mほどの不整形な島状を呈すのみ

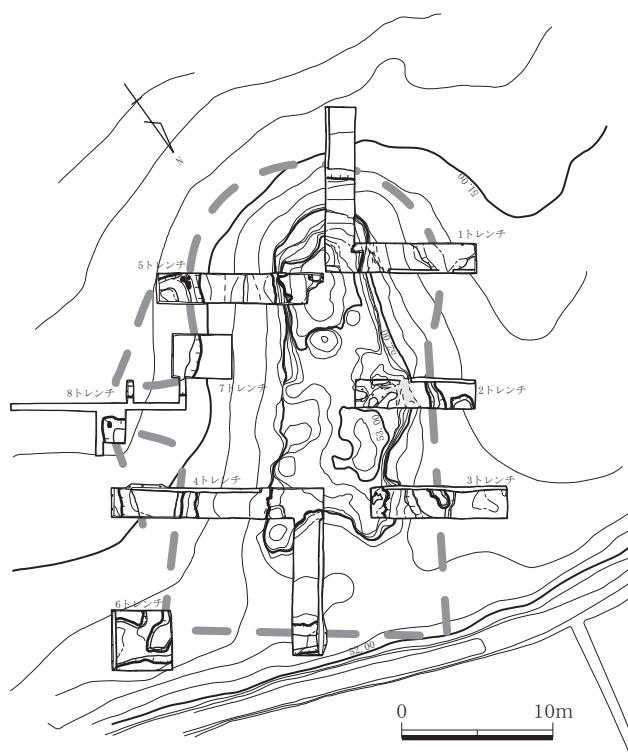


図23 平池1号墳 調査区配置図・平面図

で、池の浸食や築堤のための土取のため、墳丘の残存状況は極めて悪い。

測量調査の結果設定した仮主軸は  $N-22^{\circ}31'55''-E$  の方向性を示し、この仮主軸を基準として、当初は後円部に1・5トレンチ、西側くびれ部に2トレンチ、前方部に3・4トレンチを設定した。その後、前方部前端角に6トレンチ、東側くびれ部や陸橋部に7・8トレンチを追加し、計179㎡の調査を実施した。層位は、大別して1層：近現代堆積層、2層：水成堆積層、3層：墳丘上の近現代以降の堆積層、4層：墳丘盛土、5層：池底の地山に大別される。5層上面で検出された1号墳の周濠とみられる溝状の遺構埋土はA～C層とした。2層および周濠埋土中からは、円筒埴輪、形象埴輪、須恵器片等の1号墳の遺物のほか、凹基式石鏃が出土した。



図24 平池1号墳 調査区分平面図・土層図(1)



1 トレンチの南側ではS 6 付近で幅0.5m程度、西側ではW 6 付近で0.2m前後の周溝埋土の堆積が認められる南壁で幅 3 m以上、北壁で幅約1.5m程度の溝状遺構を検出し、1号墳周濠とみられる。西側で検出した周溝底面は、南壁と北壁付近とで比高差15cm程度を測り、南側から北側に向かい周溝は幅狭、浅くなることが確認できる。同じ後円部に設定した5 トレンチのE 8 付近では南壁で幅1.5m、北壁で幅 3 m以上を測り、くびれ部に向かって溝幅員が広がる周溝を検出した。2・3 トレンチではW 7 付近で幅0.5 m程度浅い溝状遺構を検出したことから、遺存状況が良くないものの位置関係から前方部西側周溝と推定した。4 トレンチの北側ではN23付近で幅 2 m程度、東側ではE 9 付近で幅 4 m 程度の前方部東側周溝を検出し、5 トレンチ同様、幅広の周溝を検出した。6 トレンチでは、明確な前方部前端西角は検出されなかった。7 トレンチは5 トレンチの北側に隣接する東側くびれ部を検出の検出を目的としたが、くびれ部は検出されず周溝底部が緩いカーブを描いて東側に延び、4 トレンチで検出した前方部東側周溝のラインに繋がらないことから、この段階で東くびれ部に施設の存在が推定できた。そこで、8 トレンチを7 トレンチから拡張する形で、東くびれ部の施設検出を目的として設定した。その結果、7 トレンチ北側で周溝が東側に屈曲し、東側くびれ部に周溝が1号墳を圍繞しないことを確認し、東くびれ部では地山を掘り残すことにより陸橋を付設することが判明した。

墳丘上は黄色系土壌と白色系シルト質土壌による盛土で構築されていることを確認できたものの、各トレンチで明確な遺構は検出されず、埴輪据付坑や埋葬施設の痕跡も確認されなかったことから、築造時の墳丘表面は一切遺存していないと判断できる。

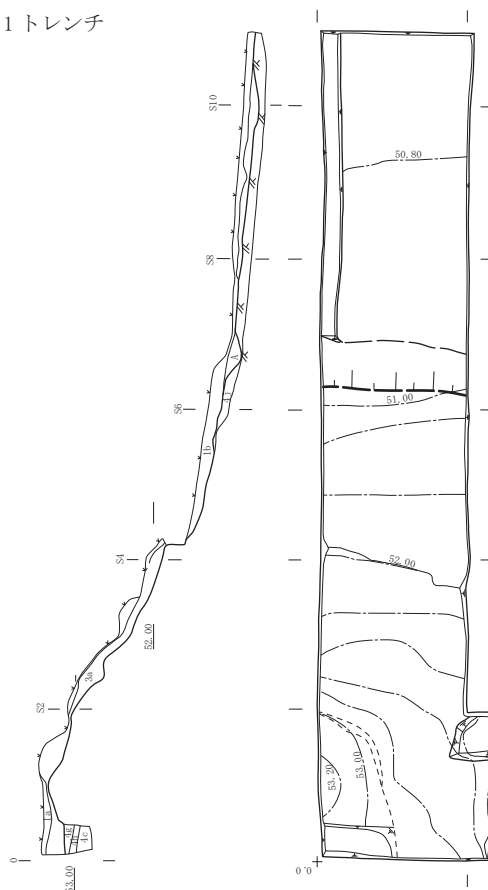
検出した周溝の位置関係から、1号墳は、墳長31.5m、後円部径16.8m、前方部前端幅18.6mを測り、東くびれ部には幅1.5m、長 5 m以上の陸橋が付設する前方後円墳と復元された。また、埋葬施設の痕跡が現墳丘上に確認されないことから深度のある横穴石室ではなく、竪穴系埋葬施設と想定される。また、後述する2号墳のように埋葬施設に利用されたとみられる石材の散乱も認められないことから、石材を多用しない粘土槨や箱式石棺等の埋葬施設を想定することが妥当であろう。

## B. 平池 2号墳

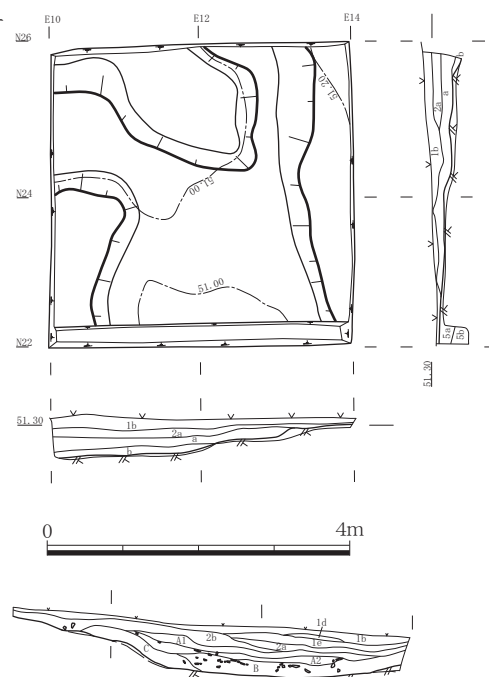
平池内に中島状に位置するが、そのため池水による浸食が著しい。そのため、墳丘の一部が崩落しており、現状で長径13m、短径10m程度の墳丘が残存するのみである。墳丘中央部は盗掘により1 m近く凹んでおり、横穴式石室玄室側壁の石材の一部が露出している。現状で観察する限りは、横穴式石室は南西方向に開口していることが確認できる。また、石室開口部方向の池底には、石室天井石とみられる長 3 m以上を測る結晶片岩が落ちており、その周辺には石室石材とみられる結晶片岩片が散乱していた。また、現状で墳丘が残存する範囲の南側0.5mの位置で、当初墳丘内であった位置にあたる池底では、須恵器蓋坏の坏蓋・坏身3点を1層除去した坏出土地点で確認した。これらは盗掘等により人為的持ち出された2号墳帰属の遺物と推測されるほか、池底では同様の須恵器片を表採した。

池底ではヘドロ除去した段階で地山の一部を削平していたため溝状遺構が露出していたが、その溝状遺構は墳丘を取り囲むように位置することから周溝と推定された。そのため、仮中心点から座標北の方向に1 トレンチを、周溝が途切れ陸橋とみられる箇所の東西に2・3 トレンチを設定し、67㎡の調査を実施した。層位は、1層：池底表面堆積土、2層：水成堆積層、3層：墳丘盛土、4層：池底地山の4つの層に大別でき、さらに2号墳を圍繞するA～C層は周溝埋土と判断した。このうち、B層がヘドロ除去した段階で墳丘周囲に露出していることが確認できた。

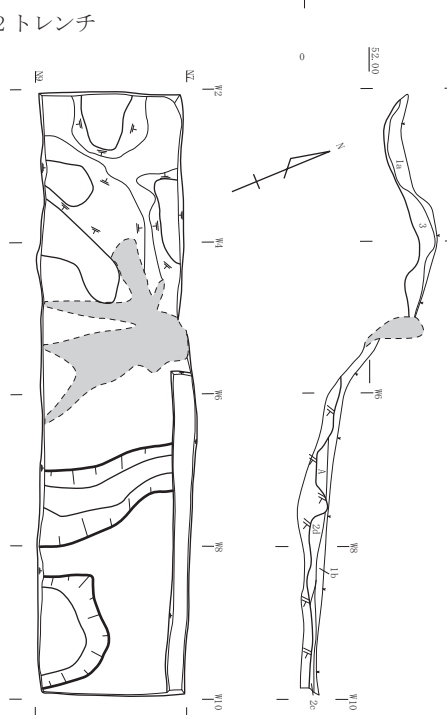
1 トレンチ



6 トレンチ



2 トレンチ



3 トレンチ



## 【土層注記】

- 1a 5Y3/2砂質土
- 1b 7.5Y2/2シルト
- 1c 10YR7/6粗砂
- 1d 2.5Y7/4シルト
- 1e 2.5Y7/2～7/6シルト
- 2a 5Y5/2シルト
- 2b 2.5Y7/4～7/2シルト～粗砂
- 2c 5Y5/2シルト
- 2e 2.5Y6/3～6/4粗砂
- 2f 2.5Y7/3シルト
- 3 2.5Y6/2砂質土
- A1 2.5Y7/4～5Y7 /2シルト
- A2 5Y7/1～7/2シルト
- A3 2.5Y7/6シルト
- B 5PB～5BG5/1シルト
- C 7.5Y7/2シルト
- 5 7.5Y6/3～2.5Y7/8シルト～砂礫土

図25 平池1号墳  
調査区平面図・土層図(2)

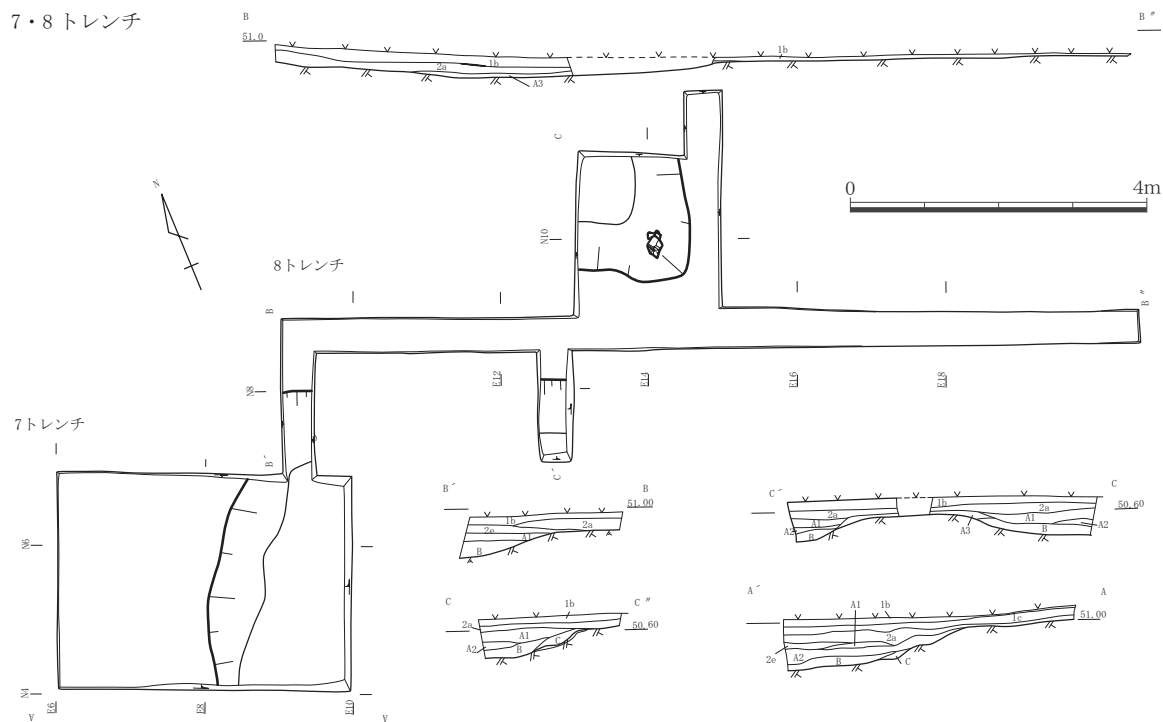


図26 平池 1 号墳 調査区分平面図・土層図 (3)



写真16 (左)  
平池 1 号墳全景  
(北から)



写真17 (右)  
平池 1 号墳 8 ト  
レンチ (東から)

1 トレンチではN16付近で幅 2 m 程度の周溝を検出した。また、墳丘盛土が 1 号墳同様黄色系土壌と白色系シルト土壌であることも確認できた。

2 トレンチではトレンチの西側で周溝が途切れ、S 6 ~ 10、W10 ~ 12 の範囲には周溝が掘削されず、さらに、3 トレンチでは S 6 W 4 付近で周溝が途切れ、周溝の掘り残しによる陸橋が付設されることを確認した。

以上の調査成果から、2 号墳は幅 2 m 以上の周溝を廻らす NE 方向の長径 31.5 m、SW 方向の短径 28 m を測るやや楕円形で、さらに長径の方向性と横穴式石室の開口方向と一致する方向性に 1 号墳同様の幅約 10 m の陸橋を付設する円墳と復元できる。

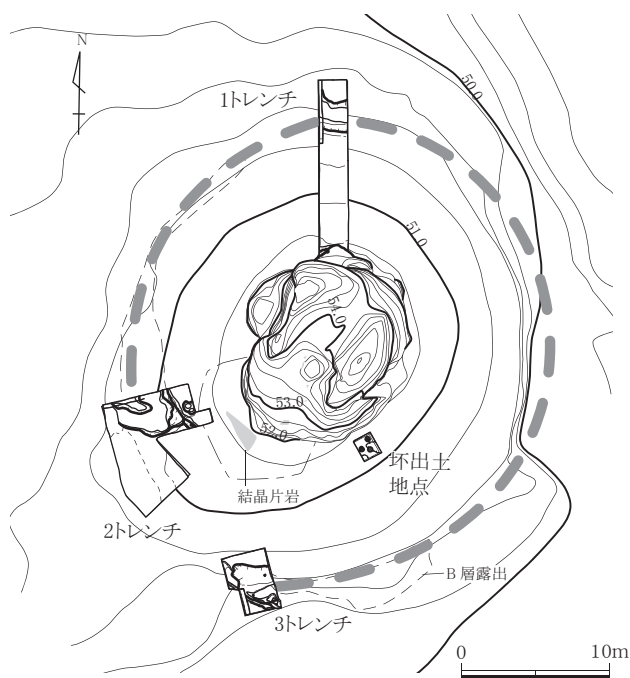


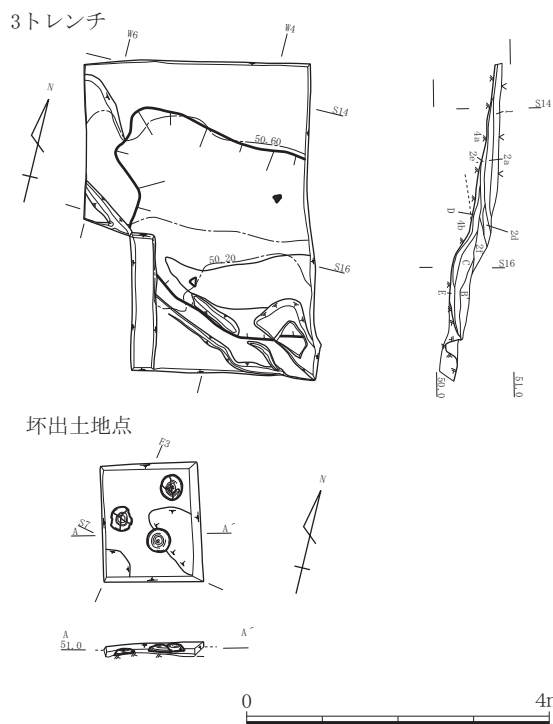
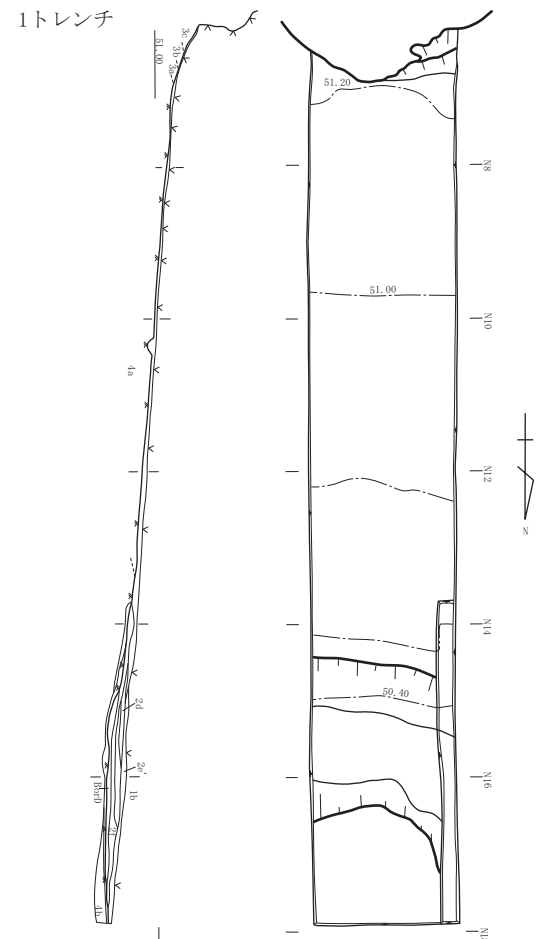
図27 平池 2 号墳 調査区配置図・平面図

### C. 平池 3 号墳

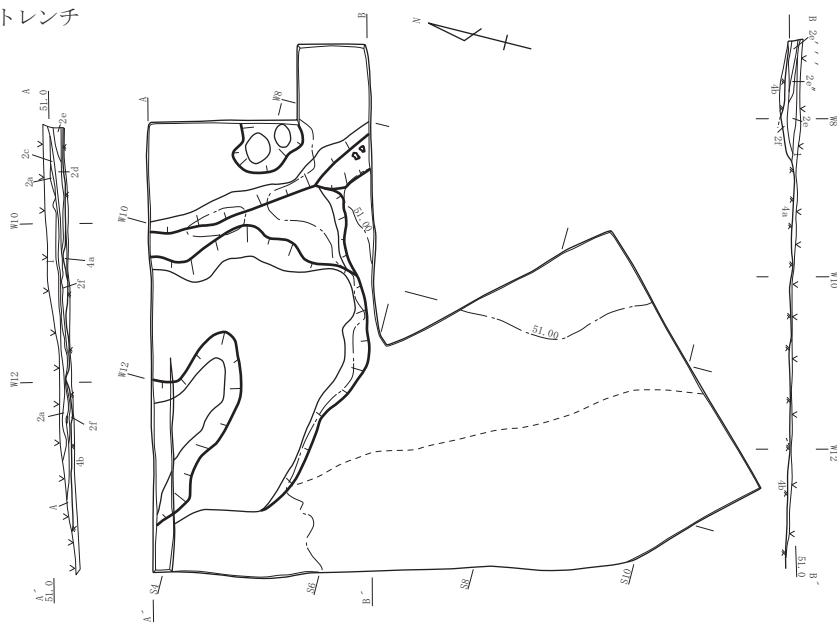
平池南堤から10m程度離れた池内に位置する。墳丘は、1・2号墳に比べると池水による浸食されず、現況では直径13～14m程度の円墳が残存する。墳丘上の中央部から南西方向に盗掘坑とみられる凹みが確認できる。トレンチは北西側と南東1トレンチ



写真18 平池 2 号墳全景（南から）



### 2トレンチ



### 【土層注記】

- 1 10YR6/6粗砂
- 1b 5BG5/1シルト～細砂
- 2a 2.5Y6/1～5Y/1シルト
- 2b 5Y6/2砂質土
- 2c 5Y6/3砂質土
- 2d 2.5Y6/1～5Y6/2シルト～細砂
- 2e 2.5Y7/6シルト
- 2e' 10YR6/2～6/6粗砂
- 2e'' 2.5Y7/1シルト
- 2e''' 3Y6/4シルト
- 2f 10Y6/1シルト
- 3a 7.5Y7/1シルト
- 3b 5Y7/3中砂
- 3c 10YR6/8中砂
- 4a 5Y6/4シルト
- 4b 10YR7/8
- A 5BG6/1シルト
- B 7.5Y2/2シルト
- C 5Y6/3シルト
- D 10YR5/1～6/1シルト
- E 7.5Y6/2～6/3シルト

図28 平池 2 号墳  
調査区平面図・土層図



側に配置し、47㎡の調査を実施した。層位は、  
1層：池底表面堆積土、2層：水成堆積層、  
3層：墳丘盛土、4層：池底地山の4つの層に  
大別できる。

両トレンチの池底部分では、1トレンチで幅  
0.5～0.9m、2トレンチで幅0.05～0.15mの浅  
い溝状遺構を検出した。両溝状遺構は、現在の  
墳丘部分と池底部の境界部分である池水の浸食



写真19 平池3号墳2トレンチ（南から）

1トレンチ

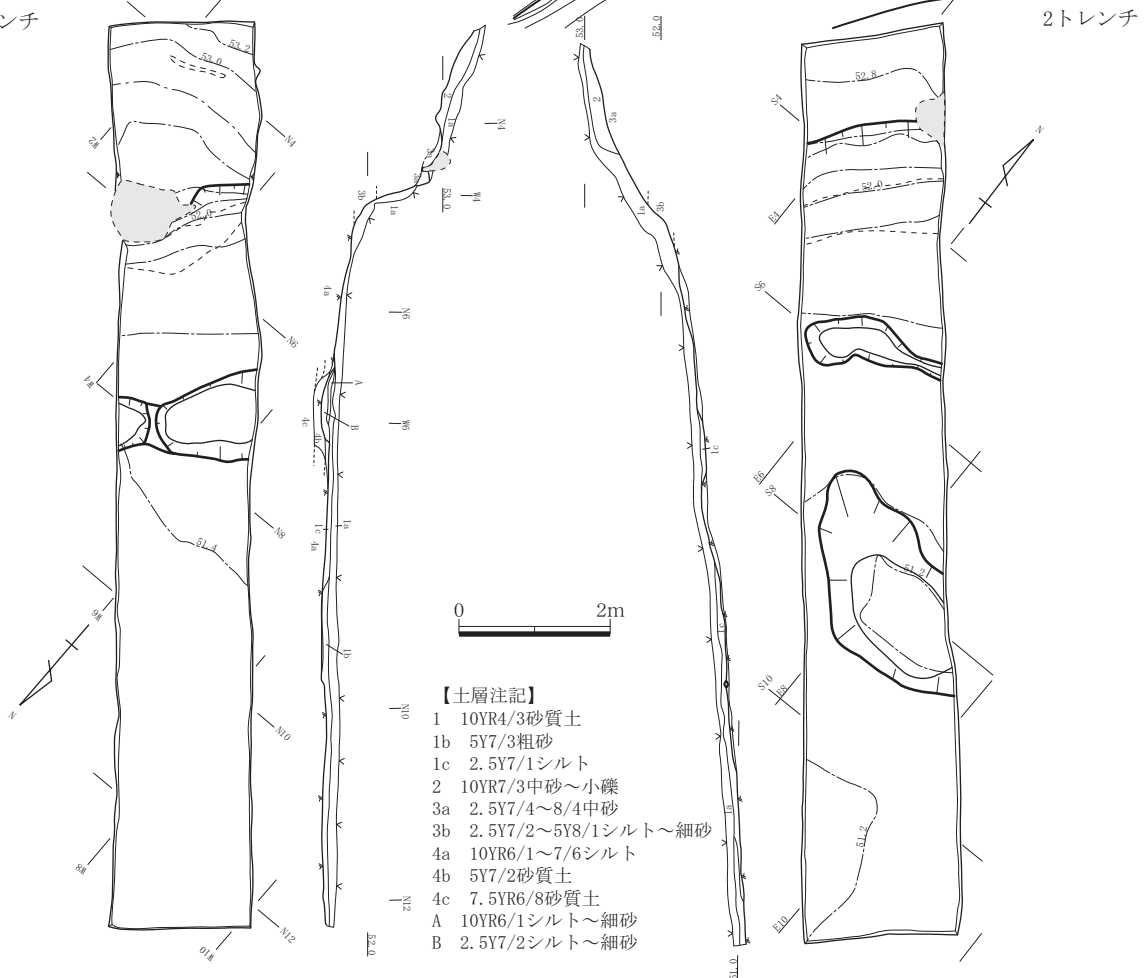


図29 平池3号墳 調査区配置図・平面図・土層図

を受けた箇所を除くと、最大の傾斜変換点であることから、積極的な根拠はないものの両溝状遺構が3号墳の周溝の痕跡と評価したい。そうすると、直径16.8mの円墳に復元できる。なお、両トレンチでも1・2号墳同様黄色系土壌と白色系シルト土壌の墳丘盛土を確認した。墳丘残存高は2m程度で、2号墳のような石材の散乱も認められないことから、1号墳同様縦穴系の粘土槨又は箱



写真20 平池4号墳全景（北から）

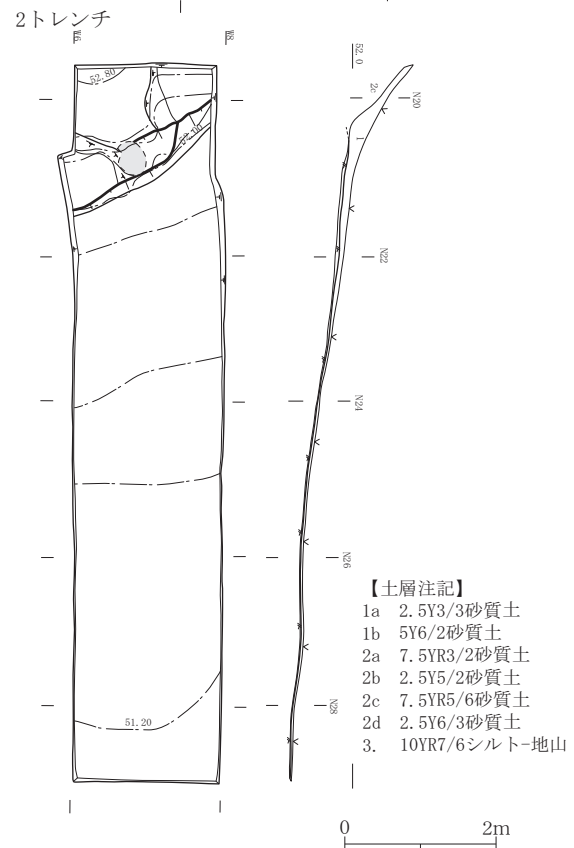
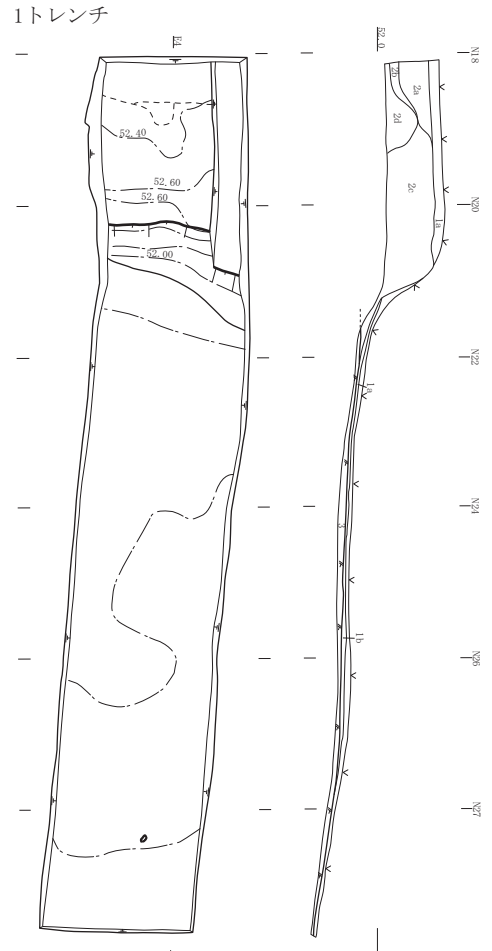
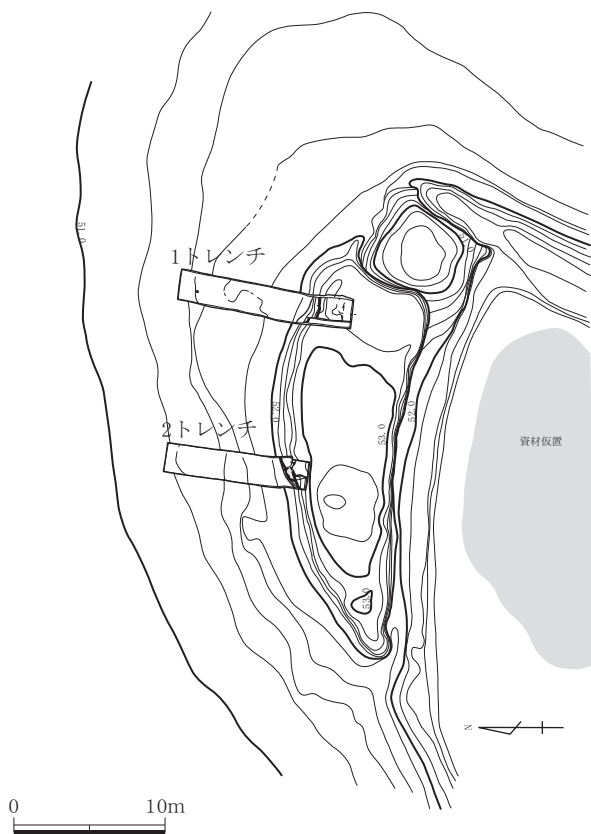


図30 平池4号墳 調査区配置図・平面図・土層図

式石棺等の埋葬施設が想定される。

#### D. 平池 4 号墳

池南岸の東西幅25m、南北 5 mの三日月状に残存するといわれ、南半部は埋立地で墳丘は削平されているといわれ、町史によると墳丘直径25mの円墳と紹介されている。また、貴志川町文化財一覧第 2 号では三日月状の円弧の池岸から 5 mの距離に遺物が散乱していたとの記録が残存する。なお、1999年度には(財)和歌山県文化財センターにより埋立地の資材仮置周辺のトレンチ調査を実施されたものの、古墳の痕跡は検出されていない。今回の調査では、三日月状の円弧の部分に並行するように 2 つのトレンチを設定した結果、42㎡の調査を実施した。

両トレンチでは池底部で溝状遺構は検出されなかった。また、墳丘部では 1 ～ 3 号墳のような黄色系土壌と白色系シルト土壌の盛土による構築ではなく、赤褐色系土壌による盛土で、1 トレンチでは 2 c 層を現況の墳丘部外周に堤状に盛土し、その内部を 2 a ・ b 層を充填しているように墳丘部が形成されることが確認できた。

この墳丘盛土の土質や土壌の単位の状況は、1 ～ 3 号墳と著しく異なる。また、三日月の円弧を円墳の一部として墳丘規模を復元すると45m前後を測ることとなり、全国的にも非常に大規模な円墳に復元される一方、周溝などの施設を備えていないこととなる。また、1999年度の調査結果を勘案すると、4 号墳を円墳と評価する成果はない。

#### (3) 遺物

A. 平池 1 号墳 円筒埴輪、形象埴輪及び須恵器が出土したほか、古墳に関連しない遺物として、サヌカイト凹基式石鏃が 1 点出土した。

円筒埴輪は、2 つに大別できる。まず、突帯には断続ナデ技法 A ・ B を駆使し、外面調整がナナメハケの一群 (1 ～ 13) で、3 条 4 段以上の段構成に復元される。この一群は、内面調整によりナデのみの一群 (1 ～ 11) とタテハケの一群 (12 ・ 13) に細別できる。さらに、内面調整ナデのみの群は、外面調整のハケ原体が粗で焼成が軟質な一群 (1 ・ 3 ～ 6 ・ 9 ・ 10) とハケ原体が密で焼成が堅緻な一群 (3 ・ 7 ・ 8 ・ 11) に細分できる。この一群は、畿内地域で古墳時代後期後半に展開する円筒埴輪の技法を使用する一群で、朝顔形埴輪 (17) もこの一群に属すると考えられる。この畿内地域的な円筒埴輪群に対し、器壁が薄く、突帯も幅狭で、焼成は赤褐色を呈す軟質な一群 (14 ～ 16) で、外面調整はヨコハケ (15) が行われる。この一群の全形は窺い知れないものの、確認できる属性は紀伊や大和南部に展開する「紀伊型」ないしは「環畿内南部型」と呼称される一群に属すると評価できる。なお、この一群は 5 ・ 8 トレンチの陸橋がある墳丘東側でのみ出土している。このように、畿内型ともいえる一群と紀伊型ないしは環畿内南部型と称される一群の 2 つの系統の円筒埴輪の樹立が確認できた。形象埴輪には、動物埴輪・人物埴輪・器財埴輪を確認した。動物埴輪では、馬形埴輪の耳 (18) ・ 帯 (19) ・ 馬具の一部 (20) のほか、四脚獣脚付根部 (21 ・ 22)、脚部中位 (23) が認められた。人物埴輪 (24 ～ 26) は腕部のみを確認し、中実のものと中空のものが認められた。器財埴輪には、石見型埴輪形象部右下半部 (27) のほか、器財埴輪とみられるが詳細不明な破片 (28 ・ 29) も認められた。須恵器では、脚部 3 方向透かしの高坏 (30) ・ 壺頸部 (31) ・ 器台脚部 (32 ・ 33) 出土した。出土遺物の特徴から、平池 1 号墳は T K 10 型式期の古墳時代後期前半の 6 世紀第 II 四半期に帰属すると考えられる。

B. 平池 2 号墳 須恵器坏・甕 (34 ～ 40) のほか、1 号墳同様サヌカイト凹基式石鏃 (42) が出土した。





图31 平池古墳群出土遺物（1）



須恵器は蓋坏の坏蓋（34）、坏身（35～38）で、形態的特徴からTK209型式に該当する。なお、坏身として図化した（39）は、無蓋高坏坏部のような形態であるが、脚部の接合痕跡は認められない。なお、器壁は薄く焼成は堅緻で、蓋坏とは様相が異なる。出土遺物から、平池2号墳は古墳時代後期後半の6世紀第IV四半期に帰属すると考えられる。

#### （４） まとめ

今回の調査により、平池1号墳は6世紀第II四半期に帰属する陸橋を付設する31.5mの前方後円墳、平池2号墳は6世紀第IV四半期に帰属する陸橋を付設する長径31.5mの円墳、平池3号墳は時期不明の直径16.8mの円墳であることが確認できた。なお、想定される埋葬施設から3号墳→1号墳→2号墳の築造順序とみられる。これに対し、4号墳は古墳でない公算が高まった。

#### ＜過去の主要文献＞

鐘方正樹2003「円筒埴輪の地域性と工人の動向」『埴輪-円筒埴輪製作技法の観察・認識・分析-』第52回埋蔵文化財研究集会実行委員会

河内一浩1988「古墳時代後期における紀伊の埴輪生産について」『求真能路』巽三郎先生古稀記念論集

貴志川町1981「（５）平池古墳群」『貴志川町誌』第3巻 資料編2

藤井幸司2004「平池古墳群の発掘調査」『（財）和歌山県文化財センター年報』（財）和歌山県文化財センター

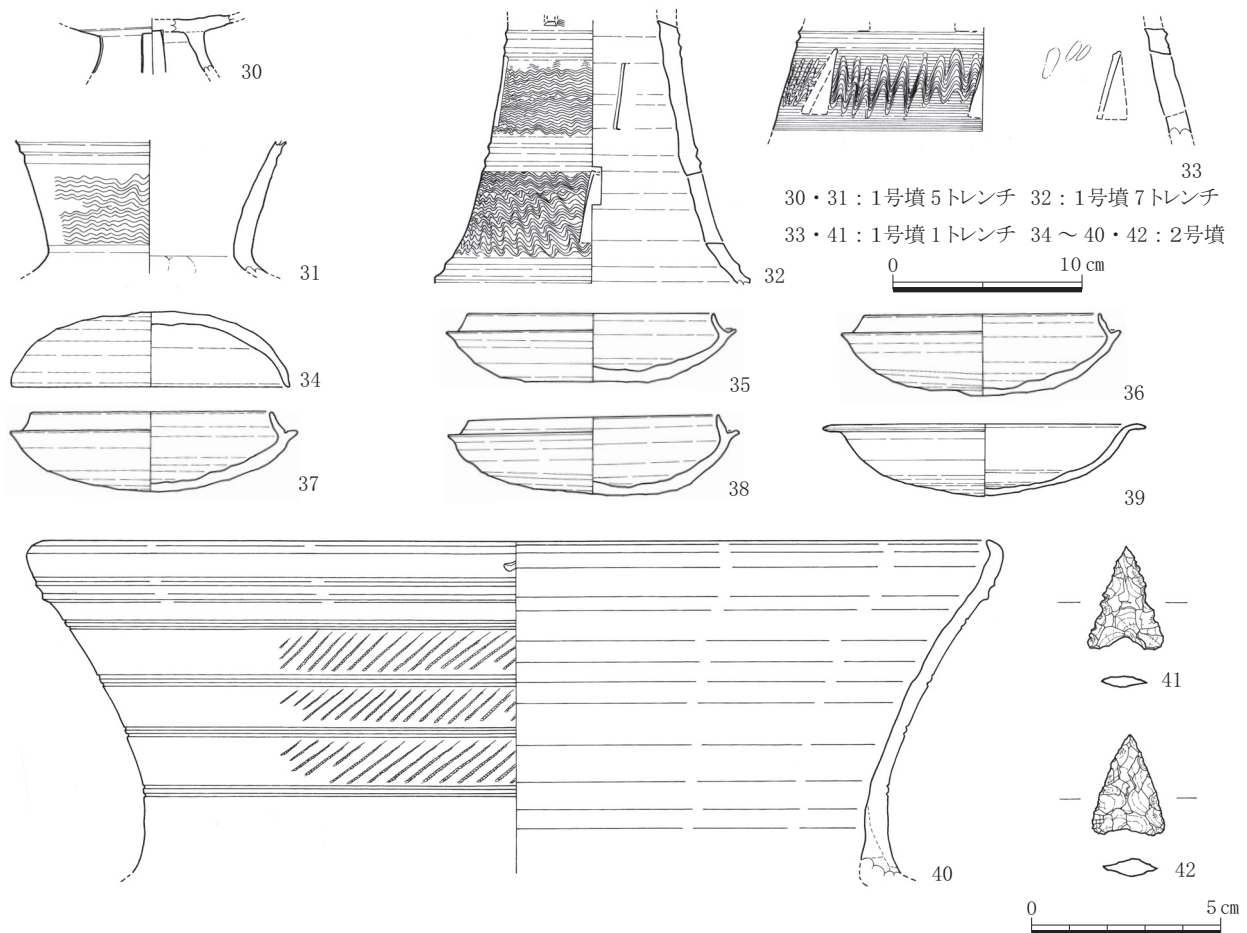


図32 平池古墳群出土遺物（２）

## 5. 八反田遺跡

調査コード 91-43・019

所在地 新宮市佐野・木ノ川

調査原因 佐野川改修工事

期 間 1991. 11. 14～1992. 03. 31

調査機関 (財)和歌山県文化財センター

調査担当 永光 寛

調査面積 960㎡

遺跡種別 散布地 集落

主な成果 弥生時代後期末の集落  
各地からの搬入弥生土器

今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告

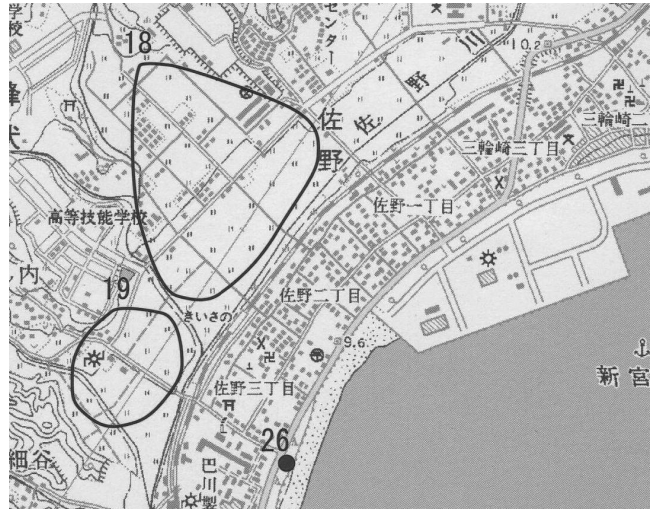


図33 八反田遺跡跡の位置 (上図の19)

### (1) 遺跡の位置と概要

八反田遺跡はJRきのくに線伊佐野駅の西側に展開する遺跡で、太平洋に面して形成された海岸砂丘から後背地にかけて立地する。北側には同じ立地にある佐野遺跡が存在する。

調査原因は、砂丘と後背湿地の間を流れる佐野川の改修に伴うもので、南北に流れる川を挟んでA～Cの3箇所の調査区を設定している。川の東側のA区は砂丘上で、西側のB区は砂丘上から後背地への変換点、C区は後背湿地に位置する。

### (2) 調査の成果

#### A. A区の調査

基本層位は第1層：盛土、第2層：耕作土、第3層：礫混入暗褐色系砂質土（弥生時代包含層）、第4層：礫層（地山）となる。第3層は調査区全体には広がっていない。遺構検出面の標高は3.7mで、弥生時代後期末の竪穴建物3棟（SB1・2・4）、土坑9基、ピットなどを検出している。

SB1は調査区の南東隅で検出したもので、東半分は調査区域外となり、南側も攪乱されている。平面形状は隅丸方形で、規模は1辺約4.2m、深さ0.3mを測る。複数の壁溝の存在から、少なくとも拡張を伴う2回の建替えが行われていることが窺える。上屋を支える柱は建替えもあることから、床面上で多く見つかったが、基本的には主柱は4本であったと考えられる。炉は中央にあったと考えられるが、その位置に後世の遺構が掘削され、明確でない。遺物は覆土から弥生時代後期末頃の土器が多く出土しており、壺（6）、甕（7・8）、器台（9）などがある。また、床面上で検出した柱穴からは高坏（16）が出土している。



図34 八反田遺跡 調査区位置図



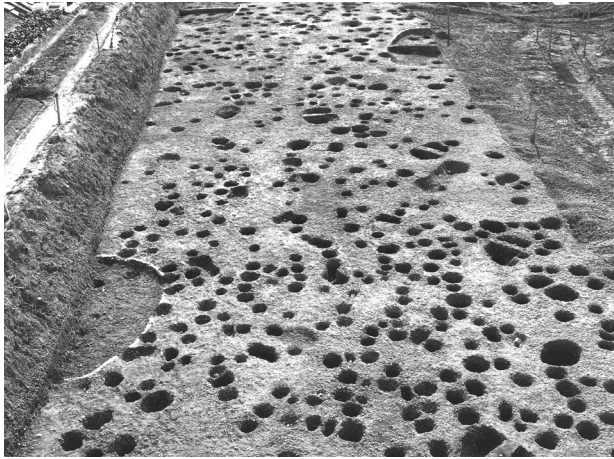


写真21 八反田遺跡 A区（北から）

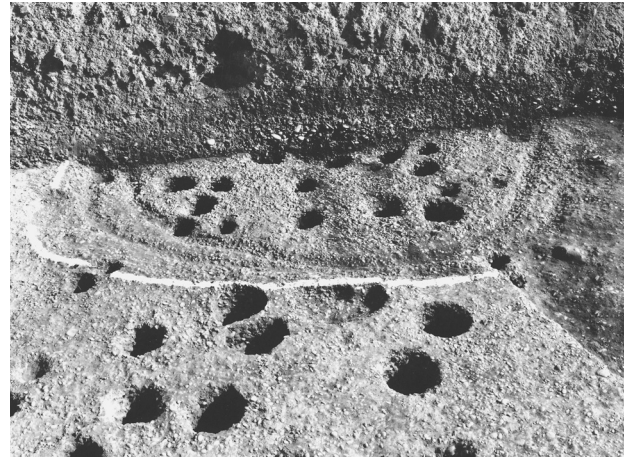


写真22 八反田遺跡 SB1（西から）

SB2はSB1の北西に約6.5m隔てて位置する。西半分が川岸の崩壊により削平される。平面形状は隅丸方形で、規模は1辺4.3m、深さ0.2mを測る。東辺の壁際には、長さ0.70m、幅0.65m、深さ0.2mの貯蔵穴が存在する。南西コーナー付近の壁際より約20cm内側には壁溝が確認できる。壁より離れていることから1回の拡張を伴う建替えがあった可能性がある。主柱は調査区内で2基確認しており、位置関係から4本であったと考えられる。遺物は覆土から弥生時代後期末頃の土器が多く出土しており、壺（10）、甕（11～13）、高坏（14・15）などがある。遺物の時期からもSB1と併存していたと考えられる。

SB4は調査区の北東部で検出したもので、SB1とは約15m隔たる。東半分が調査区域外となり全容は不明である。平面形状は隅丸方形で、規模は1辺3.75m、深さ0.2mを測る。床面上からは主柱となる柱穴や壁溝・炉などは検出していない。遺物は覆土から弥生時代後期末頃の土器が出土している。

土坑は不整楕円形・隅丸方形で、規模は1.0m前後、深さは0.3～0.85mを測る。遺物はSK5から弥生時代中期の壺（1）・甕（2）が、SK10から弥生時代中期の壺（3・4）・高坏（66）が出土している。

ピットは多数あり、掘立柱建物も何棟か存在するものと考えられるが、プランを想定することができなかった。SP091からは弥生時代中期の壺（5）などが出土している。

## B. B区の調査

調査区の東端で砂丘の縁辺部を確認したが、それを挟るように流れる自然流路と流路の落ち際に構築された不明遺構を検出している。

自然流路は、断面観察から何時期かあることが窺えるが、調査区全体を一様に掘り下げていることから、平面での変遷は明らかでない。流路内からは、弥生時代前期から平安時代の遺物が出土しているが、明確な取り上げ層位は不明で、ほぼ一括して取上げられている。これらの遺物は、磨滅も少ないことから、直近の東側にあった集落から流れ込んだものであると考えられる。

不明遺構は砂丘の縁辺部、流路の肩付近で検出したもので、長さ約90cmの板材1枚と長さ65cmと50cmの板材2枚を平行に約0.8mの間隔をあけて立て杭で固定しており、周囲には無秩序に約50本



写真23 八反田遺跡 B区（南から）

の杭が打ち込まれていた。板で囲まれた内部には、有機質（流木・木の葉・木の実）混入土が堆積しており、この土層に含まれている遺物から、構築時期は弥生時代後期頃と考えられる。

#### C. C区の調査区

調査区全体が、自然流路内に相当する。流路は時期により流れる位置を変えながら走っていることが断面観察などから窺える。遺物は少なく、著しく磨滅するものが多い。



写真24 八反田遺跡 B区不明遺構（東から）

#### (3) まとめ

調査では、砂丘の後背地側に営まれた集落と砂丘と後背湿地の境を流れる自然流路を検出した。集落を構成する建物は弥生時代後期末頃の堅穴建物3棟しか検出できていないが、集落から流路に流れ込んだ遺物から、弥生時代前期頃には集落が成立していた可能性がある。

流路から出土した遺物の内容を見ると、弥生時代中期から後期末にかけてのものが大半を占め、それ以降の遺物は、須恵器1点、黒色土器・山茶碗が数点ずつとごく僅かで、古墳時代以降、集落を移動していることが窺える。また、弥生時代においても、中期中葉から後葉、後期中葉、後期末に画期があり、連綿と続いていなかった可能性もある。

出土する弥生土器には、縄文を施した壺や文様帯を沈線で区画する壺、近江系甕・台付甕など伊勢湾沿岸地方からの搬入品や、結晶片岩を含む和歌山県北部や角閃石を含む生駒西麓からの搬入品、あるいは胎土からも明らかに地元ではない考えられるものがあり、各地域からの多種多様な土器が運び込まれている。これは、集落が太平洋を臨む位置にあることから、東日本と西日本を結ぶ交流ルート上にあって、中継地的な役割を担っていたからであると考えられる。また、地元産の土器についても、脚台を持つ後期末の甕や、同じく後期末の大型粗成鉢など和歌山県南部の特徴を持つ土器が散見でき、地域性を窺うことができる。

石鏃の石材は、サヌカイトが少なく、多くは地元で産するスレートを用いている。交流を盛んに行っていることからサヌカイトを手に入れることは容易であったと考えられるが、あくまでもスレートを使用していることが窺える。これは、田辺以南の和歌山県南部の弥生遺跡で言えることで、他の打製石器でもスレートを使用する例が多くみられる。また、硬砂岩を打ち割り、わずかに刃部を調整しただけの粗製剥片石器が多く出土しており、これらも遺跡の性格を語るものであると言える。

#### 〈過去の主要文献〉

永光寛1992「八反田遺跡の第1次調査」『(財)和歌山県文化財センター年報』(財)和歌山県文化財センター

土井孝之1997「和歌山県の石器」『農耕開始期の石器粗製4』国立歴史民俗博物館



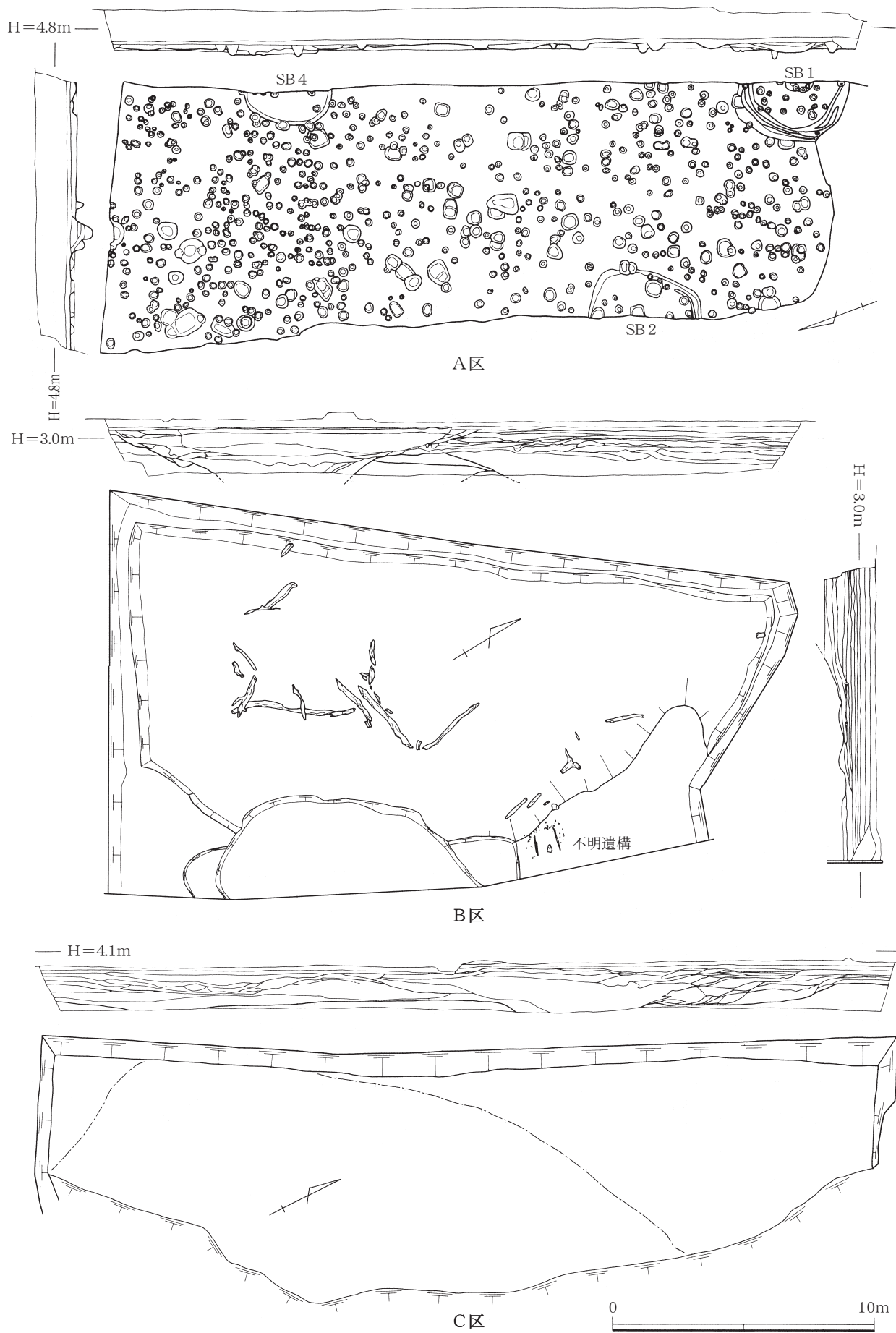


図35 八反田遺跡遺構 (1)

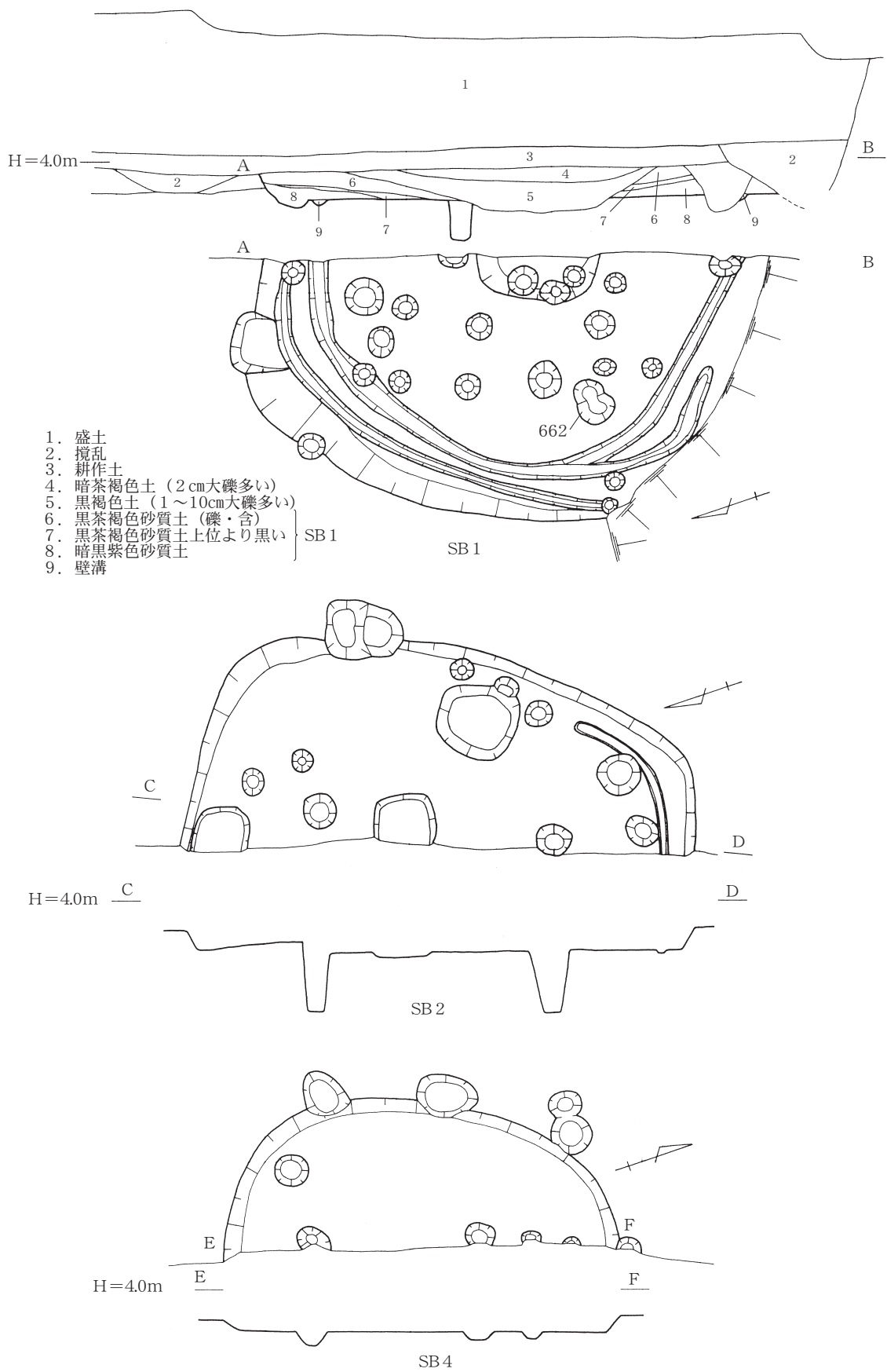


図36 八反田遺跡遺構 (2)

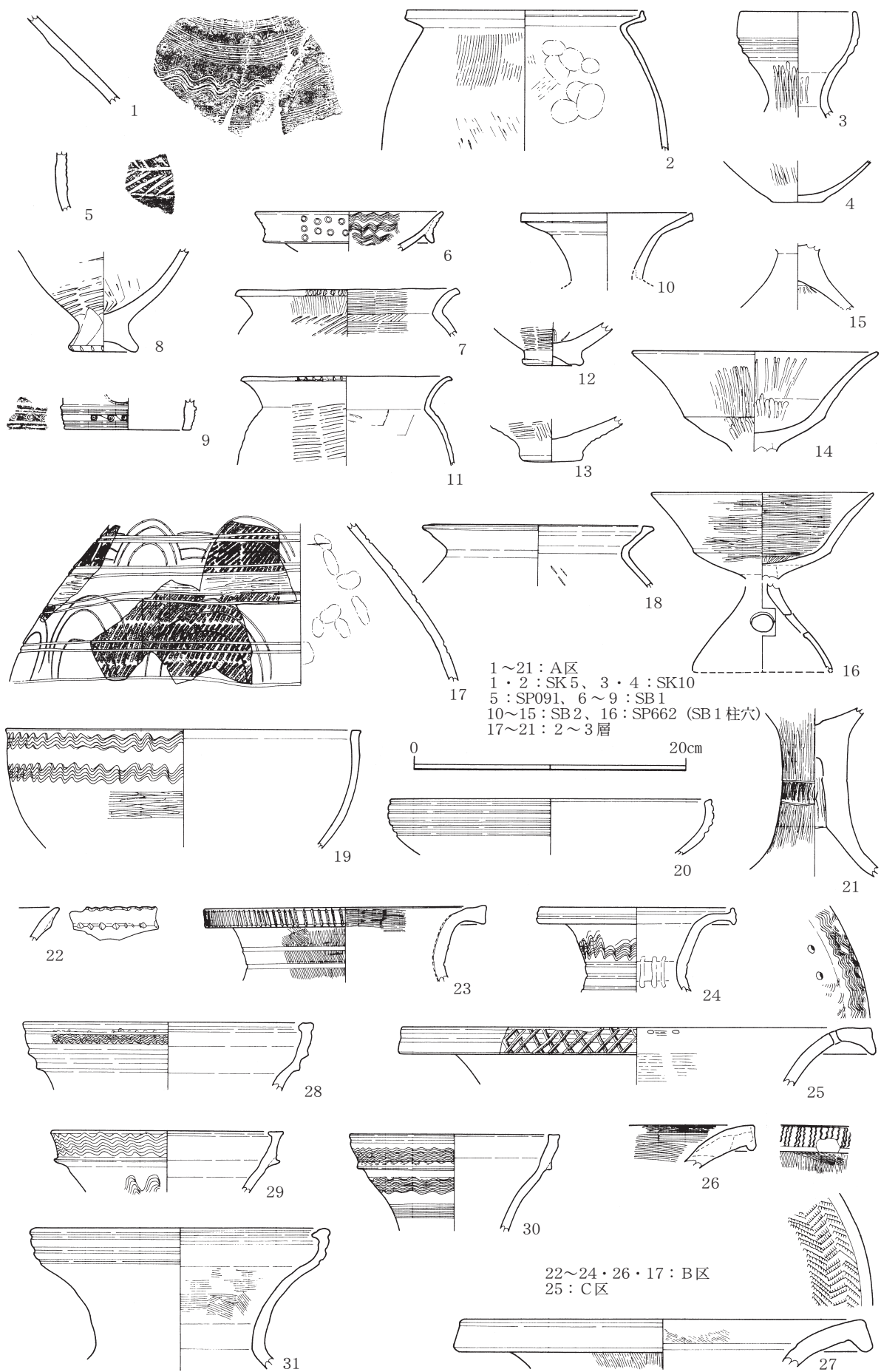


図37 八反田遺跡出土遺物 (1)

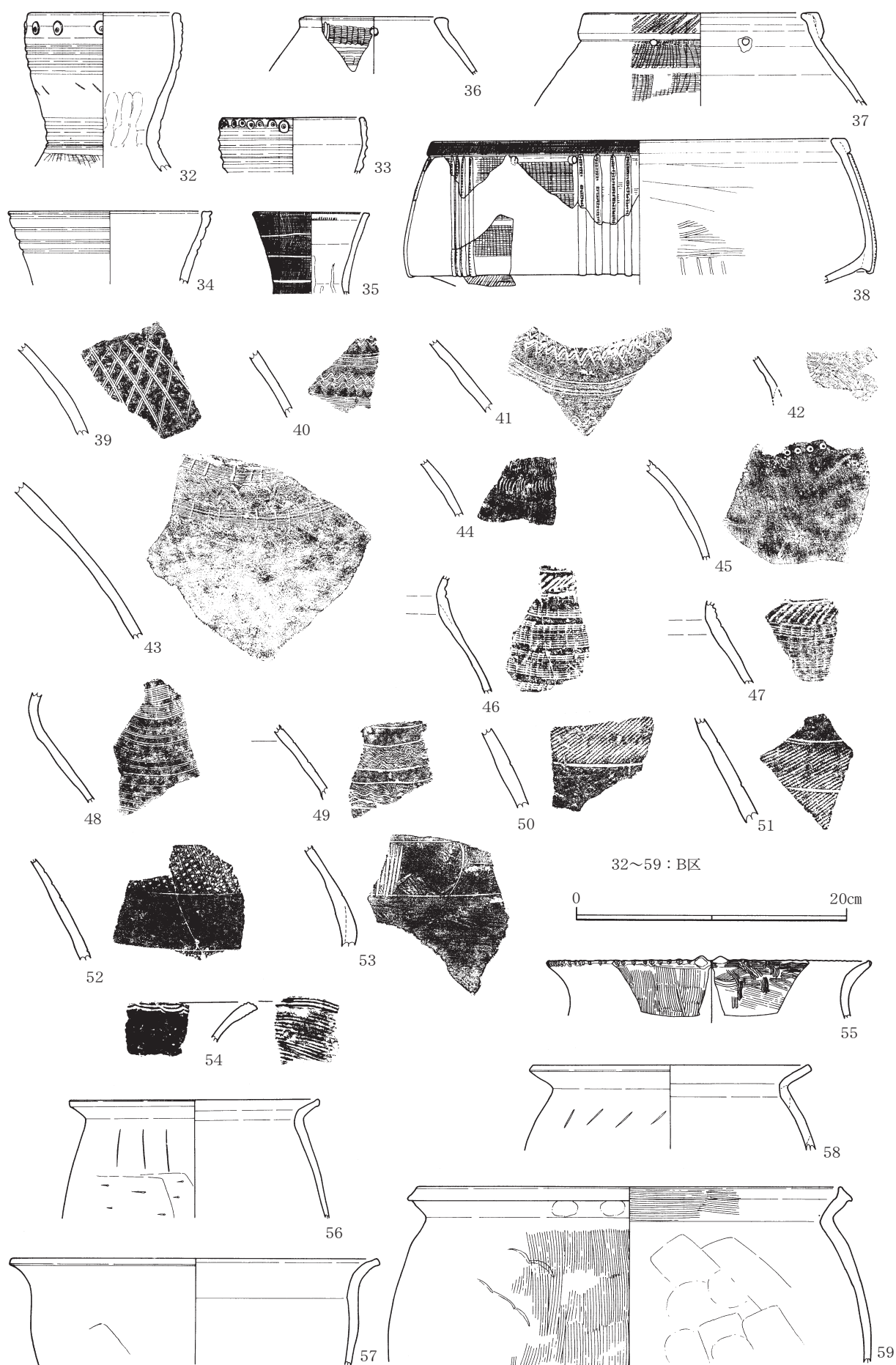


図38 八反田遺跡出土遺物（2）



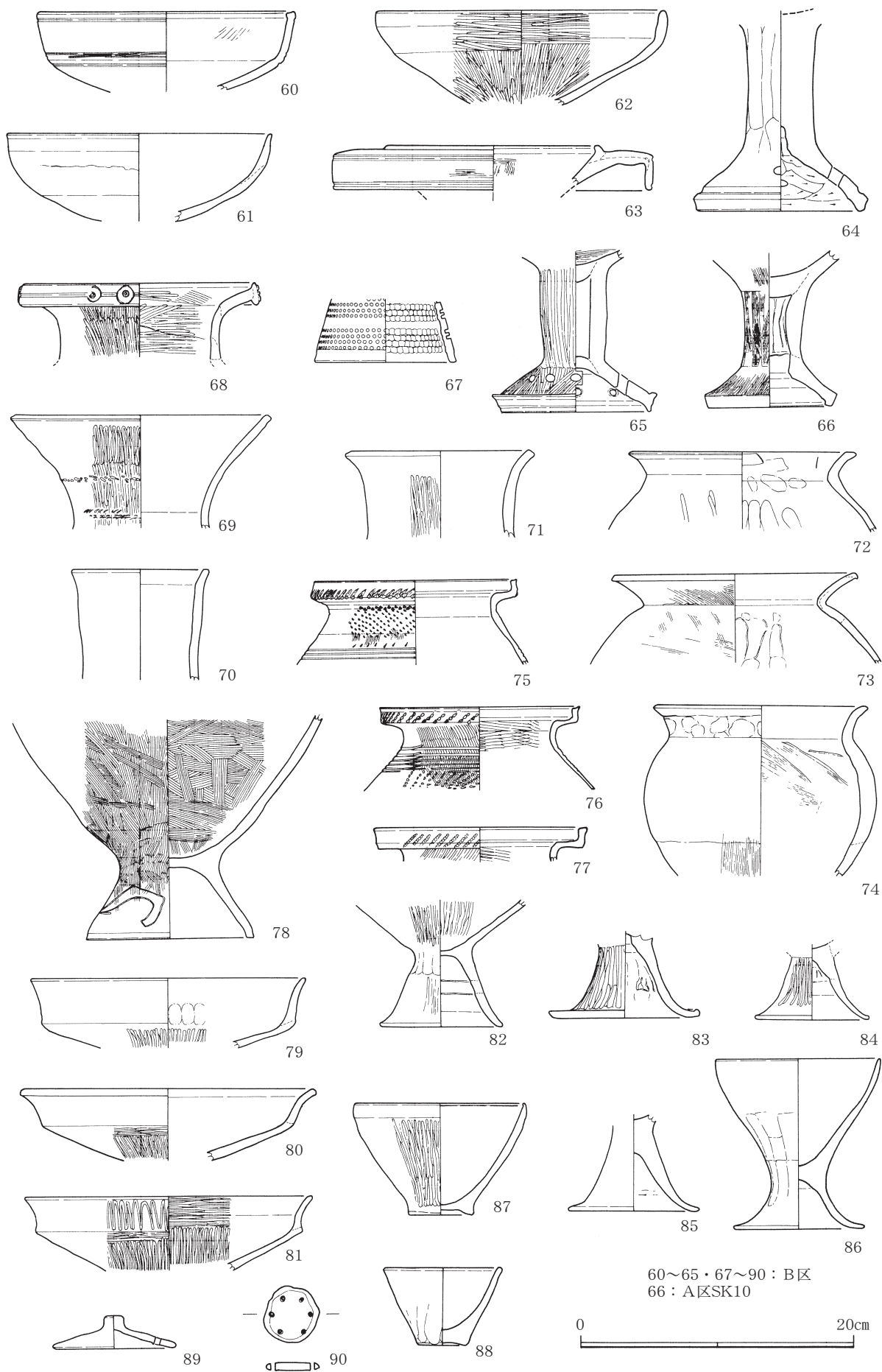


図39 八反田遺跡出土遺物（3）

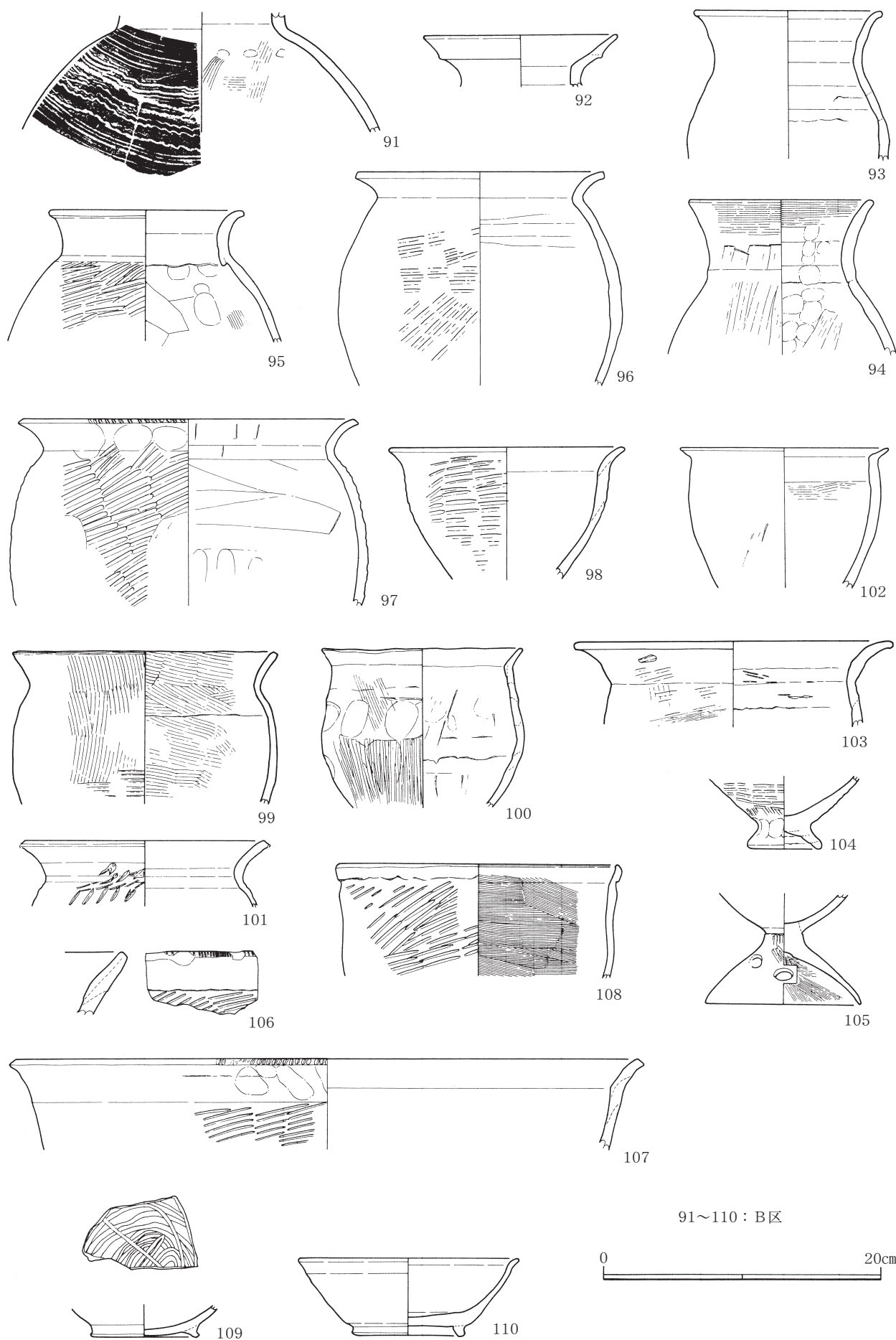


図40 八反田遺跡出土遺物（4）

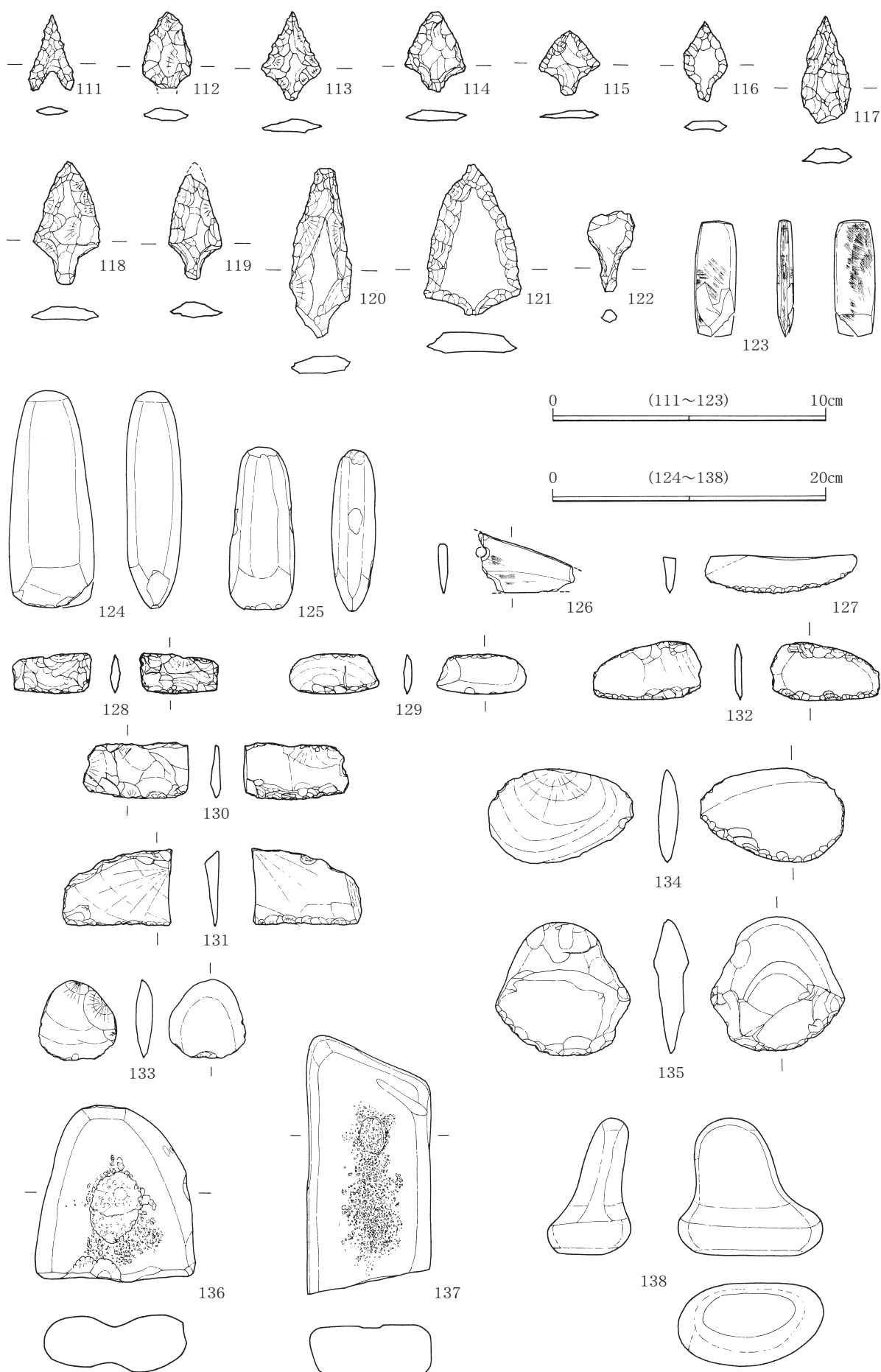


図41 八反田遺跡出土遺物（5）



## 6. 那智山坊跡

調査コード 89-44・006

所在地 那智勝浦町那智山

調査原因 駐車場建設

期 間 1989. 08. 01～1989. 12. 25

調査機関 (財)和歌山県文化財センター

調査担当 佐伯和也

調査面積 300㎡

遺跡種別 寺院跡

主な成果 鎌倉時代から近世にかけての宿坊を構成する建物跡

今回の作業 出土遺物整理、資料整理、概要報告



図42 那智山坊跡の位置（上図の6）

### （1） 遺跡の位置と概要

那智山坊跡は、世界文化遺産として登録される「紀伊山地の霊場と参詣道」のコアゾーンとなる熊野那智大社・青岸渡寺下方の山斜面に階段状に造成された宿坊跡で、実方院や現在でも宿坊として名を残す尊勝院などが手広く経営をおこなっていた。その歴史は、少なくとも古代末頃に遡り、参詣者の宿泊所や休憩所として賑わいをみせた。

調査区は青岸渡寺の北約100mにあり、遺跡の中では最も高所に位置する。山斜面をカットして前面に石垣を築き、敷地を造成したもので、調査前の現状は畑や山林となっていた。

### （2） 調査の成果

基本層位は第1層が表土、第2層が中世の包含層である黒灰色土で、それ以下がベースとなる。江戸時代の遺構は第2層上面で、中世の遺構は第2層の下面で検出できる。ベースは西側の山際が岩盤で、西側は整地土となり、整地に際しては、多くの遺物や炭を含む土が使われており、火事場で出た塵芥で整地をおこなっている可能性がある。



図43 那智山坊跡 調査区位置図

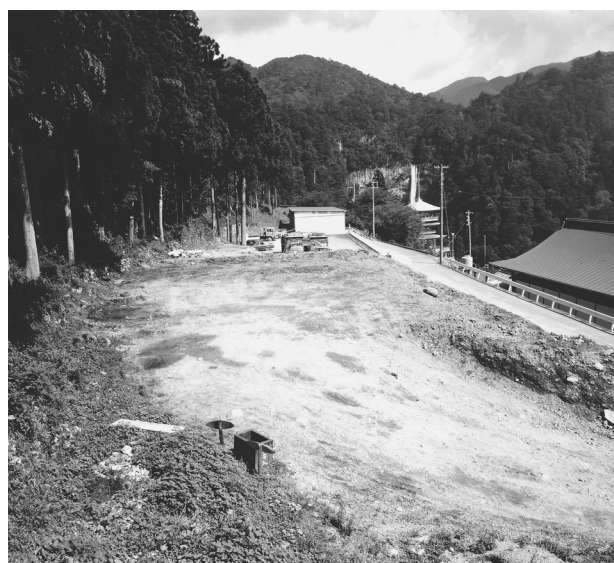


写真25 那智山坊跡 調査前の現状（南から）





図44 那智山坊跡遺構

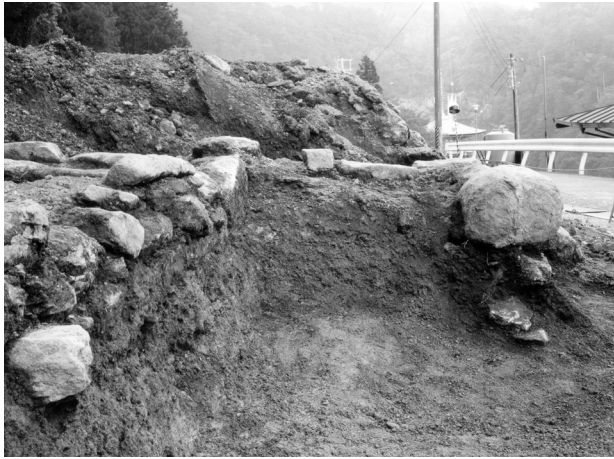


写真26 那智山坊跡 第2・第3石垣（南から）



写真27 那智山坊跡 建物基礎（北から）

検出した遺構には、石垣、建物基礎、掘立柱建物、カマド状遺構、土坑などがある。

石垣は、敷地の東を区画する南北方向に伸びるものを、三時期確認している。内側二時期の石垣が中世、最も外側の石垣が近世で、後世になるに従い東側に坊の敷地を拡張している様子が窺える。北側では、直径50～60cm大の石を、東西方向に一直線に並べた列石を検出しているが、これが敷地の北を区画するものであると考えられる。また、敷地南側は現在の石垣があり入口も確認できるが、東の区画を示す石垣の伸び具合からも、当初からの敷地南限であったと想定でき、その場合敷地の規模は南北45m、東西が15～20mとなる。

建物基礎は、敷地北を区画する列石の北側で検出した。直径20～30cm程度の石を一辺2.4m四方に並べたもので、小規模なお堂、あるいは祠の基礎で、検出面からも近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物は、調査区北部に集中している。規則正しい柱列が重層し、厳密に建物規模や建物の数を想定することは難しい。少なくとも梁行・桁行が4間前後の比較的大型の建物が、何回か建替えされていることが窺える。柱穴は直径20～80cmと大きさも様々で、底に板石を据えたものも存在する。建物は柱穴から出土する遺物から鎌倉時代から江戸時代までのものがあると考えられ、各期を通じて敷地の北部に主要な建物が存在し、敷地南側は小規模な建物が建つか空地であった可能性がある。

カマド状遺構は、直径約60cmの土坑の周囲に直径10～20cm程度の石を並べ、その内側に淡黄色粘土を貼ったもので、土坑内には炭が充填していた。また、周辺には直径20～50cmの礫が集中する。検出面から近世の遺構であると考えられる。

出土遺物には、渥美焼、常滑焼、瀬戸焼、山茶碗、備前焼、東播系須恵器、瓦器、土師器、瓦質工器、中国製陶磁器、伊万里焼、瓦、硯、石鍋、銅製品、銭貨等がある。中でも山茶碗が多量に出土している。

### （3） まとめ

調査では鎌倉時代から江戸時代にかけての建物が検出され、坊敷地内の建物配置を窺う資料を得ることができた。

遺物は平安時代末頃から江戸時代にかけてのも



写真28 那智山坊跡 掘立柱建物・柱穴（南から）

のが出土し、なかでも12・13世紀のものが多数を占め、内容も高級品とされるものが多量にある。また、それ以降の遺物は、各時期にわたって出土するものの、遺物量も少なく、内容も他の中世遺跡と隔絶するものではない。これは熊野三山の盛衰と連動するもので、平安時代後期から上皇・法皇が後ろ盾となって財政的基盤を支えていたが、承久の変（1221年）で上皇方が敗北したことに起因するものであると考えられる。

備前焼などの特徴から、15・16世紀にも坊が継続していることは明らかであるが、通常この時期の遺跡では、青磁線描蓮弁文碗や白磁端反皿・染付などの中国製磁器が一般集落でも出土し、根来寺遺跡などでは大量に出土する。ただ、調査においてはこれらの遺物の出土がなく、なんらかの要因があると考えられる。

整地層からは炭に混じって多くの土器が出土しているが、これらには精良な胎土をもつ渥美焼の壺をはじめ、中国製白磁や山茶碗などがある。时期的にも12世紀から13世紀にかけてのものであり、一括性の高い資料である。鎌倉時代の公家の日記である「百鍊抄」では貞応二年（1223）に那智山が火災に遭ったとされ、时期的にもその火事場整理に伴うものであった可能性もある。

山茶碗には高台内などに墨書を施したものが一定量有り、「坊」の字を判読できるものも数点見つかっている。明確に判読できるものとしては92・107の「明城」があるが、何を意味するものか分からない。また106は「池上・」と判読でき、三文字目も「房」である可能性がある。「池上坊」であるなら那智山米良家文書の永仁六年（1298）「權少僧都導覺紛失状」にあり、関連が注目される。また、調査した場所は、山本殖生著「那智山古絵図の世界」から窺うと、潮崎氏の廊之坊とされており、少なくとも古絵図が書かれた室町時代には潮崎氏により宿坊が営まれていた可能性が高い。

畿内及びその周辺部では平安時代後期から室町時代初め頃まで、食器として瓦器碗・瓦器皿を主として用いる。残ることが少ない漆碗などの木器を除外すると、ほぼ100%に近い割合で使用されている。一方、東海地方ではほぼ同じ時期に食器として山茶碗を使用する。紀の川流域では、まず山茶碗が出土することはないが、和歌山県の中ほどにある御坊市周辺の中世遺跡では、発掘調査で山茶碗が数点程度出土し、田辺市周辺では、10点以上出土することが多い。那智山坊跡の調査では、山茶碗が遺物総点数の約半分の4000点以上を占める。瓦器は山茶碗の10%に満たず、食器の主流が山茶碗であったことが窺える。また、備前焼や東播系須恵器など西日本の土器が出土するものの、渥美焼・常滑焼・瀬戸焼などの陶器の割合が圧倒的に多く、土師器甕・皿も伊勢の影響を受けたものがあるなど、東海地方との交易が頻繁であったことが想像できる。

#### 《過去の主要文献》

佐伯和也1990「那智山坊跡の調査」『（財）和歌山県埋蔵文化財センター年報』（財）和歌山県文化財センター

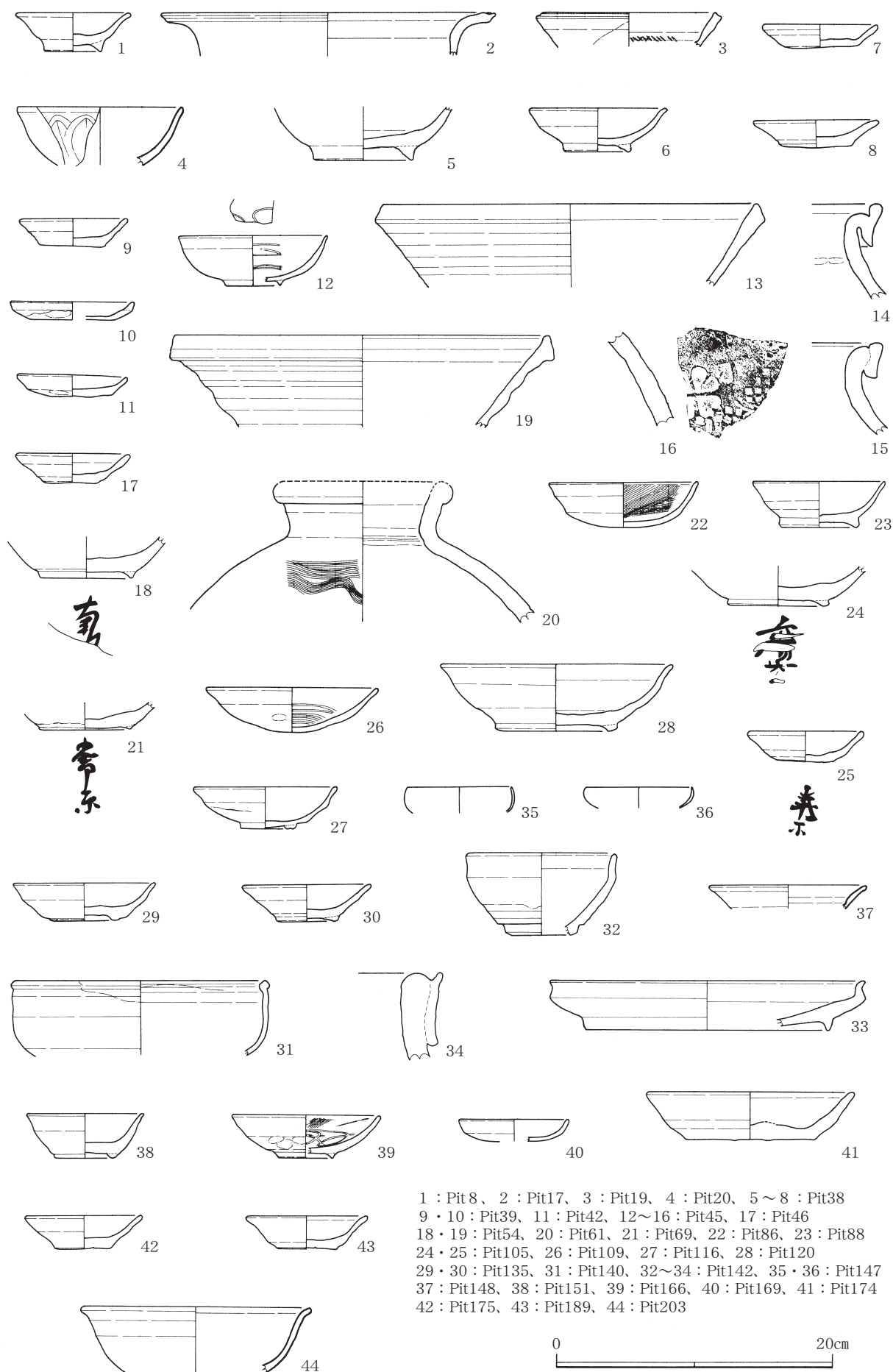


图45 那智山坊跡出土遺物（1）



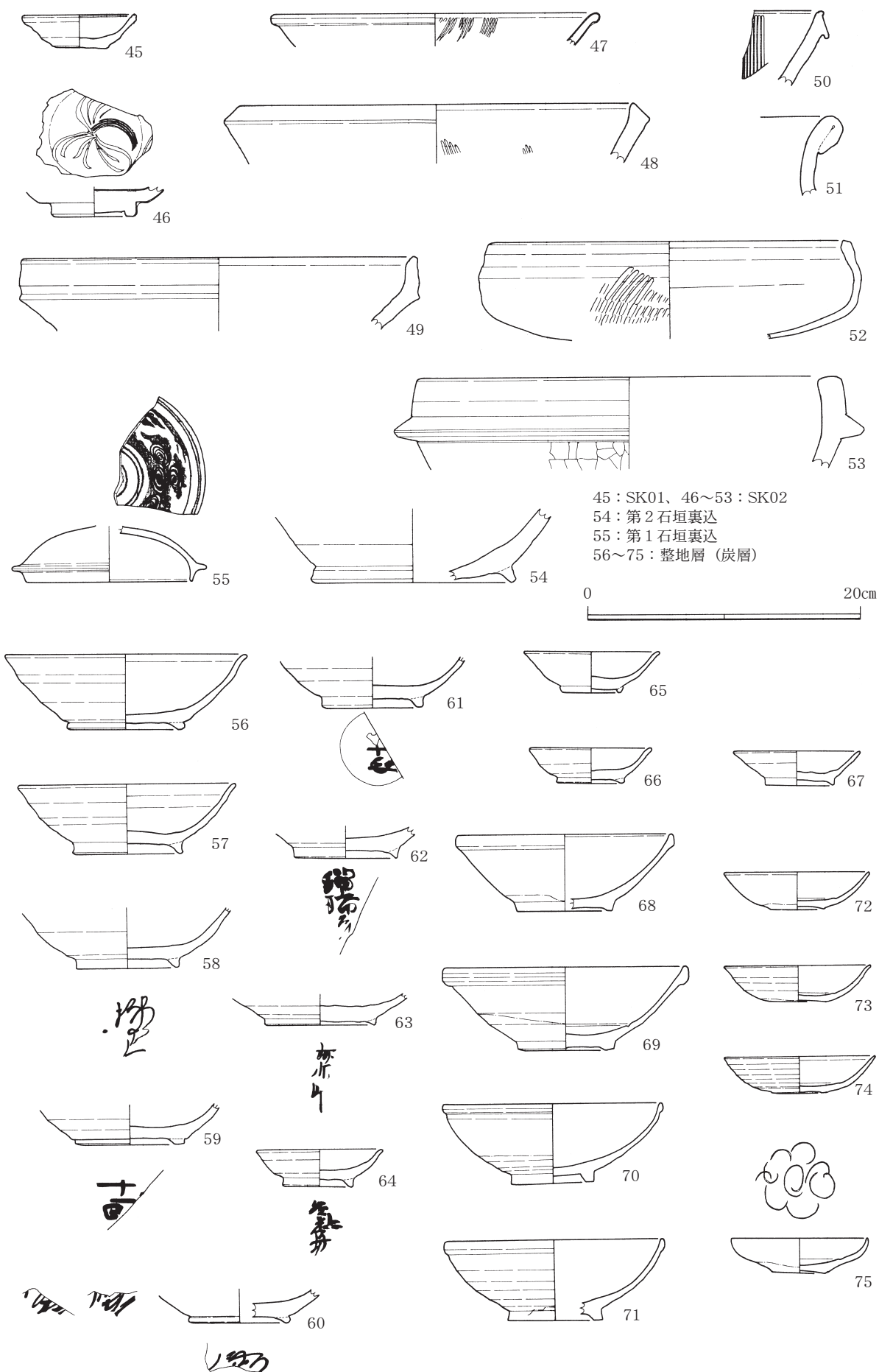


図46 那智山坊跡出土遺物 (2)

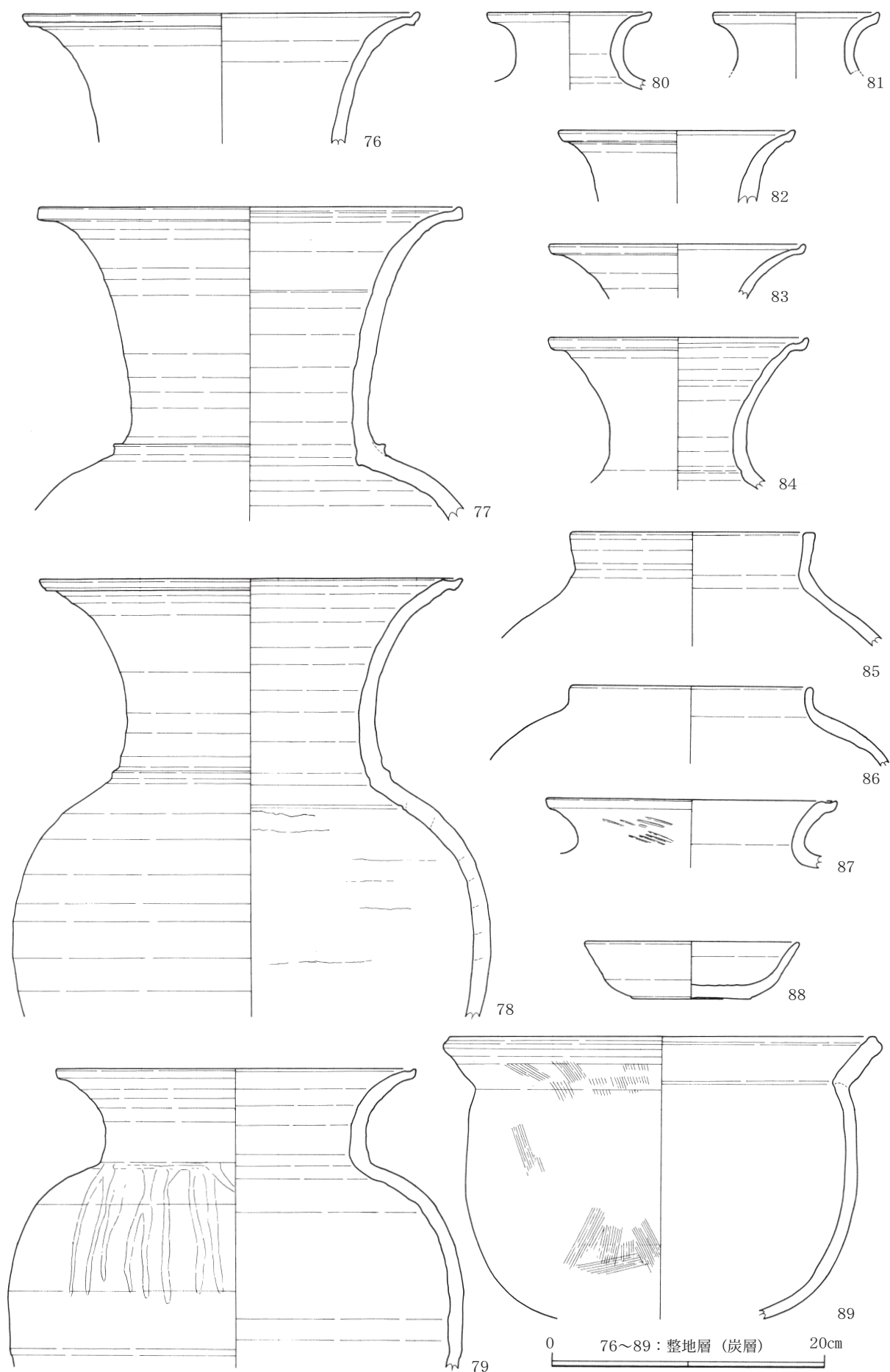


図47 那智山坊跡出土遺物（3）

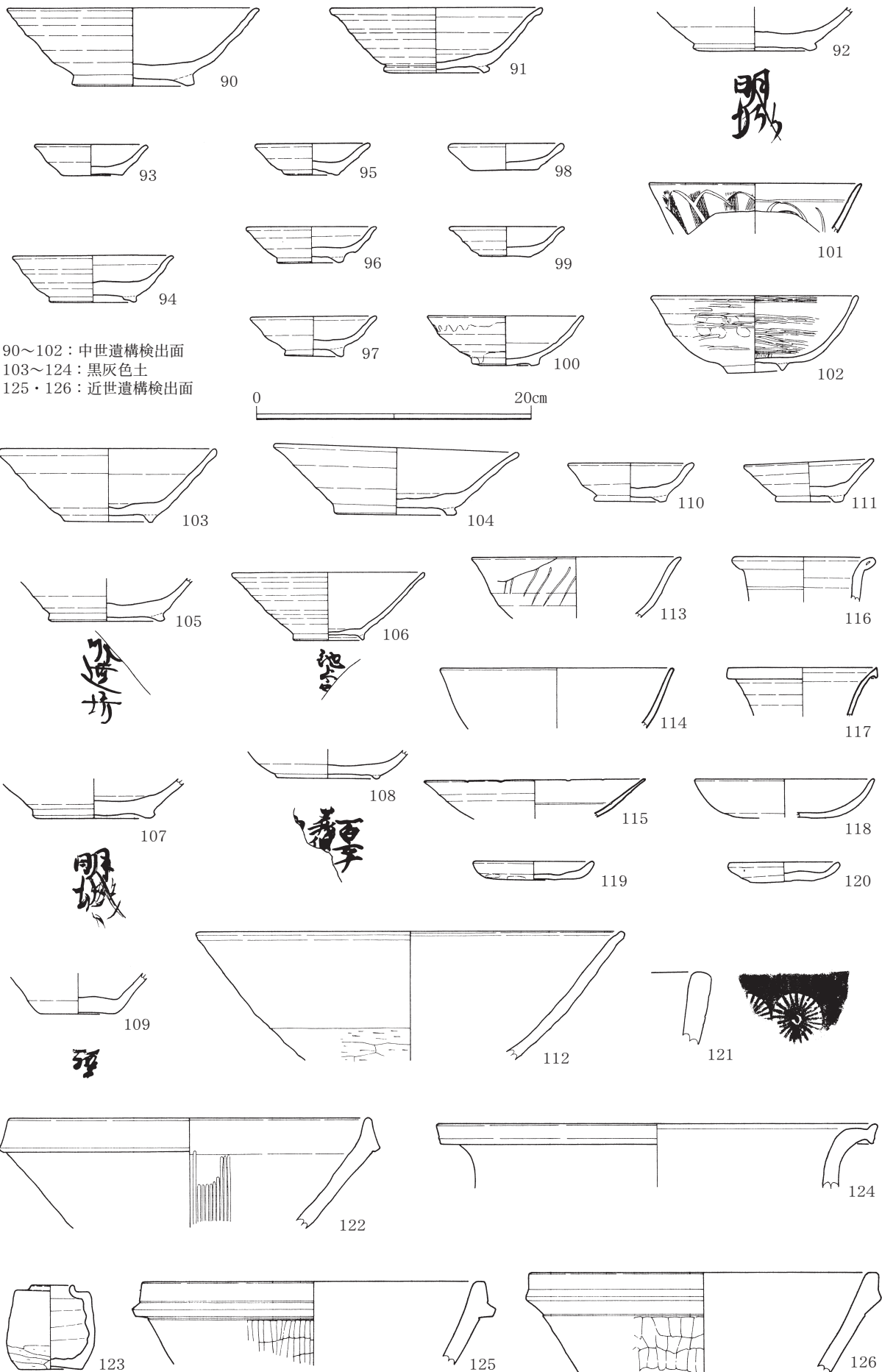


図48 那智山坊跡出土遺物（4）

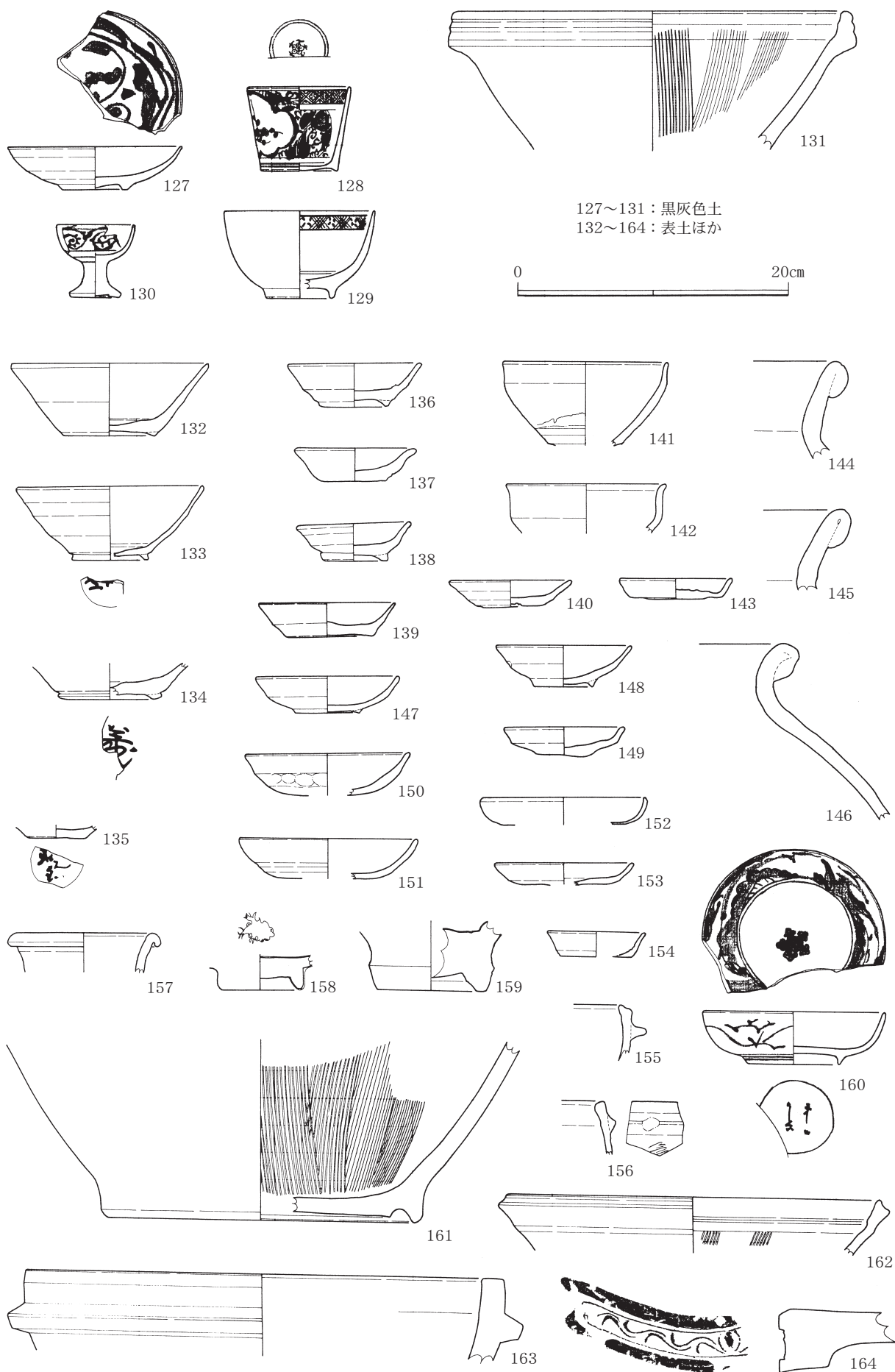


図49 那智山坊跡出土遺物 (5)



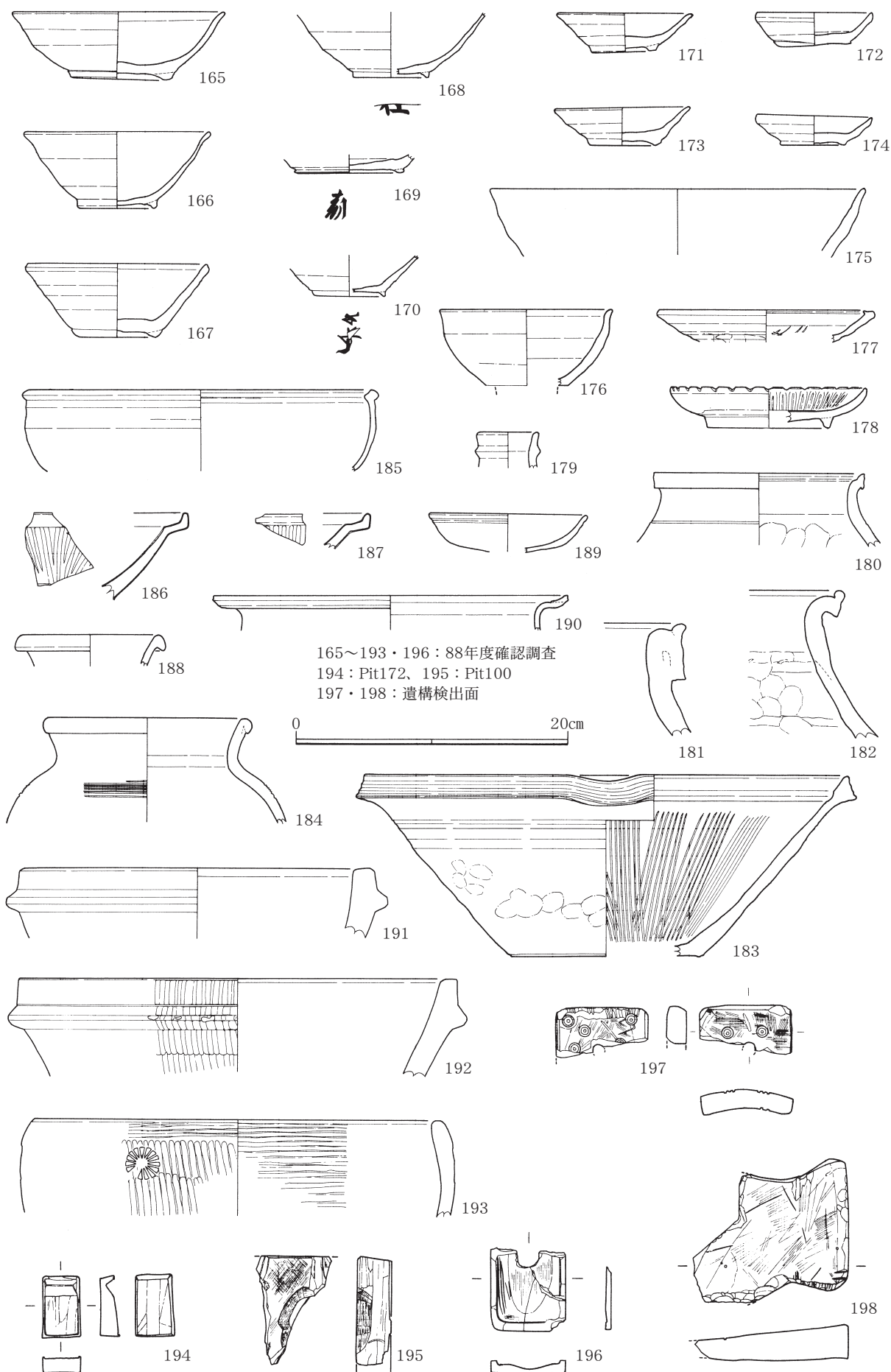


図50 那智山坊跡出土遺物（6）

# 宇田森遺跡出土遺物観察表（1）

| 遺物<br>番号 | 図  | 調査区<br>地区   | 遺構<br>層位     | 種類<br>器種    | 口径   | 高さ           | 底径   | 残存率         | 色 調                                        | 形態・技法                                    | 備 考                      |
|----------|----|-------------|--------------|-------------|------|--------------|------|-------------|--------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------|
| 1        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>直口壺 | 17.3 | 12.1<br>以上   | －    | 口縁部<br>25%  | 内7.5YR8/3浅黄橙(ほか)<br>外5YR6/6橙               | 口縁部部上方に面 口縁部3条の凹線 頸部<br>キザミ              | 中期 反転復元                  |
| 2        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>直口壺 | 16.0 | 6.6<br>以上    | －    | 口縁部<br>15%  | 内7.5YR7/3(ほか)(ハクリ)<br>外5YR6/6橙             | 口縁部部斜め外方に面 口縁部下突帯1条<br>突帯上下波状文・直線文       | 中期 反転復元                  |
| 3        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>広口壺 | 13.5 | 5.5<br>以上    | －    | 口縁部<br>85%  | 内7.5YR5/2灰褐 N4/灰<br>外7.5YR3/1黒褐 N4/灰       | 口縁部強く外反 端部外方に面 内外面ヘラミ<br>ガキ              | 中期 片岩・金雲母含む 反転復元         |
| 4        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>広口壺 | 10.4 | 4.8<br>以上    | －    | 口縁部<br>30%  | 内5YR7/6橙 N4/灰 外5YR7/6橙                     | 口縁部強く外反し端部下方に垂下 外端面・口<br>縁部内面に斜めキザミ      | 中期 反転復元                  |
| 5        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01         | 弥生土器<br>甕   | 24.8 | 3.5<br>以上    | －    | 口縁部<br>20%  | 内・外2.5YR6/6橙                               | 口縁部強く外傾 端部上方に揃み出す ヨコナ<br>デ               | 中期 片岩・クサリ礫含む 反転復元        |
| 6        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01         | 甕           | 40.0 | 6.0<br>以上    | －    | 口縁部<br>10%  | 内・外10YR6/4にぶい黄橙                            | 口縁部強く外反 端部外面キザミ                          | 中期 片岩多い 紀伊型 反転復元         |
| 7        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>甕   | 43.7 | 7.7<br>以上    | －    | 口縁部<br>15%  | 内・外10YR6/2灰黄褐                              | 口縁部強く外傾 端部上下に肥厚し外方に面                     | 中期 片岩多い 反転復元             |
| 8        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD01<br>上層   | 弥生土器<br>脚台  | 14.4 | 8.6<br>以上    | －    | 脚部<br>20%   | 内・外5YR6/6橙                                 | 裾端部内側にわずかに拡張・下方に面 外面<br>端部近くに段 ヘラミガキ     | 中期 反転復元                  |
| 9        | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD04         | 弥生土器<br>広口壺 | 15.2 | 7.0<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内・外2.5YR6/6橙                               | 口縁部強く外反し端部拡張 外端面波状文<br>口縁部内面扇形文 頸部突帯     | 中期 反転復元                  |
| 10       | 図5 | H3年度<br>5トレ | SD05         | 弥生土器<br>広口壺 | 13.4 | 15.2<br>以上   | －    | 口頸部<br>100% | 内・外7.5YR7/4にぶい橙                            | 口縁部横方向に開き、端部外方に面 頸部突<br>帯 体部波状文・直線文      | 中期 反転復元                  |
| 11       | 図5 | H3年度<br>1トレ | SD14         | 弥生土器<br>広口壺 | 19.6 | 7.0          | －    | 口縁部<br>25%  | 内・外5YR6/4にぶい橙                              | 口縁部強く外反し端部を上下に拡張 外端面・<br>口縁部内面・頸部にヘラ先キザミ | 中期 反転復元                  |
| 12       | 図5 | H3年度<br>1トレ | SD14         | 弥生土器<br>広口壺 | 19.2 | 7.8<br>以上    | －    | 口縁部<br>30%  | 内・外7.5YR7/4にぶい橙                            | 口縁部強く外反し端部を上下に拡張 外端面<br>キザミ？ 頸部直線文？      | 中期 反転復元                  |
| 13       | 図5 | H3年度<br>1トレ | SD14         | 弥生土器<br>甕   | 12.4 | 6.45<br>以上   | －    | 口縁部<br>30%  | 内7.5YR8/3浅黄橙<br>外7.5YR4/1褐灰                | 口縁部くの字に屈曲 端部わずかに上下に拡<br>張 体部外面ヘラケズリ      | 中期 反転復元                  |
| 14       | 図5 | H3年度<br>1トレ | SD14         | 弥生土器<br>甕   | 24.5 | 7.5<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内灰白～褐灰<br>外5YR6/4にぶい橙                      | 口縁部くの字に屈曲 端部わずかに上方に拡<br>張 外端面凹線          | 中期 反転復元                  |
| 15       | 図5 | H3年度<br>5トレ | SK03         | 弥生土器<br>広口壺 | 16.4 | 10.5<br>以上   | －    | 口頸部<br>50%  | 内7.5YR7/4にぶい橙<br>外5YR6/6橙                  | 頸部長い 口縁部強く外傾し端部肥厚 外端<br>面に凹線             | 中期 長石・片岩含む 反転復元          |
| 16       | 図5 | H3年度<br>5トレ | SK04         | 弥生土器<br>壺   | －    | －            | －    | －           | 内7.5YR4/2灰褐<br>外7.5YR3/1黒褐                 | 丁寧なヘラミガキのち斜格子文・直線文・波状<br>文               | 中期 長石・片岩・金雲母含む 反<br>転復元  |
| 17       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02         | 弥生土器<br>広口壺 | 19.8 | 4.6<br>以上    | －    | 口縁部<br>30%  | 内5YR6/6橙 外2.5YR5/6明赤褐                      | 口縁部強く外傾 端部垂下・外方に面                        | 後期 反転復元                  |
| 18       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>広口壺 | 17.5 | 6.8<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内2.5YR5/6明赤褐 N4/灰<br>外2.5YR5/6明赤褐          | 口縁部強く外反 器壁薄い                             | 後期 片岩・クサリ礫含む 反転復元        |
| 19       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>中・下層 | 弥生土器<br>長頸壺 | 6.4  | 12.2<br>以上   | －    | 口頸部<br>80%  | 内・外2.5YR6/6橙                               | 口頸部円筒状 外面ヘラミガキ                           | 後期 反転復元                  |
| 20       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>中層   | 弥生土器<br>甕   | 16.0 | 13.8<br>以上   | －    | 口縁部<br>70%  | 内・外5YR6/6橙                                 | 口縁部強く外反 端部丸い 体部外面平行タ<br>タキ               | 後期 反転復元                  |
| 21       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>甕   | 26.6 | 3.9<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内5YR6/4にぶい橙<br>外5YR6/4にぶい橙N3/暗灰            | 口縁部くの字に屈曲 外端面にキザミ 体部外<br>面平行タタキ          | 後期 反転復元                  |
| 22       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>中・下層 | 弥生土器<br>甕   | 18.0 | 11.8<br>以上   | －    | 口縁部<br>20%  | 内5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR6/4にぶい橙               | 口縁部くの字に屈曲 端部外方に面 体部外<br>面平行タタキ 肩部2種のキザミ  | 後期 反転復元                  |
| 23       | 図5 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>中層   | 弥生土器<br>甕   | 20.6 | 10.7<br>以上   | －    | 口縁部<br>80%  | 内2.5YR6/6橙2.5YR5/3にぶい赤<br>褐 外2.5YR6/6橙     | 口縁部くの字に屈曲 端部斜め上方に面・キザ<br>ミ 体部外面平行タタキ     | 後期 長石・片岩含む 反転復元          |
| 24       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>甕   | －    | 17以上         | 5.2  | 底部<br>100%  | 内7.5YR6/4にぶい橙(ほか)<br>外2.5YR5/6明赤褐(ほか)      | 底部中央凹む 体部外面平行タタキ・内面ハ<br>ケ                | 後期 片岩・金雲母含む 反転復元         |
| 25       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>高坏  | 12.6 | 4.6<br>以上    | －    | 口縁部         | 内・外2.5YR5/6明赤褐                             | 碗形 口縁部外面凹線2条                             | 反転復元                     |
| 26       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>中層   | 弥生土器<br>高坏  | 21.8 | 7.5<br>以上    | －    | 口縁部<br>75%  | 内・外2.5YR5/6明赤褐                             | 碗形 内外面ヘラミガキ                              | 片岩・金雲母含む 反転復元            |
| 27       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>高坏  | －    | 7.3<br>以上    | 9.6  | 脚部<br>100%  | 内・外5YR5/6明赤褐                               | ラッパ状に開く 円孔3方向 外面ヘラミガキ                    | 後期 反転復元                  |
| 28       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>鉢   | 9.2  | 8.4          | 3.5  | 口縁部<br>75%  | 内2.5YR6/6橙(ほか) 外2.5YR6/4<br>にぶい橙(ほか)(二次焼成) | 体部・口縁部直線的に開く 底部中央やや凹<br>む 体部外面平行タタキ・内面ハケ | 後期                       |
| 29       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>鉢   | 12.6 | 8.35         | 4.8  | 60%         | 内2.5YR5/6明赤褐<br>外7.5YR6/4にぶい橙              | 体部から口縁部直線的に開く 底部中央凹む                     | 後期 長石・片岩中量 反転復元          |
| 30       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>上層   | 弥生土器<br>鉢   | 14.8 | 10.7         | 4.2  | 60%         | 内5YR5/4にぶい赤褐<br>外5YR5/6明赤褐                 | 口縁部屈曲 底部中央凹む 体部半円状・外<br>面平行タタキ           | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む 反<br>転復元 |
| 31       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SD02<br>下層   | 弥生土器<br>壺   | －    | 3.0<br>以上    | 2.3  | 底体部<br>100% | 内・外7.5YR6/4にぶい橙                            | ミニチュア                                    | 後期                       |
| 32       | 図6 | H3年度<br>4トレ | SD15         | 弥生土器<br>鉢   | 17.7 | 12           | 5.0  | 90%         | 内5YR6/6橙 外5YR6/4にぶい橙<br>N2/黒(黒斑)           | 口縁部くの字に屈曲 体部半円状・外面平行<br>タタキ              | 後期 二次焼成・スス(甕?)           |
| 33       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18<br>黒砂   | 弥生土器<br>広口壺 | 30.2 | 5.8<br>以上    | －    | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR4/2灰褐               | 口縁部横方向に開き端部上下に拡張 外端<br>面・口縁部上面波状文        | 中期 混入 反転復元               |
| 34       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18<br>黒砂   | 弥生土器<br>高坏  | 9.4  | 5.6<br>以上    | －    | 脚部<br>40%   | 内N3/暗灰<br>外7.5YR5/3にぶい褐                    | 裾部強く開く 円孔4方向？ 外面ヘラミガキ                    | 後期 反転復元                  |
| 35       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18         | 弥生土器<br>高坏  | －    | 6.3<br>以上    | 11.0 | 脚部<br>40%   | 内・外2.5YR5/6明赤褐                             | 脚部ハの字に開く 端部外方に面                          | 後期 反転復元                  |
| 36       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18         | 弥生土器<br>高坏  | 15.0 | 8.1<br>以上    | －    | 45%         | 内2.5YR5/6明赤褐 外2.5YR5/6<br>明赤褐 7.5YR6/4にぶい橙 | 口縁部屈曲して開く 脚部円孔・数不明                       | 後期 片岩・クサリ礫多い 反転復<br>元    |
| 37       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18         | 土製品<br>紡錘車  | 長4.1 | 幅3.9<br>厚0.3 | 100% |             | 内7.5YR7/4にぶい橙<br>外7.5YR5/1褐灰(ほか)           | 土器転用品 中央に円穴(0.6×0.5)                     |                          |
| 38       | 図6 | H3年度<br>5トレ | SD18<br>黒砂   | 弥生土器<br>鉢   | －    | 8.3<br>以上    | 5.0  | 80%         | 内・外2.5YR6/8橙                               | 口縁部屈曲 底端部外方に拡張 体部外面平<br>行タタキ             | 後期 長石・クサリ礫多い 歪む          |
| 39       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01         | 弥生土器<br>広口壺 | 11.9 | 5.4<br>以上    | －    | 口縁部<br>50%  | 内・外7.5YR6/4にぶい橙 N3/暗<br>灰                  | 口縁部外反 端部は丸い 体部外面ハケ                       | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む 反<br>転復元 |
| 40       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01<br>上層   | 弥生土器<br>広口壺 | 18.8 | 9.1<br>以上    | －    | 口縁部<br>20%  | 内・外5YR5/6明赤褐                               | 頸部長く口縁部強く外反 端部下方に拡張外<br>端面キザミ 内外面ヘラミガキ   | 後期 片岩・クサリ礫 反転復元          |
| 41       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01<br>下層   | 弥生土器<br>広口壺 | 17.4 | 6.1<br>以上    | －    | 口縁部<br>15%  | 内・外5YR5/6明赤褐                               | 口縁部外反 端部を下方に拡張 外端面凹線<br>3条・2個一単位円形浮文     | 後期 片岩・長石 反転復元            |
| 42       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01         | 弥生土器<br>広口壺 | 22.8 | 2.4<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内・外5YR5/6明赤褐                               | 口縁部部拡張 外端面円形浮文 内外面ヘ<br>ラミガキ              | 後期 クサリ礫 反転復元             |
| 43       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01<br>中層   | 弥生土器<br>広口壺 | 21.4 | 4.7<br>以上    | －    | 口縁部<br>15%  | 内・外5YR6/6橙                                 | 口縁部外反 端部を下方に拡張 外端面凹<br>線・円形浮文 外面ヘラミガキ    | 後期 片岩・クサリ礫 反転復元          |
| 44       | 図6 | H3年度<br>2トレ | SX01         | 弥生土器<br>広口壺 | 19.8 | 4.8<br>以上    | －    | 口縁部<br>25%  | 内・外5YR5/6明赤褐                               | 口縁部外反 端部下方に拡張 外端面凹線3<br>条・円形浮文 内外面ヘラミガキ  | 後期 片岩 反転復元               |

# 宇田森遺跡出土土遺物観察表（2）

| 遺物<br>番号 | 図  | 調査区<br>地区     | 遺構<br>層位       | 種類<br>器種      | 口径         | 高さ         | 底径          | 残存率         | 色 調                              | 形態・技法                                              | 備 考                   |
|----------|----|---------------|----------------|---------------|------------|------------|-------------|-------------|----------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------|
| 45       | 図6 | H3年度<br>2トレ   | SX01           | 弥生土器<br>広口壺   | 18.0       | 34.8       | 5.3         | 50%         | 内・外2.5YR5/6明赤褐                   | 口縁端部斜め下方に拡張 体部外面ヘラミガキ                              | 後期 片岩多い               |
| 46       | 図6 | H3年度<br>2トレ   | SX01           | 弥生土器<br>二重口縁壺 | 22.4       | 8.9<br>以上  | －           | 口頸部<br>35%  | 内5YR6/4にぶい 橙 外5YR6/6橙            | 口縁部途中で屈曲し強く外反 端部は外方に面 ヘラミガキ                        | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む 反転復元  |
| 47       | 図6 | H3年度<br>2トレ   | SX01<br>下層     | 弥生土器<br>甕     | －          | 7.8<br>以上  | 5.3         | 底部<br>50%   | 内N3/暗灰 外5YR5/6明赤褐                | 底部中央凹む 体部外面平行タタキ・内面ハケ状工具ナデ                         | 後期 片岩・長石 反転復元         |
| 48       | 図7 | H3年度<br>1・4トレ |                | 弥生土器<br>広口壺   | 19.4       | 6.4<br>以上  | －           | 口縁部<br>40%  | 内・外5YR6/4にぶい 橙                   | 口縁部強く外反 端部上方へ拡張 外端面凹線                              | 中期 長石・片岩・クサリ礫多い 反転復元  |
| 49       | 図7 | H3年度<br>1・4トレ |                | 弥生土器<br>甕     | 14.4       | 6.7<br>以上  | －           | 口縁部<br>15%  | 内・外7.5YR7/3にぶい 橙                 | 口縁部強く屈曲 口縁端部上方へ大きく拡張 外端面凹線 体部外面平行タタキ・内面コビオサエ・ヘラケズリ | 後期 反転復元               |
| 50       | 図7 | H3年度<br>1・4トレ |                | 弥生土器<br>高坏    | －          | 7.6<br>以上  | 7.2         | 脚部<br>50%   | 内・外5YR7/4にぶい 橙                   | 裾端部斜め下方に面 内側で接する 外面凹線2条 内面ヘラケズリ                    | 中期 反転復元               |
| 51       | 図7 | H3年度<br>2トレ   | SK02           | 弥生土器<br>壺     | －          | 2.3<br>以上  | 8.6         | 底部<br>95%   | 内10YR6/2灰黄褐 外5YR6/4にぶい 橙         | 外底部十字の線刻                                           | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む       |
| 52       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | 黒砂             | 弥生土器<br>鉢     | 12.4       | 7.5        | 3.2         | 口縁部<br>85%  | 内・外2.5YR5/6明赤褐                   | 碗形 底部小さい 内面ハケ                                      | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む       |
| 53       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | 黒砂             | 弥生土器<br>鉢     | 12.1       | 8.1        | 4.3         | 98%         | 内2.5YR6/6橙 2.5YR4/1赤灰 外2.5YR6/6橙 | 碗形 底端部外方へ拡張 底部中央凹む 体部外面平行タタキ                       | 後期 長石・片岩・クサリ礫含む       |
| 54       | 図7 | H3年度<br>4トレ   |                | 弥生土器<br>鉢     | 3.8        | 3.0        | 2.6         | 90%         | 内・外2.5YR5/6明赤褐                   | ミニチュア                                              | 後期 クサリ礫含む             |
| 55       | 図7 | H3年度<br>2トレ   |                | 備前<br>擂鉢      | 24.5       | 11.6       | 12.6        | 30%         | 内2.5YR6/3にぶい 橙 外2.5YR6/6橙        | 片口 口縁端部上下に拡張 斜め上方に面 掘り目7本/2.2cm                    | 乗岡編年中世4期a 15世紀前半 反転復元 |
| 56       | 図7 | H3年度<br>2・4トレ |                | 土師器<br>皿      | 10.6       | 2.9        | －           | 80%         | 内10YR6/6橙 外7.5YR6/4にぶい 橙         | 底部丸い 体部外面コビオサエ                                     | 長石・片岩・クサリ礫多い          |
| 57       | 図7 | H3年度<br>4トレ   |                | 軒平瓦           | 幅16.5      | 高3.9       | －           | 瓦当<br>100%  | N6/～N4/灰                         | 郭線内に珠文8個                                           | 長石・クサリ礫含む             |
| 58       | 図7 | H3年度<br>4トレ   | SD15<br>上層     | 柱状片刃<br>石斧    | 長16.3      | 幅4.4       | 厚2.5        | 98%         |                                  | 側面に柄装着痕                                            | 緑泥片岩                  |
| 59       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SD01<br>上層     | 石包丁           | 長5.3<br>以上 | 幅5.1<br>以上 | 厚1.0        | 約30%        |                                  | 敲打痕あり                                              | 緑泥片岩                  |
| 60       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SD18           | 石包丁           | 長4.3<br>以上 | 幅3.5<br>以上 | 厚0.65<br>以上 | 約30%        |                                  |                                                    | 緑泥片岩                  |
| 61       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SD01<br>上層     | 石鏃            | 長4.1<br>以上 | 幅1.45      | 厚0.35       | 約85%        |                                  | 凸基無茎式 基部破損                                         | サヌカイト                 |
| 62       | 図7 | H3年度<br>5トレ   |                | 石鏃            | 長3.6       | 幅1.2       | 厚0.65       | 100%        |                                  | 凸基無茎式                                              | サヌカイト                 |
| 63       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SK06？<br>SD07？ | 石鏃            | 長3.15      | 幅1.8       | 厚0.6        | 95%         |                                  | 凸基有茎式 基部付近破損                                       | サヌカイト                 |
| 64       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SD01？<br>SB01？ | 石鏃            | 長3.35      | 幅2.35      | 厚0.5        | 95%         |                                  | 凸基有茎式 基部付近破損                                       | サヌカイト                 |
| 65       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SX02           | 石鏃            | 長2.65      | 幅1.95      | 厚0.5        | 95%         |                                  | 凸基有茎式 先端破損                                         | サヌカイト                 |
| 66       | 図7 | H3年度<br>2トレ   | SX01<br>上層     | 石鏃            | 長2.1       | 幅1.6       | 厚0.6        | 100%        |                                  | 凸基有茎式                                              | サヌカイト                 |
| 67       | 図7 | H3年度<br>2トレ   |                | 石鏃            | 長1.9       | 幅1.5       | 厚0.3        | 100%        |                                  | 凸基有茎式                                              | サヌカイト                 |
| 68       | 図7 | H3年度<br>5トレ   | SD18           | 碧玉製管玉         | 長0.79      | 径0.27      | 孔径<br>0.11  | 100%        | 5G4/1暗緑灰                         |                                                    | 碧玉                    |
| 69       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | P22            | 弥生土器<br>壺     | －          | －          | －           | －           | 内7.5YR4/1褐灰 外(10YR6/3)にぶい 黄橙     | 斜格子文3段間に直線文 斜格子文の単位は3本                             | 中期 長石・チャート・金雲母含む 搬入品か |
| 70       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | P22            | 弥生土器<br>甕     | 20         | 17.6<br>以上 | －           | 20%         | 内N4/灰 外7.5YR8/6浅黄橙               | 口縁部強く外反 端部外方に面 体部外面ナデ・ハケ                           | 中期 反転復元               |
| 71       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | P22            | 弥生土器<br>脚台部   | －          | 6.0<br>以上  | 14.0        | 台部<br>20%   | 内・外5YR6/6橙                       | 裾端部斜め下方に面 内側で接する                                   | 中期 長石・片岩多く含む 反転復元     |
| 72       | 図7 | H12年度<br>Yトレ  | SK05           | 弥生土器<br>高坏    | －          | 13.8<br>以上 | 11.5        | 脚部<br>85%   | 内7.5YR8/4浅黄橙 外5YR7/6橙            | 脚柱部円筒状 裾部緩やかに外反 端部上方へ拡張 外方に面                       | 中期 反転復元               |
| 73       | 図7 | H12年度<br>Yトレ  | SK08           | 弥生土器<br>直口壺   | 21.4       | 8.0<br>以上  | －           | 口縁部<br>15%  | 内・外10YR7/2にぶい 黄橙 N3/暗灰           | 口縁部やや肥厚 端部上方に面                                     | 中期 長石・片岩多く含む 反転復元     |
| 74       | 図7 | H12年度<br>Yトレ  | SK08           | 弥生土器<br>甕     | 32.4       | 5.2<br>以上  | －           | 口縁部<br>20%  | 内・外7.5YR6/3にぶい 褐                 | 口縁部強く外反                                            | 紀伊型甕？ 中期 長石・片岩非常に多い   |
| 75       | 図7 | H12年度<br>Yトレ  | SK08           | 弥生土器<br>壺     | －          | 8.0<br>以上  | 8.6         | 底部<br>100%  | 内・外にぶい 橙10YR6/4                  |                                                    | 中期 長石・片岩非常に多い 一部反転復元  |
| 76       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | SK10           | 弥生土器<br>高坏    | －          | 7.6<br>以上  | －           | －           | 内N4/灰 外5YR7/6橙                   | 脚柱部円筒状                                             | 台付壺の可能性も 中期 反転復元      |
| 77       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | SK11           | 弥生土器<br>高坏    | －          | 8.3<br>以上  | 7.5         | 脚部<br>100%  | 内・外7.5YR7/4にぶい 橙                 | 脚柱部一部中実 外面ヘラミガキ                                    | 中期 反転復元               |
| 78       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | SK12           | 弥生土器<br>広口壺   | 11.7       | 8.0<br>以上  | －           | 口縁部<br>80%  | 内5Y4/1灰 外7.5YR7/4にぶい 橙           | 頸部細く長い 口縁部外反し端部下方に拡張 外端面凹線4条 口縁内面櫛目 頸部波状文・直線文      | 中期 長石・片岩中量含む 反転復元     |
| 79       | 図7 | H12年度<br>Xトレ  | SK12           | 土製品<br>紡錘車    | 2.5        | 2.4        | 厚0.4        | 100%        | 内・外7.5YR6/3にぶい 褐                 | 土器転用品 中央に円穴(0.5×0.3)                               | 中期                    |
| 80       | 図8 | H12年度<br>Yトレ  | SD01           | 弥生土器<br>甕     | 22.0       | 2.5<br>以上  | －           | 口縁部<br>10%  | 内・外7.5YR7/4にぶい 橙                 | 口縁部内湾気味斜め上方に伸びる 端部上方へわずかに拡張                        | 後期末 反転復元              |
| 81       | 図8 | H12年度<br>Yトレ  | SD01           | 弥生土器<br>高坏    | －          | 6.1<br>以上  | －           | 脚柱部<br>100% | 内・外2.5YR6/8橙                     | 円孔4方向                                              | 後期末 反転復元              |
| 82       | 図8 | H12年度<br>Xトレ  | SD02           | 弥生土器<br>高坏    | －          | 4.5<br>以上  | －           | 脚柱部<br>100% | 内・外5YR5/6橙                       | 円孔4方向                                              | 後期末 反転復元              |
| 83       | 図8 | H12年度<br>Yトレ  | SK07           | 弥生土器<br>高坏    | 20.0       | 7.3<br>以上  | －           | 口縁部<br>40%  | 内5YR6/6橙 外5YR5/8明赤褐              | 口縁部くの字に屈曲し長い                                       | 後期末 反転復元              |
| 84       | 図8 | H12年度<br>Xトレ  | SX02           | 備前<br>甕       | 32.6       | 7.3<br>以上  | －           | 口縁部<br>30%  | 内10R4/1暗赤灰 外10R4/2灰赤             | 口縁部やや内傾 端部玉縁状                                      | 15世紀 反転復元             |
| 85       | 図8 | H12年度<br>Xトレ  | SX02<br>上層     | 備前<br>擂鉢      | 28.7       | 11         | 14.4        | 40%         | 10R5/3赤褐                         | 片口 口縁端部上下に拡張 斜め上方に面 掘り目9本/1.7cm                    | 乗岡編年中世5期a 15世紀後半 反転復元 |
| 86       | 図8 | H12年度<br>Xトレ  | SX02           | 常滑？<br>甕      | 38.0       | 12.1<br>以上 | －           | 口縁部<br>20%  | 内2.5YR4/3にぶい 赤褐 外7.5Y5/3灰オリブの釉   | 口縁部強く屈曲し短く外傾 端部尖り気味                                | 反転復元                  |
| 87       | 図8 | H12年度<br>Xトレ  | SX02<br>上層     | 土師器<br>皿      | 11.3       | 2.15       | －           | 80%         | 内・外10YR8/3浅黄橙                    | 底部ほぼ平坦 コビオサエ                                       |                       |

# 宇田森遺跡出土遺物観察表（3）

| 遺物番号 | 図  | 調査区<br>地区    | 遺構<br>層位         | 種類<br>器種     | 口径            | 高さ         | 底径         | 残存率        | 色 調                           | 形態・技法                                        | 備 考                   |
|------|----|--------------|------------------|--------------|---------------|------------|------------|------------|-------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------|
| 88   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SX02<br>上層       | 土師器<br>皿     | 11.3          | 1.9        | －          | 85%        | 内10YR8/3浅黄橙<br>外10YR8/2灰白     | 底部ほぼ平坦 ユビオサエ                                 |                       |
| 89   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SX02             | 土師器<br>羽釜    | 19.0          | 2.8<br>以上  | －          | 口縁部<br>20% | 内・外7.5YR6/4にぶい橙               | 口縁端部内方へ拡張・直下に断面三角形の罫<br>内面ハケ                 | 反転復元                  |
| 90   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SX02             | 瓦質土器<br>描鉢   | 31.0          | 4.3<br>以上  | －          | 口縁部<br>10% | 内・外5YR7/4にぶい橙                 | 口縁端部肥厚 斜め上方に面 掘り目9本/1.4<br>cm 外面ハケ・ヘラケズリ     | 反転復元                  |
| 91   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SK01             | 土師器<br>皿     | 11.9          | 2.0        | －          | 100%       | 内・外10YR8/3浅黄橙                 | 底部ほぼ平坦 板目圧痕                                  |                       |
| 92   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SK01             | 土師器<br>皿     | 10.8～<br>11.2 | 1.75       | －          | 95%        | 内・外10YR8/2灰白                  | 底部ほぼ平坦 板目圧痕                                  |                       |
| 93   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SK01             | 土師器<br>皿     | 10.2          | 2.2        | －          | 100%       | 内・外2.5Y8/2灰白～10YR7/4に<br>ぶい黄橙 | 底部ほぼ平坦 ユビオサエ 板目圧痕                            |                       |
| 94   | 図8 | H12年度<br>Xトレ | SK01             | 土師器<br>皿     | 11.0～<br>11.6 | 2.2        | －          | 95%        | 内・外10YR8/2灰白                  | 底部ほぼ平坦 ユビオサエ 板目圧痕                            |                       |
| 95   | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>皿     | 9.8～<br>10.1  | 2.1        | －          | 90%        | 内・外10YR8/3浅黄橙                 | 底部ほぼ平坦 ユビオサエ・ナデ                              |                       |
| 96   | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>小皿    | 7.2           | 1.4        | 3.3        | 90%        | 内7.5YR7/6橙 外10YR8/4浅黄橙        | 器壁薄い 柿釉 外底部露胎 回転系切                           |                       |
| 97   | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>小皿    | 8.6           | 1.3        | 4.7        | 100%       | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                | 器壁薄い 柿釉 外底部露胎 回転系切                           |                       |
| 98   | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>小皿    | 8.8           | 1.6        | 5.0        | 90%        | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                | 器壁薄い 柿釉 外底部露胎 回転系切                           |                       |
| 99   | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>小皿    | 7.1           | 1.3        | 3.0        | 90%        | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                | 器壁薄い 柿釉 外底部露胎 回転系切                           |                       |
| 100  | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SK02             | 土師器<br>皿     | 8.4           | 1.3        | 4.8        | 70%        | 内・外10YR8/3浅黄橙                 | 器壁薄い 底部回転系切                                  |                       |
| 101  | 図8 | H12年度<br>Yトレ | SX03<br>盛土<br>中層 | 唐津<br>皿      | 11.2          | 3.5        | 4.1        | 85%        | 釉5Y6/2灰 露胎2.5Y6/2灰黄           | 口縁部屈曲して内湾気味に外傾 高台・見込<br>み部砂目                 |                       |
| 102  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 弥生土器<br>広口壺  | 25.0          | 5.0<br>以上  | －          | 口縁部<br>20% | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                | 口縁部強く外反 端部長く垂下 外端面凹線<br>縦キザミ・単位不明 口縁上面櫛羽状の刺突 | 中期 反転復元               |
| 103  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 弥生土器<br>鉢    | 34.0          | 6.0<br>以上  | －          | 口縁部<br>10% | 内・外5YR7/4にぶい橙                 | 口縁端部粘土帯 外端面凹線3条 口縁部体<br>部境に凹線5条以上            | 中期 反転復元               |
| 104  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 弥生土器<br>鉢    | 44.0          | 6.9<br>以上  | －          | 口縁部<br>10% | 内・外7.5YR7/4にぶい橙               | 口縁端部粘土帯 外端面凹線2条 端部直下<br>簾状文・斜格子文             | 中期 長石・クサリ礫多い 反転復<br>元 |
| 105  | 図8 | H12年度<br>Yトレ |                  | 弥生土器<br>甕    | 14.8          | 8.0<br>以上  | －          | 口縁部<br>25% | 内・外N3/暗灰                      | 口縁部短く外反 端部わずかに肥厚し外方に<br>面 体部外面ハケ             | 中期 反転復元               |
| 106  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 土製品<br>紡錘車   | 長4.1          | 幅3.9       | 厚0.6       | 100%       | 内・外5YR6/6橙                    | 土器転用品 中央に円穴(0.5×0.5)                         |                       |
| 107  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 弥生土器<br>甕    | 12.0          | 17.3<br>以上 | －          | 30%        | 内・外5YR7/6橙                    | 口縁部直立気味 端部は丸い                                | 後期 反転復元               |
| 108  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 土師器<br>小型丸底壺 | 13.0          | 6.6<br>以上  | －          | 40%        | 内・外5YR5/6明赤褐                  | 体部半球形で小さい 口縁部は長く伸び端部<br>は尖り気味                | 古墳時代前期 反転復元           |
| 109  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 土師器<br>鉢     | 11.4          | 7.3        | －          | 95%        | 内10YR7/3にぶい橙<br>外10YR6/3にぶい黄橙 | 体部半球形 底部丸い 体部・口縁部の境不<br>明瞭                   | 古墳時代前期                |
| 110  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 土師器<br>鉢     | 11.0          | 6.9        | －          | 60%        | 内7.5YR6/6橙 外5YR6/8橙           | 体部半球形 底部丸い 口縁部は屈曲して内<br>湾気味に外傾               | 古墳時代前期                |
| 111  | 図8 | H12年度<br>Xトレ |                  | 柱状片刃<br>石斧   | 9.8<br>以上     | 3.4        | 1.7<br>以上  | 約30%       |                               |                                              |                       |
| 112  | 図8 |              |                  | 石包丁          | 長7.6<br>以上    | 幅5.1       | 厚さ<br>0.55 | 約40%       |                               |                                              | 緑泥片岩                  |
| 113  | 図8 |              |                  | 石斧           | 長4.4<br>以上    | 幅2.3<br>以上 | 0.8        | 約60%       |                               |                                              | 粘板岩                   |

# 秋月遺物出土遺物観察表（1）

| 遺物番号 | 図   | 調査区<br>地区 | 遺構<br>層位   | 種類<br>器種     | 口径          | 高さ         | 底径          | 残存率        | 色 調                               | 形態・技法                                  | 備 考                                  |
|------|-----|-----------|------------|--------------|-------------|------------|-------------|------------|-----------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|
| 1    | 図14 | 07-X19    | 1堀         | 瀬戸・美濃<br>天目碗 | 11.0        | 5.2<br>以上  | －           | 口縁部<br>15% | 胎土2.5Y8/1灰白 釉2.5Y2/1黒             | 口縁部わずかに外反 底部付近露胎                       | 鉄釉 16世紀 反転復元                         |
| 2    | 図14 | 07-X19    | 1堀         | 唐津<br>鉢      | －           | 3.3<br>以上  | 14.2        | 底部<br>10%  | 2.5YR5/4にぶい赤褐                     | 底部付近露胎 見込み部白泥により直線文・波<br>状文            | 17世紀 反転復元                            |
| 3    | 図14 | 06-B20    | 1堀<br>中層2  | 備前<br>描鉢     | －           | 4.3<br>以上  | －           | －          | 内・外2.5YR5/3にぶい赤褐                  | 口縁端部わずかに上下に拡張                          | 櫛目8本/2.1cm 乗岡中世Ⅲb期<br>(14世紀後半)       |
| 4    | 図14 | 07-X19    | 1堀         | 備前<br>描鉢     | 29.0        | 5.7<br>以上  | －           | 口縁部<br>10% | 内・外5YR4/2灰褐 口縁外面の<br>み7.5YR1.7/1黒 | 口縁部外面に2条の凹線 口縁部内面浅く凹<br>む              | 櫛目11本/2.7cm 乗岡近世Ⅱa期<br>(17世紀前葉) 反転復元 |
| 5    | 図14 | 07-W19    | 1堀         | 土師質<br>焼塩壺   | 8.8         | 4.95       | 6.4         | 50%        | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                    | 高台 体部から口縁部ほぼ直立 口縁端部上<br>方に面 底部中央に焼成前円穴 | 17世紀か 反転復元                           |
| 6    | 図14 | 06-B12    | 3落込み<br>下層 | 土師器<br>小皿    | 11.6        | 3.2        | 5.6         | 100%       | 内・外N6/灰                           | 平底 体部下方ユビオサエ・上方ヨコナデ 内<br>面ナデ           | 室町時代                                 |
| 7    | 図14 | 06-B14.15 | 102溝       | 土師器<br>小皿    | 6.2         | 1.5        | 5           | 90%        | 内・外7.5YR6/4にぶい橙                   | 手捏ね成形 平底                               | 歪が大きい 室町時代                           |
| 8    | 図14 | 06-B14.15 | 102溝       | 土師器<br>小皿    | 6.1～<br>6.5 | 1～1.5      | 4.5～<br>4.8 | 100%       | 内7.5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR7/4にぶい橙    | 手捏ね成形 平底                               | 歪が大きい 室町時代                           |
| 9    | 図14 | 06-B14.15 | 102溝       | 土師器<br>甕     | 23.2        | 6.85<br>以上 | －           | 口縁部<br>30% | 内7.5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR6/6橙       | 口縁部くの字に屈曲 体部外面細かいハケ・内<br>面丁寧なユビオサエ     | 反転復元                                 |
| 10   | 図14 | 06-C15    | 102溝<br>上層 | 瓦<br>軒丸      | －           | －          | －           | 瓦当部<br>40% | N4/～N5/灰                          | 周縁は高い 左巴の尾は長く繋がる                       | 瓦当に離れ砂多量に付着 室町時<br>代                 |
| 11   | 図14 | 06-C17    | 103溝       | 土師器<br>皿     | 14.2        | 3.6        | 7.9         | 50%        | 内・外10YR8/4浅黄橙                     | 回転系切の平底                                | 歪あり 鎌倉時代                             |
| 12   | 図14 | 06-C17    | 103溝       | 土師器<br>小皿    | 8.2         | 1.45       | 5.7         | 80%        | 内・外10YR7/4にぶい黄橙                   | 回転系切の平底                                | 鎌倉時代                                 |
| 13   | 図14 | 06-B17    | 103溝       | 土師器<br>小皿    | 8.4         | 1.45       | 6.0         | 90%        | 内・外10YR8/4浅黄橙                     | 回転系切の平底                                | 鎌倉時代                                 |
| 14   | 図14 | 06-C17    | 103溝       | 土師器<br>小皿    | 8.6         | 1.4        | 5.9         | 95%        | 内・外10YR7/6橙                       | 回転系切の平底                                | 鎌倉時代                                 |
| 15   | 図14 | 06-C17    | 103溝       | 土師器<br>甕     | 35.0        | 7.7<br>以上  | －           | 口縁部<br>10% | 内10YR7/3にぶい黄橙<br>外10YR6/3にぶい黄橙    | 口縁部くの字に屈曲・厚い 外面ユビオサエ・<br>ナデ            | 反転復元 古代の遺物か？                         |



## 秋月遺物出土遺物観察表（2）

| 遺物<br>番号 | 図   | 調査区<br>地区     | 遺構<br>層位     | 種類<br>器種  | 口径          | 高さ           | 底径<br>(高台<br>径) | 残存率        | 色調                                | 形態・技法                                                   | 備 考              |
|----------|-----|---------------|--------------|-----------|-------------|--------------|-----------------|------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------|
| 16       | 図14 | 06-C17        | 103溝         | 土製品<br>土鉢 | 長7.7        | 径3.4         | 孔径<br>1.4       | 100%       | 2.5Y5/1黄灰 N3/灰ほか                  | 棒状のものに粘土を巻いて成形                                          |                  |
| 17       | 図14 | 06-C17        | 103溝         | 石製品<br>砥石 | 長7.0<br>以上  | 幅8.8         | 厚4.9            | -          |                                   | 図の上面と左右側面を使用                                            | 砂岩製              |
| 18       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 6.1～<br>6.5 | 1.45         | 5.5             | 100%       | 内・外10YR7/4にぶい橙                    | 手捏ね成形 平底                                                | 室町時代             |
| 19       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 5.8～<br>6.3 | 1.0～<br>1.3  | 4.5             | 100%       | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 手捏ね成形 平底                                                | 歪が大きい 室町時代       |
| 20       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 6.2～<br>6.7 | 1.3～<br>1.8  | 5.1             | 90%        | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 手捏ね成形 平底                                                | 歪が大きい 室町時代       |
| 21       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 6.5         | 1.1～<br>1.55 | 7.0             | 95%        | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 手捏ね成形 平底                                                | 室町時代             |
| 22       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 6.3         | 1.4          | 6.0             | 100%       | 内・外5YR7/6橙                        | 手捏ね成形 平底                                                | 歪が大きい 室町時代       |
| 23       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>小皿 | 6.1～<br>6.8 | 1.1～<br>1.5  | 5.4             | 100%       | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 手捏ね成形 平底                                                | 歪が大きい 室町時代       |
| 24       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>皿  | 10.7        | 3.15         | 5.55            | 100%       | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 平底 体部下方ユビオサエ                                            | 室町時代             |
| 25       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>皿  | 11.6        | 3.15         | 7.1             | 100%       | 内・外5YR7/6橙                        | 平底 体部下方ユビオサエ                                            | 室町時代             |
| 26       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>皿  | 11.2        | 3.1～<br>3.65 | 6.4             | 95%        | 内・外5YR7/6橙                        | 平底 体部下方ユビオサエ                                            | 室町時代             |
| 27       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>皿  | 11.0        | 3.3          | 4.3             | 95%        | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 平底 体部下方ユビオサエ                                            | 室町時代             |
| 28       | 図14 | 06-C14        | 110土坑<br>下層  | 土師器<br>皿  | 11.2        | 3.1          | 5.6             | 100%       | 内・外5YR7/6橙                        | 平底 体部下方ユビオサエ                                            | 室町時代             |
| 29       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111井戸        | 土師器<br>小皿 | 8.8         | 1.5          | 6.9             | 100%       | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 回転糸切の平底                                                 | 平安時代             |
| 30       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111井戸        | 土師器<br>小皿 | 9.2         | 1.7          | 6.8             | 95%        | 内・外5YR6/6橙                        | 回転糸切の平底                                                 | 胎土粗い 平安時代        |
| 31       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111 井戸<br>上層 | 土師器<br>皿  | 15.3        | 3.4          | 9.4             | 90%        | 内・外5YR7/4にぶい橙                     | 回転糸切の平底 体部外面回転ナデ?                                       | 平安時代             |
| 32       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111井戸        | 土師器<br>皿  | 14.8        | 3.4          | 9.7             | 100%       | 内・外5YR7/6橙                        | 回転糸切の平底                                                 | 平安時代             |
| 33       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111井戸        | 瓦器<br>椀   | 15.9        | 6.5          | 5.1             | 100%       | 内・外N4/灰                           | 口縁部内面浅い沈線 内面細く密なヘラミガキ・見込み部ループ状の暗文 外面体部ユビオサエ・部分的の細いヘラミガキ | 平安時代             |
| 34       | 図14 | 06-<br>C12.13 | 111井戸        | 土師器<br>羽釜 | 24.9        | 20.7<br>以上   | -               | 60%        | 内・外7.5YR6/4にぶい橙                   | 口縁部はくの字に屈曲端部を上方に拡張 水平方向に長く伸びる鑄を貼付                       | 平安時代             |
| 35       | 図14 | 06-C15        | 204pit       | 瓦<br>軒丸   | -           | -            | -               | 瓦当<br>30%  | N4/灰                              | 単弁十六弁蓮華文                                                | 平安時代後期 貞福寺に伴うものか |
| 36       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>上層  | 瓦器<br>椀   | 16.1        | 6.5          | 6.1             | 20%        | N3/暗灰                             | 口縁部内面浅い沈線 見込み部斜格子状の暗文 外面体部ユビオサエ・部分的の細いヘラミガキ             | 混入? 平安時代 反転復元    |
| 37       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>上層  | 須恵器<br>坏蓋 | 16.4        | 1.1<br>以上    | -               | 20%        | 内N5/灰<br>外N6/灰                    | 口縁部は下方に折れる 擬宝珠様のつまみは欠損                                  | 奈良時代 反転復元        |
| 38       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>掘形  | 須恵器<br>坏蓋 | 17.4        | 2.3<br>以上    | -               | 20%        | 内・外N6/灰                           | 口縁部は下方に折れる 擬宝珠様のつまみは欠損                                  | 奈良時代 反転復元        |
| 39       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>枠内  | 須恵器<br>蓋  | 28.8        | 1.9<br>以上    | -               | 口縁部<br>20% | 内・外N5/灰                           | 口縁部は屈曲して下方に折れる 外面天井部回転ヘラケズリ                             | 反転復元             |
| 40       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>上層  | 須恵器<br>坏身 | 15.0        | 3.9<br>以上    | -               | 口縁部<br>10% | 内・外N5/灰                           |                                                         | 奈良時代 反転復元        |
| 41       | 図14 | 06-D14        | 106井戸<br>掘形  | 須恵器<br>坏身 | -           | 3.1<br>以上    | 9.4             | 高台部<br>25% | 内・外N6/灰                           | 高台は高く外傾                                                 | 奈良時代 反転復元        |
| 42       | 図15 | 06-O14        | 106井戸<br>枠内  | 須恵器<br>壺  | -           | 11.6<br>以上   | 10.4            | 底体部<br>60% | 内7.5YR4/1褐灰<br>外N3/暗灰             | 高台は高く外傾・内側で接地 体部は屈曲                                     | 奈良時代 反転復元        |
| 43       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>掘形  | 須恵器<br>壺  | 11.8        | 7.85<br>以上   | -               | 口縁部<br>20% | 内・外N4/灰                           | 頸部から口縁部にかけて緩やかに外反 体部は扁球形か                               | 奈良時代 反転復元        |
| 44       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>枠内  | 土師器<br>坏  | 14.5        | 2.8～<br>3.3  | 11.7            | 100%       | 内・外10YR8/2灰白                      | 底部は平坦ユビオサエのちヘラミガキ 口縁部は外方に折れ内面に沈線 内面体部放射状・見込み部ループ状暗文     | 奈良時代             |
| 45       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>掘形  | 土師器<br>坏  | 12.6        | 3.3<br>以上    | -               | 口縁部<br>20% | 内10YR7/6橙<br>外7.5YR8/6浅黄橙         | 口縁部外面に浅い沈線 体部外面横ヘラミガキ・内面細かい放射状暗文                        | 奈良時代 反転復元        |
| 46       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>上層  | 土師器<br>皿  | 18.6        | 3.7<br>以上    | -               | 口縁部<br>20% | 内7.5YR5/3にぶい褐<br>外7.5YR4/1褐灰      | 口縁部部を内側にわずかに巻き込む 内側に段外底部ヘラケズリ 体部内面放射状暗文                 | 奈良時代 反転復元        |
| 47       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>枠内  | 土師器<br>皿  | -           | 2.8<br>以上    | (14.0)          | 高台部<br>10% | 内5YR7/6橙<br>外10YR8/3浅黄橙 5YR7/6橙   | 高く下方に伸びる高台 見込み部ハケ                                       | 奈良時代 反転復元        |
| 48       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>掘形  | 土師器<br>甕  | 16.2        | 6.5<br>以上    | -               | 口縁部<br>10% | 内7.5YR8/4浅黄橙<br>外5YR6/6橙          | 頸部から口縁部にかけて緩やかに外反 体部内面板状工具ナデ                            | 奈良時代 反転復元        |
| 49       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>上層  | 土師器<br>壺  | 13.4        | 4.1<br>以上    | -               | 口縁部<br>15% | 内・外7.5YR6/6橙                      | 頸部から口縁部にかけて緩やかに外反                                       | 奈良時代 反転復元        |
| 50       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>枠内  | 土師器<br>甕  | 25.8        | 4.8<br>以上    | -               | 口縁部<br>5%  | 内10YR7/4にぶい橙<br>外5YR7/4にぶい橙       | 口縁部はくの字に屈曲 口縁部部上方へわずかに肥厚 外端面わずかに凹む                      | 奈良時代 反転復元        |
| 51       | 図15 | 06-D14        | 106井戸<br>枠内  | 土師器<br>甕  | 15.6        | 3.45<br>以上   | -               | 口縁部<br>20% | 内5YR5/3にぶい赤褐 N3/暗灰<br>外5YR6/4にぶい橙 | 頸部から口縁部にかけて外反 口縁部部をわずかに上方拡張 内面頸部ハケ・体部ヘラケズリ              | 奈良時代 反転復元        |
| 52       | 図15 | 06-A18        | 107溝<br>下層   | 土師器<br>坏身 | 16.4        | 3.7<br>以上    | -               | 口縁部<br>10% | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                   |                                                         | 奈良時代 反転復元        |
| 53       | 図15 | 06-A18        | 107溝<br>下層   | 須恵器<br>甕  | 30.4        | 7.4<br>以上    | -               | 口縁部<br>5%  | 内・外N5/灰                           | 口縁部はくの字に屈曲 口縁部部をわずかに外方に拡張 体部外面縦方向平行タキ後ナデ                | 奈良時代 反転復元        |
| 54       | 図15 | 06-A18        | 107溝<br>上層   | 土師器<br>皿  | 20.6        | 2.6<br>以上    | -               | 口縁部<br>10% | 内・外7.5YR7/4にぶい橙                   | 外反する口縁の端部をわずかに内側に拡張                                     | 奈良時代 反転復元        |
| 55       | 図15 | 06-A18        | 107溝<br>上層   | 土師器<br>皿  | 16.4        | 3.75<br>以上   | -               | 口縁部<br>15% | 内・外7.5YR6/6橙                      | 外反する口縁の端部をわずかに内側に拡張 外底部ヘラケズリ                            | 奈良時代 反転復元        |
| 56       | 図15 | 06-A18        | 107溝<br>上層   | 土師器<br>皿  | 20.0        | 2.9<br>以上    | -               | 口縁部<br>10% | 内・外2.5YR6/6橙                      | 強く外反する口縁の端部を上方へ拡張 外底部ヘラケズリ 体部内面放射状暗文                    | 奈良時代 反転復元        |

## 秋月遺物出土遺物観察表（3）

| 遺物番号 | 図   | 調査区<br>地区     | 遺構<br>層位     | 種類<br>器種   | 口径     | 高さ         | 底径   | 残存率         | 色調              | 形態・技法                             | 備 考           |
|------|-----|---------------|--------------|------------|--------|------------|------|-------------|-----------------|-----------------------------------|---------------|
| 57   | 図15 | 06-B17        | 108溝<br>下層   | 須恵器<br>坏身  | 12.4   | 3.5<br>以上  | -    | 口縁部<br>30%  | 内・外N6/灰         |                                   | 奈良時代 反転復元     |
| 58   | 図15 | 06-C,D12      | 160          | 須恵器<br>灯蓋  | (17.8) | -          | -    | 口縁部<br>10%  | 内・外N6/灰         | 口縁部は下方に折れる                        | 奈良時代 反転復元     |
| 59   | 図15 | 06-C12        | 160<br>上層    | 須恵器<br>坏身  | 12.8   | 3.7        | 9.2  | 70%         | 内・外N7/灰白        | 底部は平坦気味 回転ヘラケズリのち回転ナデ             | 奈良時代          |
| 60   | 図15 | 06-C,D12      | 160土坑        | 須恵器<br>坏身  | -      | 3.0<br>以上  | 8.8  | 高台部<br>10%  | 内・外N5/灰         | 高台は高く外傾、内側で接地                     | 奈良時代 反転復元     |
| 61   | 図15 | 06-C,D12      | 160土坑        | 土師器<br>甕   | 27.0   | 7.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%  | 内・外7.5YR7/4にぶい橙 | 口縁部は強く外傾 端部は外方に面 内面と外面体部はハケ       | 奈良時代 反転復元     |
| 62   | 図15 | 06-B13        | 211pit       | 土師器<br>皿   | 21.1   | 4.55       | 15.4 | 10%         | 内・外5YR7/6橙      | 口縁部はわずかに外反 高台は低く外傾 内面体部放射状暗文      | 奈良時代 反転復元     |
| 63   | 図15 | 06-C16        | 117溝<br>上層   | 須恵器<br>坏身  | 17.6   | 3.7        | 13.0 | 30%         | 内・外N6/灰         | 高台は低く外傾                           | 奈良時代 反転復元     |
| 64   | 図15 | 06-B15        | 117溝<br>下層   | 須恵器<br>坏身  | 12.2   | 3.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%  | 内・外N5/灰         | 口縁部は内傾気味に立ち上がる 端部は丸い              | 古墳時代 反転復元     |
| 65   | 図15 | 06-C16        | 117溝<br>上層   | 須恵器<br>高坏  | -      | 5.5<br>以上  | 9.2  | 脚部<br>25%   | 内・外N6/灰         | 裾部はラッパ状に開く 端部は外方に面                | 反転復元          |
| 66   | 図15 | 06-B15        | 117溝<br>上～中層 | 須恵器<br>ハンウ | -      | 5.2<br>以上  | -    | 体部<br>100%  | 外N5/灰 N3/暗灰     | 体部は扁球形 高台・口縁部は欠損 体部上位に凹線          | 外面自然釉         |
| 67   | 図15 | 06-B15        | 117溝<br>下層   | 須恵器<br>甕   | 19.2   | 4.4<br>以上  | -    | 口縁部<br>20%  | 内・外N6/灰         | 外反する口縁部はわずかに屈曲して上方へ伸びる 口縁端部は上方に面  | 反転復元          |
| 68   | 図15 | 06-C16        | 117溝<br>上層   | 須恵器<br>甕   | 17.0   | 5.2<br>以上  | -    | 口縁部<br>20%  | 内・外N8/灰白～N4/灰   | 口縁端部は外方に肥厚し玉縁状になる 外面カキメ           | 反転復元          |
| 69   | 図15 | 06-C16        | 117溝<br>上層   | 土師器<br>甕   | 22.2   | 8.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>20%  | 内・外7.5YR6/4にぶい橙 | 口縁部はくの字に屈曲外面頸部ユビオサエ 体部斜めハケ 内面体部ハケ | 反転復元          |
| 70   | 図15 | 06-B15        | 117溝<br>下層   | 土師器<br>甕   | 18.6   | 5.4<br>以上  | -    | 口縁部<br>15%  | 内・外5YR6/6橙      | 口縁部は緩やかに外反し長く伸びる 口縁端部は尖り気味        | 反転復元          |
| 71   | 図15 | 07-Y11        | 316溝         | 須恵器<br>ハンウ | -      | 8.9<br>以上  | -    | 頸体部<br>100% | 外N4/～N6/灰       | 体部下半回転ヘラケズリ                       |               |
| 72   | 図15 | 07-Y<br>11.12 | 326溝         | 埴輪<br>円筒   | -      | 9.0<br>以上  | -    | -           | 内・外7.5YR7/6橙    | 外面細かいハケ 内面ユビオサエ                   | 反転復元 片岩混入     |
| 73   | 図15 | 07-X11        | 127          | 埴輪<br>円筒   | -      | 12.0<br>以上 | -    | -           | N5/灰            | 外面ハケ 内面ユビオサエ                      | 須恵質 反転復元 片岩なし |
| 74   | 図15 | 07-Y12        | 328溝         | 弥生土器<br>甕  | -      | 4.4<br>以上  | 3.8  | 底部<br>100%  | 内・外2.5YR5/6明赤褐  | 底部中央窪む 体部下半平行タキ                   | 庄内併行期 反転復元    |

## 小林遺跡出土遺物観察表（1）

| 遺物番号 | 図   | 調査区<br>地区   | 遺構<br>層位   | 種類<br>器種   | 口径   | 高さ         | 底径<br>(高台径) | 残存率        | 色調                                   | 形態・技法                                          | 備 考                          |
|------|-----|-------------|------------|------------|------|------------|-------------|------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------|
| 1    | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 須恵器<br>坏蓋  | 14.4 | 2.75       | -           | 60%        | 内・外N6/灰                              | 擬宝珠様のつまみ 口縁部は短く下方に折れる                          |                              |
| 2    | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>灯蓋  | 15.8 | 4.35       | -           | 30%        | 内・外N6/灰                              | 擬宝珠様の扁平なつまみ 口縁部は短く下方に折れる                       | 焼荒あり 反転復元                    |
| 3    | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>坏蓋  | 16.6 | 3.0        | -           | 25%        | 内・外N6/灰                              | 擬宝珠様のつまみ 口縁部は短く下方に折れる                          | 反転復元                         |
| 4    | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 須恵器<br>坏身  | 12.8 | 4.85       | 10.2        | 60%        | 内・外2.5Y6/1黄灰                         | 底部端に外傾するやや外傾する高台                               | 反転復元                         |
| 5    | 図20 | A<br>p32    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>坏身  | 13.6 | 4.2        | 9.0         | 40%        | 内・外2.5Y8/1灰白                         | 底部は平坦気味                                        | やや軟質 反転復元                    |
| 6    | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>坏身  | 13.6 | 2.95       | 9.5         | 60%        | 内・外N6/灰                              | 底部は平坦気味                                        | 反転復元                         |
| 7    | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>坏身  | 10.4 | 2.85       | 7.8         | 30%        | 5B5/1 青灰                             | 底部は平坦気味                                        | 反転復元                         |
| 8    | 図20 | A<br>p31・33 | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>坏身  | 16.0 | 4.2        | 12.6        | 50%        | 内・外N5/灰                              | 底部は平坦                                          | 反転復元                         |
| 9    | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 須恵器<br>皿   | 20.6 | 2.0        | 15.8        | 30%        | 内・外N7/灰白                             | 底部は平坦 浅い 底部回転ヘラケズリ？<br>口縁端部上方に面                | やや軟質 反転復元                    |
| 10   | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>甕   | 31.4 | 10.5<br>以上 | -           | 口縁部<br>10% | 内2.5Y5/1黄灰 外N5/灰                     | 外傾する口縁部外面に凹線3条・波状文2条<br>口縁端部は外方に拡張し、扁平な玉縁状を呈する | 反転復元                         |
| 11   | 図20 | A<br>p34    | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>長頸壺 | 13.0 | 12.3<br>以上 | -           | 口縁部<br>70% | 10Y4/1黄灰ほか                           | 口頸部は長くラッパ状に開く 中位に細い沈線1条                        | 胎土内に気泡が生じ器壁が凸凹する 内外面自然釉 反転復元 |
| 12   | 図20 | A<br>p31・33 | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>壺   | -    | 10.7<br>以上 | 12.0        | 底体部<br>60% | 10Y4/1黄灰                             | 体部は扁平で中位より上で屈曲する 高台は高く外傾し、内側で接する               | 肩部に自然釉 反転復元                  |
| 13   | 図20 | A<br>p31・33 | 24溝<br>第3層 | 須恵器<br>壺   | 10.4 | 6.3<br>以上  | -           | 口縁部<br>40% | 内・外N4/灰                              | 口縁部はゆるやかに外反する 口縁端部は斜め上方に面                      | 反転復元                         |
| 14   | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 黒色土器<br>椀  | 15.8 | 5.6<br>以上  | -           | 40%        | 内N2/黒<br>外5YR6/6橙                    | 高台は欠損 口縁部はわずかに肥厚                               | 黒色土器A 反転復元                   |
| 15   | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>皿   | 20.0 | 3.4        | 14.2        | 口縁部<br>20% | 内・外5YR6/6橙                           | 外反する口縁部の端部を上方に拡張 外底部ヘラケズリ 内面体部放射状・見込み部ループ状？暗文  | 反転復元                         |
| 16   | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>坏   | 15.8 | 2.8        |             | 40%        | 内・外5YR6/6橙                           | 外反する口縁部の端部を上方に拡張 外底部ヘラケズリ 内面体部放射状暗文            | 反転復元                         |
| 17   | 図20 | A<br>p37    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>皿   | 16.2 | 3.2        |             | 100%       | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                       | 口縁端部は上方に面                                      |                              |
| 18   | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>皿   | 18.5 | 3.4        | 13.6        | 口縁部<br>20% | 内・外5YR6/6橙                           | 外反する口縁部の端部を上方に拡張 外底部ヘラケズリ 内面体部放射状暗文            | 反転復元                         |
| 19   | 図20 | A<br>p31    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>台付皿 | 9.5  | 3.35       | 5.4         | 60%        | 内7.5YR5/2灰褐 N3/暗灰<br>外7.5YR7/4にぶい橙ほか | 高く外傾する高台 皿部は浅く器壁は厚い                            | 黒色土器の可能性も 反転復元               |
| 20   | 図20 | A<br>q30    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>台付皿 | 15.6 | 5.2        | 7.8         | 40%        | 内7.5YR5/2灰褐ほか<br>外10YR8/3にぶい黄橙       | 高く外傾する高台 皿部は浅く器壁は厚い                            | 反転復元                         |
| 21   | 図20 | A<br>p37    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>高坏  | -    | 7.0<br>以上  | -           | 脚柱部<br>70% | 内・外5YR6/6橙                           | 脚柱部外面面取り11角                                    | 反転復元                         |
| 22   | 図20 | A<br>p33    | 24溝<br>第1層 | 土師器<br>甕   | 19.6 | 4.7<br>以上  | -           | 口縁部<br>10% | 内7.5YR7/4にぶい橙<br>外7.5YR6/4にぶい橙       | 口縁端部をわずかに上方に拡張 体部外面縦方向粗いハケ 内面横方向ハケ             | 反転復元                         |

## 小林遺跡出土遺物観察表（２）

| 遺物<br>番号 | 図   | 調査区<br>地区 | 遺構<br>層位    | 種類<br>器種    | 口径            | 高さ           | 底径        | 残存率        | 色調                                  | 形態・技法                                                                          | 備 考                               |
|----------|-----|-----------|-------------|-------------|---------------|--------------|-----------|------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 23       | 図20 | A<br>p37  | 24溝<br>第2層  | 土師器<br>甕    | 20.0          | 7.3<br>以上    | -         | 口縁部<br>25% | 内・外7.5YR5/3にぶい・褐                    | 口縁部はくの字に屈曲 口縁端部は外方に面<br>体部外面縦方向ハケ                                              | 反転復元                              |
| 24       | 図20 | A<br>p33  | 24溝<br>第1層  | 土師器<br>甕    | 25.4          | 6.8<br>以上    | -         | 口縁部<br>20% | 内5YR7/4にぶい・橙<br>外7.5YR6/4にぶい・橙      | 口縁部はくの字に強く屈曲 口縁端部は上方<br>に拡張し斜め上方に面 体部外面縦方向粗い<br>ハケ 内面横方向ハケ                     | 反転復元                              |
| 25       | 図20 | A<br>p33  | 24溝<br>第1層  | 土師器<br>甕    | 30.6          | 14.6<br>以上   | -         | 口縁部<br>20% | 内5YR7/4にぶい・橙<br>外5YR7/6橙 5YR7/2明褐灰  | 口縁部はくの字に屈曲 口縁端部は上方にわ<br>ずかに拡張し、外方に面 体部外面縦ハケ 内<br>面横方向ハケ・ユビオサエ                  | 反転復元                              |
| 26       | 図20 | A<br>p32  | 24溝<br>第3層  | 土師器<br>甕    | -             | 20.0<br>以上   | -         | -          | 内・外7.5YR5/2灰褐                       | 焚口の周囲に高い罫 外面ハケ                                                                 |                                   |
| 27       | 図20 | A<br>p37  | 24溝<br>第1層  | 土師器<br>製塩土器 | 8.0           | 5.7<br>以上    | -         | 10%        | 内・外7.5YR7/6橙                        | 砲弾型 口縁端部は尖り気味 外面ユビオサエ<br>内面ユビオサエ・ナデ                                            | 反転復元                              |
| 28       | 図20 | A<br>p34  | 24溝<br>第2層  | 土師器<br>製塩土器 | 9.2           | 5.5<br>以上    | -         | 10%        | 内7.5YR8/6浅黄橙<br>外7.5YR7/6橙          | 砲弾型 外面ユビオサエ 内面ユビオサエ・ナ<br>デ                                                     | 反転復元                              |
| 29       | 図20 | A<br>p33  | 24溝<br>第1層  | 土師器<br>製塩土器 | 9.0           | 5.5<br>以上    | -         | 10%        | 内2.5YR6/6橙<br>外10YR5/6赤 N2/黒        | 砲弾型 口縁端部は尖り気味 外面ユビオサエ<br>内面ユビオサエ・ナデ                                            | 反転復元 明確な二次焼成                      |
| 30       | 図20 | A<br>p30  | 24溝<br>第1層  | 土製品<br>土鉢   | 長6.25         | 径2.8         | 孔径<br>1.0 | 100%       | 5YR6/4にぶい・橙                         | 棒状のものに粘土を巻きつけて成形                                                               |                                   |
| 31       | 図21 | A<br>r33  | 205<br>第1層  | 須恵器<br>坏身   | 15.6          | 4.1          | 11.2      | 70%        | 内・外N6/灰                             | 平底回転ヘラケズリのちナデ                                                                  | 反転復元                              |
| 32       | 図21 | A<br>q33  | 206<br>第1層  | 須恵器<br>坏蓋   | 17.1          | 2.1          | -         | 80%        | 内・外N6/灰                             | 擬宝珠様のつまみ 口縁部は短く下方に折れ<br>る                                                      | 歪が激しい                             |
| 33       | 図21 | A<br>q33  | 206<br>第1層  | 須恵器<br>坏身   | 12.4          | 4.0～<br>4.2  | -         | 85%        | 内・外2.5Y6/1黄灰                        | 底部平坦気味 回転ヘラ切りのちナデ                                                              |                                   |
| 34       | 図21 | A<br>q33  | 206<br>第1層  | 須恵器<br>坏身   | 13.6          | 3.7          | 10.2      | 80%        | 内・外2.5Y8/2灰白                        | 平底                                                                             | 反転復元 焼成不良                         |
| 35       | 図21 | A<br>q33  | 206<br>第1層  | 土師器<br>皿    | 19.8          | 2.2          | -         | 10%        | 内7.5YR8/3浅黄橙<br>外7.5YR7/6橙          | 口縁端部内面に浅い凹線 外底部ヘラミガキ<br>内面体部放射状摺文                                              | 反転復元                              |
| 36       | 図21 | A<br>p34  | 128<br>第1層  | 土師器<br>壺    | 19.0          | 13.7<br>以上   | -         | 口縁部<br>90% | 内・外7.5YR5/4にぶい・褐                    | 二重口縁 内面頸部シボリ・体部粗いヘラケズ<br>リ                                                     | 布留併行期 反転復元                        |
| 37       | 図21 | A<br>p34  | 128<br>第1層  | 土師器<br>甕    | 16.2          | 6.1<br>以上    | -         | 口縁部<br>20% | 内・外5YR6/6橙                          | 口縁部はくの字に屈曲 端部はわずかに内側<br>に折れる 内面体部ヘラケズリ                                         | 長石・片岩多い 布留併行期 反転<br>復元            |
| 38       | 図21 | A<br>o36  | 207溝<br>第1層 | 弥生土器<br>甕   | 20.0          | 8.8<br>以上    | -         | 口縁部<br>20% | 内・外5YR6/6橙                          | 口縁部はくの字に屈曲 端部外面キザミ目 体<br>部外面右上がり平行タタキ・内面横ハケ                                    | 長石・片岩多い 弥生後期 反転復<br>元             |
| 39       | 図21 | A<br>o36  | 207溝<br>第1層 | 弥生土器<br>小型甕 | 12.6          | 10.7         | 3.8       | 70%        | 内・外2.5YR5/6明赤褐                      | 口縁部くの字に屈曲 端部は丸い 底部中央<br>が窪む 外面横平行タタキ 内面板ナデ                                     | 弥生後期 反転復元                         |
| 40       | 図21 | A<br>p36  | 207溝<br>第1層 | 弥生土器<br>鉢   | 15.2          | 9.6          | 3.4       | 40%        | 内・外2.5YR6/6橙                        | 口頸部はわずかに外反 外面口縁部ハケのち<br>ヘラミガキ・体部細いヘラミガキ・底部平行タ<br>タキ 内面口縁部ヘラミガキ・体部ハケのちヘラ<br>ミガキ | 弥生後期 反転復元                         |
| 41       | 図21 | A<br>o37  | 207溝<br>第1層 | 弥生土器<br>鉢   | 18.4～<br>19.6 | 8.9～<br>10.0 | 3.9       | 90%        | 内・外2.5YR4/4にぶい・赤褐                   | 口頸部は外反 底部は中央が窪む 内面口縁<br>部・体部ヘラ状工具にナデのちヘラミガキ 内<br>底部板目圧痕                        | 歪が大きい 弥生後期                        |
| 42       | 図21 | A<br>o27  | 215溝        | 弥生土器<br>壺   | -             | 20.5<br>以上   | 4.8       | 体底部<br>70% | 内5YR5/4にぶい・赤褐<br>外5YR6/4にぶい・橙 N3/暗灰 | 体部は算盤玉状 底部は小さい                                                                 | 弥生時代後期                            |
| 43       | 図21 | A<br>n27  | 215溝        | 弥生土器<br>甕   | 14.2          | 5.5<br>以上    | -         | 口縁部<br>20% | 内7.5YR5/3にぶい・褐<br>外7.5YR4/2灰褐       | 口頸部はくの字に強く屈曲 外端面キザミ目<br>体部外面平行タタキ                                              | 微細な金雲母含む 43と同一個<br>体？ 弥生時代後期 反転復元 |
| 44       | 図21 | A<br>n27  | 215溝        | 弥生土器<br>甕   | -             | 7.5以<br>上    | 5.2       | 底部<br>60%  | 内7.5YR5/3にぶい・褐<br>外7.5YR4/2灰褐       | 底端部をやや外方に拡張 外面体部平行タ<br>タキ・底部付近ユビオサエ 内面体部板状工具<br>によるナデ                          | 微細な金雲母含む 42と同一個<br>体？ 弥生時代後期 反転復元 |
| 45       | 図21 | A<br>n27  | 215溝        | 弥生土器<br>甕   | -             | 8.9<br>以上    | 4.6       | 底部<br>100% | 内7.5YR5/3にぶい・褐<br>外7.5YR4/2灰褐       | 底端部をやや外方に拡張 外面体部平行タ<br>タキ・底部付近ユビオサエ 内面底部板目圧痕                                   | 長石・片岩多く含む 弥生時代後期<br>反転復元          |
| 46       | 図21 | A<br>n27  | 215溝        | 弥生土器<br>鉢   | 14.0          | 6.9          | 4.0       | 50%        | 内7.5YR7/6橙<br>外7.5YR7/4にぶい・橙        | 碗形 口縁端部は尖り気味 内面板状工具ナ<br>デ                                                      | 長石・片岩少量含む 弥生時代後<br>期 反転復元         |
| 47       | 図21 | A<br>o27  | 215溝        | 弥生土器<br>高坏  | -             | -            | -         | 脚柱部<br>80% | 内・外2.5YR5/6明赤褐                      | 中空 坏部粘土充填 円穴 外面縦ヘラミガキ<br>内面シボリ                                                 | 弥生時代後期 反転復元                       |
| 48       | 図21 | A<br>p33  | 119         | 土師器<br>小皿   | 9.2           | 1.1          | 6.4       | 80%        | 内・外5YR7/6橙                          | 平底回転ヘラケズリ                                                                      | 掘立柱建物1柱穴                          |
| 49       | 図21 | A<br>o30  | 223         | 縄文土器<br>深鉢  | -             | 4.8<br>以上    | -         | -          | 内・外5YR4/2灰褐                         | 外面条痕                                                                           | 縄文時代晩期 ベース土からの混<br>入？             |
| 50       | 図21 | A<br>p37  | 包含層<br>第3層  | 土師器<br>碗    | 16.2          | 6.45         | 7.4       | 30%        | 内10YR8/3浅黄橙<br>外7.5YR8/4浅黄橙         | 高台は外傾 体部から口縁部にかけて内湾                                                            | 反転復元                              |
| 51       | 図21 | A<br>p32  | 包含層<br>第3層  | 黒色土器<br>碗   | 14.8          | 4.2<br>以上    | -         | 口縁部<br>20% | 内N3/暗灰<br>外7.5YR8/4にぶい・橙            | 体部は段を成す 口縁部の器壁は薄い                                                              | 黒色土器A 反転復元                        |
| 52       | 図21 | A<br>p32  | 包含層<br>第3層  | 黒色土器<br>碗   | -             | 2.0<br>以上    | 6.8       | 底部<br>100% | 内N2/黒<br>外7.5YR6/4にぶい・橙             | 高台は高く外傾                                                                        | 黒色土器A 反転復元                        |
| 53       | 図21 | A<br>p28  | 包含層<br>第3層  | 土師器<br>壺    | 18.2          | 6.5<br>以上    | -         | 口縁部<br>15% | 内7.5YR6/4にぶい・橙<br>外7.5YR5/4にぶい・橙    | 口縁端部をわずかに内側に拡張 上方に面<br>内面頸部キザミ目状の刺突                                            | 長石・片岩含む 布留併行期 反転<br>復元            |
| 54       | 図21 | A<br>p27  | 包含層<br>第3層  | 土師器<br>壺    | (21.0)        | -            | -         | 口縁部<br>20% | 内7.5YR4/3褐<br>外5YR5/6橙              | 二重口縁 口縁端部はわずかに内側に拡張<br>頸部外面ハケ・内面シボリ                                            | 長石・片岩多量 布留併行期 反転<br>復元            |
| 55       | 図21 | A<br>q35  | 包含層<br>第4層  | 土師器<br>甕    | 10.2          | 12.6         | -         | 80%        | 内5YR5/4にぶい・赤褐<br>外5YR5/7橙           | 丸底 体部球形 口縁部屈曲して短く外傾 体<br>部内面ヘラケズリ・ナデ・板目圧痕                                      | 長石・片岩多量 布留併行期 表面<br>凸凹している        |
| 56       | 図21 | A<br>o26  | 包含層<br>第4層  | 土師器<br>高坏   | -             | 5.2<br>以上    | 9.8       | 脚部<br>65%  | 内・外7.5YR6/4にぶい・橙                    | 裾部強く開く 円穴4方向 脚柱部外面ヘラミガ<br>キ・内面ヘラケズリ                                            | 微細な金雲母含む 布留併行期                    |
| 57       | 図21 | A<br>o26  | 流路<br>A層    | 土師器<br>甕    | 13.4          | 4.5<br>以上    | -         | 口縁部<br>25% | 内10YR7/4にぶい・黄橙<br>外7.5YR6/4にぶい・橙    | 口縁部くの字に屈曲 淡部は内方に拡張 体<br>部内面ヘラケズリ                                               | 反転復元                              |
| 58       | 図21 | B<br>i22  | 第6層         | 土師器<br>皿    | 9.6           | 2.05         | -         | 80%        | 内・外10YR8/2灰白                        | 底部平坦気味 ユビオサエ・ナデ                                                                |                                   |
| 59       | 図21 | B<br>i20  | 第6層         | 土師器         | 16.5          | 7.1<br>以上    | -         | 口縁部<br>10% | 内5YR5/3にぶい・赤褐<br>外5YR4/2灰褐          | 口縁部強く屈曲 体部外面ユビオサエ                                                              | 長石・片岩多い 反転復元                      |
| 60       | 図21 | B<br>m24  |             | 土師器<br>羽釜   | 30.4          | 8.6<br>以上    | -         | 口頸部<br>15% | 内・外5YR6/4にぶい・橙                      | 口縁端部上方へ拡張 外面面は凹む 罫は横<br>方向に長い                                                  | 側溝掘削時出土 長石・片岩非常<br>に多い 反転復元       |

平池古墳群出土遺物観察表（１）

| 遺物<br>番号 | 図   | 調査区<br>地区       | 遺構<br>層位  | 種類<br>器種   | 口径          | 高さ         | 底径   | 残存率        | 色 調                             | 形態・技法                                                | 備 考                 |
|----------|-----|-----------------|-----------|------------|-------------|------------|------|------------|---------------------------------|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1        | 図31 | 1号墳<br>1トレ他     | 溝a<br>2層他 | 埴輪<br>円筒   | 28.6        | 27.5<br>以上 | -    | 口縁部<br>60% | 内・外5YR7/4にぶい・橙                  | ほぼ直立し口縁部外反 端部外上方に面 外面粗い斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ 最上段へラ記号 円形透かし | 細かい長石等多い 一部反転復元     |
| 2        | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 1b他       | 埴輪<br>円筒   | 21.4        | 22.9<br>以上 | -    | -          | 内5YR5/1褐灰・7.5Y4/1灰<br>外7.5Y4/1灰 | 上方に開く 端部上方に面 外面密な斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ 円形透かし               | 須恵質 粗い長石・片岩多い 反転復元  |
| 3        | 図31 | 1号墳<br>4トレ他     | 溝6<br>2層他 | 埴輪<br>円筒   | 28.6        | 17.6<br>以上 | -    | -          | 内・外7.5YR5/2灰褐                   | 上方に開く 端部外上方に面 外面粗い斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ                    | 細かい長石等多い            |
| 4        | 図31 | 1号墳<br>5トレ他     | 溝6他       | 埴輪<br>円筒   | 27.8        | 14.3<br>以上 | -    | -          | 内・外7.5YR7/4にぶい・橙                | ほぼ直立し端部外上方に面 外面粗い斜めハケ 内面ナデ                           | 細かい長石等多い            |
| 5        | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 1b他       | 埴輪<br>円筒   | -           | 9.3<br>以上  | -    | -          | 内・外7.5YR7/4にぶい・橙                | 外面粗い斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ 円形透かし                            | 細かい長石等多い            |
| 6        | 図31 | 1号墳<br>7トレ      | 溝b/c      | 埴輪<br>円筒   | -           | 10.9<br>以上 | -    | -          | 内・外5YR6/6橙                      | 外面粗い斜めハケ 内面ナデ 突帯断続ナデ                                 | 長石・クサリ礫多い           |
| 7        | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 1b他       | 埴輪<br>円筒   | -           | 16.8<br>以上 | -    | -          | 内・外10Y4/1灰                      | 上方に開く 外面密な斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ 突帯断続ナデ                     | 須恵質 粗い長石・片岩等多い 反転復元 |
| 8        | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>円筒   | -           | 13.5<br>以上 | -    | -          | 内・外7.5Y4/1灰                     | 外面密な斜めハケ 内面ナデ 突帯断続ナデ                                 | 須恵質 粗い長石粒多い         |
| 9        | 図31 | 1号墳<br>7トレ      | b         | 埴輪<br>円筒   | -           | 4.9<br>以上  | -    | -          | 内・外5YR7/6橙                      | 外面粗い斜めハケ 内面ナデ 突帯断続ナデ                                 | クサリ礫・細かい長石等多い       |
| 10       | 図31 | 1号墳<br>7トレ      | 1b他       | 埴輪<br>円筒   | -           | 10.2<br>以上 | 16.4 | 裾部<br>20%  | 内・外5YR8/4浅黄橙                    | 外面粗い斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ                                  | クサリ礫・細かい長石等多い       |
| 11       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 溝02他      | 埴輪<br>円筒   | -           | 19.2<br>以上 | -    | -          | 内・外7.5Y4/1灰                     | 外面密な斜めハケ 内面ユビオサエ・ナデ 突帯断続ナデ 円形透かし                     | 須恵質 粗い長石粒多い         |
| 12       | 図31 | 1号墳<br>7トレ      | b         | 埴輪<br>円筒   | -           | 9.4<br>以上  | -    | -          | 内・外5YR5/6明赤褐                    | 外面粗い斜めハケ 内面縦ハケ 円形透かし                                 | 細かい長石等多い            |
| 13       | 図31 | 1号墳<br>7トレ      | b         | 埴輪<br>円筒   | -           | 10.0<br>以上 | -    | -          | 内・外5YR5/6明赤褐                    | 外面粗い斜めハケ 内面縦ハケ・ナデ                                    | 細かい長石等多い            |
| 14       | 図31 | 1号墳<br>5トレ      | c         | 埴輪<br>円筒   | 23.4        | 8.4<br>以上  | -    | 口縁部<br>15% | 内5YR4/6赤褐・外5YR5/6明赤褐            | 上方に開く 端部上方に面 上段線刻 器壁薄い                               | 長石・片岩多い 反転復元        |
| 15       | 図31 | 1号墳<br>5トレ      | c         | 埴輪<br>円筒   | -           | 4.1<br>以上  | -    | -          | 内・外5YR4/6赤褐                     | 器壁薄い                                                 | 長石・片岩多い             |
| 16       | 図31 | 1号墳<br>拡張区      | b         | 埴輪<br>円筒   | -           | -          | -    | -          | 内・外5YR4/6赤褐                     | 器壁薄い                                                 | 長石・片岩多い             |
| 17       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>朝顔形  | 頸部径<br>14.6 | 8.6<br>以上  | -    | -          | 内・外5YR7/4にぶい・橙                  | 内外面ナデ                                                | 長石・片岩含む 反転復元        |
| 18       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長3.5        | 幅3.0       | 厚0.9 | -          | 内・外10YR8/3浅黄橙                   | 馬形埴輪の耳                                               |                     |
| 19       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長4.9        | 幅2.5       | 厚0.8 | -          | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                 | 馬形埴輪の帯 線刻あり                                          |                     |
| 20       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長4.8        | 幅3.5       | 厚0.9 | -          | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                 | 馬形埴輪の馬具 竹管 円形・帯状の浮文                                  |                     |
| 21       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | b         | 埴輪<br>形象   | 長5.6        | 幅4.6       | 厚1.7 | -          | 内・外7.5YR7/4にぶい・橙                | 動物・四足獣の脚                                             |                     |
| 22       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | b         | 埴輪<br>形象   | 長5.8        | 幅5.2       | 厚3.7 | -          | 内・外10YR7/4にぶい黄橙                 | 動物・四足獣の脚                                             |                     |
| 23       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層他       | 埴輪<br>形象   | -           | 13.5<br>以上 | -    | -          | 内10YR5/1褐灰<br>外10YR6/3にぶい黄橙     | 動物・四足獣の脚中位 須恵質                                       | 長石・片岩多い             |
| 24       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長5.4        | 幅4.1       | 厚3.6 | -          | 5YR4/4にぶい赤褐                     | 人物埴輪の腕 中空                                            | 長石等多い               |
| 25       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | b         | 埴輪<br>形象   | 長5.1        | 幅3.6       | 厚3.2 | -          | 5YR4/4にぶい赤褐                     | 人物埴輪の腕 中空                                            | 長石等多い               |
| 26       | 図31 | 1号墳<br>5トレ      | 溝b        | 埴輪<br>形象   | 長4.2        | 幅3.4       | 厚2.6 | -          | 5YR5/4にぶい赤褐                     | 人物埴輪の腕 中実                                            | 長石等多い               |
| 27       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | b         | 埴輪<br>形象   | 長19.4       | 幅12.1      |      | -          | 内10YR5/1褐灰 外7.5YR7/6橙           | 器財埴輪・石見型埴輪 ハケ地に線刻 2個一単位の刺突 1箇所突き抜ける                  | 片岩・長石多い             |
| 28       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長7.2        | 幅4.3       | 厚1.2 | -          | 内・外10YR8/4浅黄橙                   | 器財埴輪 ハケ 線刻 刺突                                        | 片岩・長石多い             |
| 29       | 図31 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 埴輪<br>形象   | 長7.6        | 幅4.8       | -    | -          | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                 | 器財埴輪 ハケ                                              | 長石多い                |
| 30       | 図32 | 1号墳<br>5トレ      | 溝b        | 須恵器<br>高坏  | -           | 2.9<br>以上  | -    | 脚部<br>20%  | 内N7/灰白 外N5/灰                    | 方形透かし                                                | 反転復元                |
| 31       | 図32 | 1号墳<br>5トレ      | 溝6        | 須恵器<br>壺   | -           | 7.1<br>以上  | -    | 頸部<br>40%  | 内・外N6/灰～2.5Y7/2灰黄               | 口縁下凹線2条 頸部にかけて波状文2段                                  | 反転復元                |
| 32       | 図32 | 1号墳<br>7トレ      | 溝b/c      | 須恵器<br>器台  | -           | 14.0<br>以上 | -    | -          | 内N6/灰 外N7/灰白                    | 突帯の区画2段以上 区画内波状文充填のち方形透かし                            | 反転復元                |
| 33       | 図32 | 1号墳<br>1トレ      | 2層        | 須恵器<br>器台  | -           | 5.5<br>以上  | -    | -          | 外5PB5/1青灰 5PB4/1暗青灰             | 凹線下カキメのち波状文のち三角形？の透かし                                | 反転復元                |
| 34       | 図32 | 2号墳<br>S14W2    | 1層        | 須恵器<br>坏蓋  | 14.6        | 4.0        | -    | 60%        | 内・外5B6/1青灰                      | 天井部・口縁部の境なし 天井部丸い 口縁端部丸い 外面3/4回転ヘラケズリ                |                     |
| 35       | 図32 | 2号墳<br>S14W2    | 1層        | 須恵器<br>坏身  | 13.0        | 3.6        | -    | 95%        | 内5B6/1青灰 外5B5/1青灰               | 口縁部内傾 端部尖り気味 受部薄い 体部外面4/5回転ヘラケズリ                     |                     |
| 36       | 図32 | 2号墳<br>南東堀      | 表探        | 須恵器<br>坏身  | 12.4        | 4.3        | -    | 95%        | 内5B6/1青灰 外5B5/1青灰               | 口縁部内傾 端部尖り気味 体部外面4/5回転ヘラケズリ                          |                     |
| 37       | 図32 | 2号墳<br>南東堀      | 表探        | 須恵器<br>坏身  | 12.6        | 4.25       | -    | 100%       | 内5B6/1青灰 外5B5/1青灰               | 口縁部内傾 端部丸い 体部外面2/3回転ヘラケズリ                            |                     |
| 38       | 図32 | 2号墳<br>S14W2    | 1層        | 須恵器<br>坏身  | 13.2        | 4.3        | -    | 95%        | 内・外5B6/1青灰                      | 口縁部内傾 端部尖り気味 体部外面2/3回転ヘラケズリ                          |                     |
| 39       | 図32 | 2号墳             | 表探        | 須恵器<br>坏身？ | 17.0        | 3.3        | -    | 口縁部<br>10% | 5PB5/1青灰～4/1暗青灰                 | 口縁部横方向に開く 体部外面4/5回転ヘラケズリ                             | 胎土精良・堅緻 反転復元        |
| 40       | 図32 | 2号墳<br>S16-W0～2 |           | 須恵器<br>甕   | 51.0        | 17.6       | -    | 10%        | 内N7.5/灰白 外N4/灰                  | 口縁端部内側に拡張・外面凹線2条 2条の沈線による区画3段・櫛連続刺突文                 | 反転復元                |
| 41       | 図32 | 1号墳<br>1トレ      | b         | 石礫         | 長2.0        | 幅2.7       | 厚0.3 | -          |                                 | 凹基式                                                  | サヌカイト               |
| 42       | 図32 | 2号墳<br>3トレ      | 1層排土      | 石礫         | 長1.9        | 幅2.7       | 厚0.5 | -          |                                 | 凹基式                                                  | サヌカイト               |



## 八反田遺跡出土遺物観察表（１）

| 遺物<br>番号 | 図   | 調査区        | 遺構<br>層位   | 種類<br>器種      | 口径   | 高さ         | 底径    | 残存率         | 色 調                                  | 形態・技法                                            | 備 考                             |
|----------|-----|------------|------------|---------------|------|------------|-------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------|
| 1        | 図37 | A          | SK5        | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内5YR7/6橙 外2.5YR6/6橙                  | 体部破片 上から簾状文・直線文・波状文・直線文                          | 中期                              |
| 2        | 図37 | A          | SK5        | 弥生土器<br>甕     | 17.2 | 10.5<br>以上 | -     | 口縁部<br>10%  | 内・外5YR7/4にぶい・橙                       | 口縁部強く外傾 端部を上方向へ拡張 体部外面ハケ・ヘラケズリ                   | 中期 長石・片岩中量含む 搬入品<br>反転復元        |
| 3        | 図37 | A          | SK10       | 弥生土器<br>細頸壺   | 8.2  | 8.8<br>以上  | -     | 口縁部<br>30%  | 内・外5YR7/6橙                           | 口縁部内湾気味に直立 外面凹線3条 頸部外面ヘラケズリ                      | 中期 反転復元                         |
| 4        | 図37 | A          | SK10       | 弥生土器<br>壺     | -    | 3.0<br>以上  | 3.6～4 | 底部<br>100%  | 内N5/～6灰<br>外7.5YR7/4にぶい・橙            | 体部外面ヘラケズリ                                        | 中期                              |
| 5        | 図37 | A<br>N3 05 | SP-091     | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内10YR7/3にぶい・黄橙<br>外7.5YR5/3にぶい・褐     | 頸部外面 ハケ地に有軸の羽状文様                                 | 中期 長石・金雲母含む 搬入品？<br>反転復元        |
| 6        | 図37 | A<br>N3 05 | SB-1       | 弥生土器<br>二重口縁  | 13.8 | 2.9<br>以上  | -     | 口縁部<br>10%  | 内・外7.5YR7/6橙                         | 外傾する口縁部外面に粘土を貼付し二重口縁状にする 口縁部内面波状文4条以上 外面竹管文      | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 7        | 図37 | A          | SB-1       | 弥生土器<br>甕     | 16.6 | 3.5<br>以上  | -     | 口縁部<br>15%  | 内・外10YR8/4浅黄橙                        | 口縁端部外面キザミ 口縁部外面縦ハケ 体部外面平行タタキ 内面ハケ                | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 8        | 図37 | A          | SB-1       | 弥生土器<br>甕     | -    | 7.4<br>以上  | 4.8   | 底部<br>95%   | 内7.5YR6/3にぶい・褐<br>外10YR8/3浅黄橙        | 底部脚台・端部キザミ 体部外面平行タタキ                             | 後期末(庄内併行期～) 熊野型甕<br>反転復元        |
| 9        | 図37 | A<br>N3 05 | SB-1<br>上層 | 弥生土器<br>器台？   | -    | 2.2<br>以上  | -     | -           | 内・外5YR7/6橙                           | 裾端部下方に面 外面擬凹線間に竹管文を利用した蕨手文 透かし                   | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 10       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>壺     | 12.5 | 4.9<br>以上  | -     | 口縁部<br>30%  | 内・外10YR8/4浅黄橙                        | 口縁部途中で屈曲して開く 端部外方に面                              | 後期末(庄内併行期～) 胎土精良<br>反転復元        |
| 11       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>甕     | 15.2 | 6.4<br>以上  | -     | 口縁部<br>25%  | 内7.5YR8/3浅黄橙<br>外7.5YR8/4浅黄橙         | 器壁薄い 口縁端部外面キザミ 体部外面平行タタキ・内面板状工具ナデ                | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 12       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>甕     | -    | 3.2<br>以上  | 4.0   | 底部<br>100%  | 内・外10YR8/2灰白                         | 底端部外方へ拡張 外底部凹む 体部外面平行タタキ                         | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 13       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>甕     | -    | 3.7<br>以上  | 4.2   | 底部<br>100%  | 内N4/灰 外10YR6/3にぶい・黄橙                 | 体部外面平行タタキ                                        | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 14       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>甕     | 18.0 | 7.3<br>以上  | -     | 坏部<br>40%   | 内・外10YR8/3浅黄橙                        | 坏部深く口縁部長く伸びる 内外面ヘラミガキ                            | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 15       | 図37 | A          | SB-2       | 弥生土器<br>高坏    | -    | 5.0<br>以上  | -     | 脚柱部<br>100% | 内・外5YR7/6橙                           |                                                  | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 16       | 図37 | A          | SP662      | 弥生土器<br>高坏    | 16.2 | 約13.0      | 約10.2 | 40%         | 内10YR8/2灰白<br>外10YR6/1褐灰ほか           | 坏部深く口縁部長く伸びる 内外面ヘラミガキ 脚部は内湾して開く 円孔3方向・大きい        | 後期末(庄内併行期～) 反転復元                |
| 17       | 図37 | A          | 第2・3層      | 弥生土器<br>壺     | -    | 11.6<br>以上 | -     | -           | 内10YR7/3にぶい・黄橙<br>外10YR6/3にぶい・褐      | 地ハケ→LR組文→1本描重弧文→沈線区画→区画間ヘラミガキ                    | 中期 搬入品(伊勢湾沿岸か) 反転復元             |
| 18       | 図37 | A<br>中～南   | 第2・3層      | 弥生土器<br>甕     | 15.6 | 4.5<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内・外10YR7/3にぶい・黄橙                     | 口縁端部内外に拡張                                        | 中期？                             |
| 19       | 図37 | A<br>中～南   | 第2・3層      | 弥生土器<br>鉢     | 26.0 | 8.7<br>以上  | -     | 口縁部<br>10%  | 内10YR6/4にぶい・黄橙<br>外10YR5/2灰黄褐        | 体部から口縁部内湾して直立 口縁端部上方に面 外面波状文2条 ヘラミガキ             | 中期 反転復元                         |
| 20       | 図37 | A<br>中央    | 第2・3層      | 弥生土器<br>高坏    | 23.4 | 4.1<br>以上  | -     | 口縁部<br>10%  | 内7.5YR7/6橙 N4/灰<br>外7.5YR8/3浅黄橙      | 口縁部内湾 外面凹線5条                                     | 中期 反転復元                         |
| 21       | 図37 | A<br>中央    | 第2・3層      | 弥生土器<br>高坏    | -    | 12.3<br>以上 | -     | 脚柱部<br>100% | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                       | 脚柱部外面沈線間にキザミ・ヘラミガキ                               | 中期 一部反転復元                       |
| 22       | 図37 | B<br>南     | 砂礫         | 突帯文土器・深鉢      | -    | 2.4<br>以上  | -     | -           | 内5YR5/4にぶい・赤褐 N3/暗灰<br>外7.5YR5/2灰褐ほか | 口縁部外傾 端部外面幅広で低い突帯 口縁端部・突帯上キザミ                    | 弥生前期併行 瀬戸タイプ                    |
| 23       | 図37 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>広口壺   | 20.4 | 5.5<br>以上  | -     | 口縁部<br>30%  | 内10YR6/2灰黄褐<br>外10YR6/3にぶい・黄橙        | 口縁部強く外反 端部上下に拡張 外端面ハケ状工具によるキザミ 頸部幅広沈線2条          | 中期 反転復元                         |
| 24       | 図37 | B<br>北     | 砂礫         | 弥生土器<br>広口壺   | -    | -          | -     | 口縁部<br>30%  | 内7.5YR4/2灰褐<br>外7.5YR5/3にぶい・褐        | 口縁部強く外反 端部上下に拡張 外端面浅い凹線 頸部凹線3条 波状文               | 中期 反転復元                         |
| 25       | 図37 | C          | 有機質層       | 弥生土器<br>広口壺   | 34.4 | 4.2<br>以上  | -     | 口縁部<br>10%  | 内・外5YR6/6橙                           | 口縁部強く外反 端部下方に拡張 外端面斜格子文 口縁上面波状文・扇形文 円孔2個一単位      | 中期 長石・片岩多量含む 搬入品<br>反転復元        |
| 26       | 図37 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>広口壺   | -    | 3.2<br>以上  | -     | -           | 内10YR5/2灰黄褐<br>外10YR7/2にぶい・黄橙 N4/灰   | 口縁端部下方に拡張 外端面二枚目による刺突文                           | 中期 長石・微細な金雲母 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か)    |
| 27       | 図37 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>広口壺   | 28.2 | 3.7<br>以上  | -     | 口縁部<br>15%  | 内・外7.5YR5/3にぶい・褐                     | 口縁端部下方に拡張 口縁部内面櫛連続刺突・羽状を呈する その下部凹線1条             | 中期 微細な金雲母多量に含む<br>搬入品 反転復元      |
| 28       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>直口壺   | 21.4 | 5.0<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR7/4にぶい・橙<br>外5YR7/6橙           | 口縁端部内外に拡張・上方に面 外面凹線1条 突帯2条 波状文                   | 中期 反転復元                         |
| 29       | 図38 | B          | 中層         | 弥生土器<br>直口壺   | 17.0 | 4.5<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR4/1褐灰<br>外7.5YR6/4にぶい・橙        | 口縁端部内外に拡張・上方に面 突帯の上下波状文                          | 中期 反転復元                         |
| 30       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>直口壺   | 15.2 | 7.1<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR7/6橙<br>外5YR6/4にぶい・橙           | 口縁端部上方に面 端部直下凹線 突帯の上下波状文・直線文                     | 中期 反転復元                         |
| 31       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | 21.0 | 10.3<br>以上 | -     | 口縁部<br>20%  | 内10YR5/3にぶい・黄褐<br>外7.5YR6/4にぶい・橙     | 口縁部内湾して立ち上がる 端部内方に拡張・上方に面 外面凹線3条                 | 中期 反転復元                         |
| 32       | 図38 | B<br>流木下   | 砂礫         | 弥生土器<br>細頸壺   | 11.2 | 11.4<br>以上 | -     | 口縁部<br>30%  | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                       | 口縁部外面円形浮文・凹線4条 頸部凹線4条 板簾状文                       | 中期 反転復元                         |
| 33       | 図38 | B<br>北     | 砂礫         | 弥生土器<br>細頸壺   | 10.4 | 4.1<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR7/4にぶい・橙<br>外2.5YR6/4にぶい・橙     | 口縁部外面円形浮文・凹線6条以上                                 | 中期 反転復元                         |
| 34       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>直口壺   | 15.0 | 5.4<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内7.5YR7/4にぶい・橙<br>外5YR7/4にぶい・橙       | 口縁部外傾 上方に面 外面凹線4条                                | 中期 反転復元                         |
| 35       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>直口壺   | 8.4  | 6.0<br>以上  | -     | 口縁部<br>20%  | 内10YR6/3にぶい・黄橙<br>外10YR6/4にぶい・黄橙     | 口縁端部上方に面 端面の内・外キザミ 外面丁寧な簾状文をヘラ先で区画               | 中期 胎土精良 搬入品か 反転復元               |
| 36       | 図38 | B<br>北     | 砂礫         | 弥生土器<br>無頸壺   | 11.0 | 4.2<br>以上  | -     | 口縁部<br>15%  | 内・外7.5YR5/3にぶい・褐                     | 口縁端部外方に拡張 外面簾状文 紐穴                               | 中期 長石・金雲母含む 反転復元                |
| 37       | 図38 | B<br>南     | 砂礫         | 弥生土器<br>無頸壺   | 17.3 | 6.8<br>以上  | -     | 口縁部<br>10%  | 内2.5YR5/6明赤褐<br>外7.5YR5/2灰褐          | 口縁端部外面に粘土帯 外端面櫛刺突 口縁下簾状文2段 紐穴                    | 中期 長石・金雲母多い 搬入品か<br>反転復元        |
| 38       | 図38 | B<br>北     | 砂礫         | 弥生土器<br>(台付)鉢 | 30.4 | 10.6<br>以上 | -     | 口縁部<br>30%  | 内・外7.5YR5/3にぶい・褐                     | 口縁部内湾 端部外面粘土帯・外面簾状文 体部縦棒状浮文4個一単位・キザミ 簾状文 紐穴2個一単位 | 中期 角閃石・金雲母含む 搬入品<br>(生駒西麓) 反転復元 |
| 39       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内7.5YR4/1褐灰<br>外7.5YR5/3にぶい・褐        | 波状文の下斜格子文2本単位                                    | 中期 角閃石ふくむ 搬入品(生駒西麓)             |
| 40       | 図38 | B<br>流木下   | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内10YR5/1褐灰<br>外10YR6/4にぶい・黄橙         | 波状文2条・直線文2条を交互                                   | 微細な金雲母 搬入品？                     |
| 41       | 図38 | B<br>南     | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内5YR6/6橙<br>外7.5YR7/4にぶい・橙           | 波状文・直線文・波状文を交互                                   | 中期 長石・片岩多量 搬入品(和歌山県北部？)         |
| 42       | 図38 | B<br>中央    | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内・外2.5YR6/6橙                         | 斜め方向丁寧な流水文                                       | 中期                              |
| 43       | 図38 | B          | 砂礫         | 弥生土器<br>壺     | -    | -          | -     | -           | 内5YR4/3にぶい・赤褐<br>外5YR4/2灰褐           | 簾状文・波状文・簾状文を交互 下地斜めハケ                            | 中期 角閃石・微細な金雲母含む<br>搬入品(生駒西麓)    |

## 八反田遺跡出土遺物観察表（2）

| 遺物番号 | 図   | 調査区  | 遺構層位   | 種類器種    | 口径   | 高さ     | 底径   | 残存率    | 色 調                                        | 形態・技法                                                         | 備 考                                   |
|------|-----|------|--------|---------|------|--------|------|--------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 44   | 図38 | B北   | 腐植土    | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内10YR7/2にぶい黄橙<br>外10YR6/3にぶい黄橙             | 爪形文2列                                                         | 中期                                    |
| 45   | 図38 | B流木下 | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内7.5YR5/1褐灰<br>外7.5YR5/3にぶい褐               | 大・小2種の竹管文                                                     | 中期 微細な金雲母・角閃石含む<br>搬入品(生駒西麓)          |
| 46   | 図38 | B南   | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内・外10YR6/2灰黄褐                              | 頸部沈線下細かい竹管を束ねたもので刺突<br>体部簾状文4列                                | 中期 微細な金雲母含む 搬入品か                      |
| 47   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内・外7.5YR6/3にぶい褐                            | 頸部沈線下櫛刺突 体部簾状文2列                                              | 中期 微細な金雲母含む 搬入品か                      |
| 48   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内N4/灰 外10YR6/3にぶい黄橙                        | 頸部簾状文2条以上 体部2本単位平行沈線<br>(二股工具でない) 11条以上                       | 中期                                    |
| 49   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内10YR8/2灰白 外2.5YR6/6橙                      | 沈線区画内に波状文                                                     | 中期 金雲母・長石含む 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か)           |
| 50   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内7.5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR5/4にぶい褐             | 沈線区画内に縄文                                                      | 中期 金雲母・長石含む 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か)           |
| 51   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内7.5YR6/4にぶい橙<br>外7.5YR5/3にぶい褐             | 沈線区画内に縄文                                                      | 中期 金雲母・長石含む 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か)           |
| 52   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内10YR7/3にぶい黄橙<br>外10YR5/2灰黄褐               | 沈線区画内に擬縄文(ハケ地に連続刺突文)<br>無文帯はハケのちヘラミガキ                         | 長石・微細な金雲母・クサリ礫 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か)        |
| 53   | 図38 | B北   | 砂礫     | 弥生土器壺   | -    | -      | -    | -      | 内10YR3/1黒褐<br>外10YR5/2灰黄褐                  | 沈線区画内 板ナデのち弧状・縦方向の施文<br>無文帯・内面丁寧なヘラミガキ                        | 搬入品(伊勢湾沿岸か)                           |
| 54   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器甕   | -    | -      | -    | -      | 内N3/暗灰 外10YR5/2灰黄褐                         | 条痕文系 口縁部外面条痕 外面面 内面3本<br>単位櫛状工具波状文                            | 搬入品(伊勢湾沿岸か)                           |
| 55   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器甕   | 24.0 | 4.3以上  | -    | 口縁部10% | 内10YR5/2灰黄褐～10YR3/1黒褐<br>外10YR5/2灰黄褐 N3/暗灰 | 口縁部ハケ状工具キザミ・一か所指頭により<br>上方へ押圧 内面ハケのち3・4本単位櫛状工<br>具波状文 外面ハケ    | 長石・金雲母多量に含む 搬入品<br>(伊勢湾沿岸か) 反転復元      |
| 56   | 図38 | B壁   |        | 甕       | 18.4 | 8.7以上  | -    | 口縁部25% | 内5YR6/4にぶい橙<br>外5YR7/6橙 N2/黒               | 口縁部外反 体部下半横ヘラケズリ                                              | 紀伊型 中期 長石・片岩多量に含む<br>搬入品(和歌山県北部) 反転復元 |
| 57   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器甕   | 26.8 | 7.8以上  | -    | 10%    | 内7.5YR7/4にぶい橙<br>外7.5YR6/4にぶい橙             | 口縁部外反 体部下半一部ヘラケズリ                                             | 紀伊型 中期 長石・片岩多量に含む<br>搬入品(和歌山県北部) 反転復元 |
| 58   | 図38 | B南   | 砂礫     | 甕       | 20.2 | 6.3以上  | -    | 口頸部25% | 内10YR6/3にぶい黄橙<br>外10YR6/2灰黄褐               | 口縁部くの字に屈曲 端部外方に面 体部外面<br>斜めヘラ先によるキザミ                          | 中期? 反転復元                              |
| 59   | 図38 | B中央  | 砂礫     | 甕       | 31.2 | 12.9以上 | -    | 口縁部10% | 内N3/暗灰<br>外7.5YR8/4浅黄橙スス付着                 | 口縁部くの字に屈曲 端部上下に拡張・斜め外<br>方に面 口縁部内面・体部外面ハケ                     | 中期 スス付着 反転復元                          |
| 60   | 図39 | B    | 中層     | 弥生土器高坏  | 18.6 | 5.9以上  | -    | 口縁部15% | 内・外5YR7/6橙                                 | 口縁部内部方へわずかに拡張・上方に面 口<br>縁部部下 口縁部・体部板に凹線                       | 中期 反転復元                               |
| 61   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器高坏  | 19.1 | 6.4以上  | -    | 口縁部25% | 内5YR6/4にぶい橙 外5YR6/4に<br>ぶい橙 10YR8/3浅黄橙     | 口縁部内湾気味に立ち上がる                                                 | 中期 反転復元                               |
| 62   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器高坏  | 21.0 | 7.0以上  | -    | 坏部100% | 内10YR7/4にぶい黄橙<br>外10YR8/3浅黄橙               | 口縁部・体部境鈍い凌 口縁部肥厚 内外面<br>丁寧なヘラミガキ                              | 中期 反転復元                               |
| 63   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器高坏  | 15.6 | 2.8以上  | -    | 口縁部10% | 内・外5YR5/3にぶい赤褐～<br>5YR6/4にぶい橙              | 水平縁 垂下する外面の上下に凹線                                              | 中期 反転復元                               |
| 64   | 図39 | B流木下 | 砂礫     | 弥生土器高坏  | -    | 14.7以上 | 11.8 | 脚部70%  | 内2.5YR7/6橙 外2.5YR6/6橙                      | 脚柱部円筒状・中実 裾端部外方に面・その上<br>凹線 内面ヘラケズリ 円孔4方向                     | 中期 反転復元                               |
| 65   | 図39 | B    | 下層     | 弥生土器高坏  | -    | 11.3以上 | 10.7 | 脚部100% | 内・坏部N3/暗灰 脚台内<br>7.5YR8/6浅黄橙 外5YR7/6橙      | 脚柱部円筒状・中空上下を粘土で充填 裾端<br>部上下に拡張・外方に面 円孔3連3組の9個<br>外面ヘラミガキ      | 中期 一部反転復元 台付壺の可<br>能性もあり              |
| 66   | 図39 | A    | SK10   | 弥生土器高坏  | -    | 10.8以上 | 9.0  | 脚部70%  | 内・外5YR7/6橙                                 | 脚柱部円筒状・中空 裾端部外方に面 外面<br>裾部・坏部ヘラミガキ 脚柱部板ナデ                     | 中期 一部は反転復元                            |
| 67   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器器台  | -    | 4.6以上  | 10.4 | 脚台部20% | 内・外2.5Y6/3にぶい黄                             | ハの字に開く 4列単位の連続円形刺突文を2<br>段                                    | 中期 反転復元                               |
| 68   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器広口壺 | 16.8 | 5.5以上  | -    | 口縁部25% | 内・外7.5YR4/2灰褐                              | 口縁部部上下に拡張 外面面擬凹線・円形浮文<br>内外面ヘラミガキ                             | 後期 長石・微細な金雲母含む 搬<br>入品 反転復元           |
| 69   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器広口壺 | 18.4 | 8.3以上  | -    | 口縁部25% | 内5YR6/6橙<br>外10YR7/2にぶい黄橙                  | 口縁部部斜め上方に面 外面ヘラミガキのちヘ<br>ラ先による不規則なキザミ2段                       | 後期 反転復元                               |
| 70   | 図39 | B北   |        | 弥生土器長頸壺 | 10.0 | 8.0以上  | -    | 口縁部30% | 内・外5YR7/6橙                                 | 口頸部円筒状 端部付近で僅かに外反                                             | 後期 反転復元                               |
| 71   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器太頸壺 | 12.8 | 6.4以上  | -    | 口縁部30% | 内7.5YR7/4にぶい橙<br>外7.5YR7/6橙                | 口縁部外反 端部斜め外方に面 外面ヘラミガ<br>キ                                    | 後期 反転復元                               |
| 72   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器甕   | 16.6 | 5.6以上  | -    | 口縁部30% | 内7.5YR7/3にぶい橙<br>外5YR7/4にぶい橙               | 口縁部くの字に屈曲 端部外方に拡張・上方に<br>面                                    | 後期 スス付着 反転復元                          |
| 73   | 図39 | B    |        | 弥生土器甕   | 17.6 | 6.5以上  | -    | 口頸部30% | 内・外10YR6/2灰黄褐 N2/黒                         | 口縁部くの字に強く屈曲 端部下方にわずかに<br>拡張・外方に面 外面ハケ                         | 後期 スス付着 反転復元                          |
| 74   | 図39 | B    |        | 弥生土器甕   | 25.2 | 12.4以上 | -    | 口縁部20% | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                            | 体部丸い 器壁厚い 外面口縁部ユビオサエ<br>体部下半ハケ 内面板状工具ナデ                       | 後期 スス付着 反転復元                          |
| 75   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器甕   | 14.8 | 6.1以上  | -    | 口縁部95% | 内・外10YR6/4にぶい黄橙                            | 横方向に開く口縁の端部を上方へ拡張 外端<br>面2種のキザミ 頸部～体部櫛状工具連続刺突<br>沈線4条以上       | 後期 近江系 長石・金雲母多い<br>搬入品(伊勢湾沿岸か) 反転復元   |
| 76   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器甕   | 14.6 | 6.1以上  | -    | 口縁部45% | 内・外10YR6/3にぶい黄橙                            | 横方向に開く口縁の端部を上方へ拡張 外端<br>面連続刺突(貝殻?) 頸部～体部ハケ地に沈<br>線6条 不規則な連続刺突 | 後期 近江系 長石・チャート多い<br>搬入品(伊勢湾沿岸か) 反転復元  |
| 77   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器甕   | 15.4 | 2.5以上  | -    | 口縁部15% | 内10YR6/4にぶい黄橙<br>外N3/暗灰                    | 横方向に開く口縁の端部を上方へ拡張 外端<br>面連続刺突(貝殻?) 頸部ハケ                       | 後期 近江系 長石・チャート多い<br>搬入品(伊勢湾沿岸か) 反転復元  |
| 78   | 図39 | B    |        | 弥生土器台付甕 | 12.2 | 16.0   | -    | 脚部100% | 内7.5YR3/1黒褐<br>外7.5YR灰褐N2/黒                | 脚部ハの字に開く 端部下方に面・接地する<br>脚部外面線刻 内外面ハケ                          | 後期 搬入品(伊勢湾沿岸か) 反<br>転復元               |
| 79   | 図39 | B北   |        | 弥生土器高坏  | 20.0 | 5.1以上  | -    | 口縁部30% | 内5YR4/2灰褐<br>外5YR5/3にぶい赤褐                  | 口縁部屈曲して外反 坏体部内外面ヘラミガキ                                         | 後期 反転復元                               |
| 80   | 図39 | B北   | 砂礫     | 弥生土器高坏  | 21.2 | 5.2以上  | -    | 口縁部20% | 内2.5YR6/4にぶい橙<br>外2.5YR6/6橙                | 口縁部屈曲して強く外反 坏体部外面ヘラミガ<br>キ                                    | 後期 反転復元                               |
| 81   | 図39 | B    |        | 弥生土器高坏  | 21.0 | 5.4以上  | -    | 口縁部30% | 内・外5YR6/6橙                                 | 口縁部屈曲し外反 内外面ヘラミガキ(外面の<br>縦方向はジグザグ状)                           | 後期 反転復元                               |
| 82   | 図39 | B中央  | 砂礫     | 弥生土器高坏  | -    | 9.2以上  | 9.0  | 70%    | 内7.5YR7/2明褐灰<br>外7.5YR7/4にぶい橙              | 脚部はラッパ状に開く 坏部内外面・脚部外面<br>ヘラミガキ                                | 後期 反転復元                               |
| 83   | 図39 | B    | RG-N中層 | 弥生土器高坏  | -    | 6.2以上  | 10.7 | 脚部40%  | 内・外10YR6/2灰黄褐 外面スス<br>付着                   | 脚部はラッパ状で裾端部で横方向に開く 脚部<br>外面ヘラミガキ                              | 後期 スス付着 反転復元                          |
| 84   | 図39 | B    |        | 弥生土器高坏  | -    | 5.5以上  | 8.8  | 脚部50%  | 内7.5YR7/3にぶい橙<br>外5YR7/6橙                  | 脚部はラッパ状に開く 脚部外面ヘラミガキ                                          | 後期 反転復元                               |

# 八反田遺跡出土遺物観察表（3）

| 遺物番号 | 図   | 調査区        | 遺構層位 | 種類器種         | 口径          | 高さ           | 底径          | 残存率          | 色 調                                        | 形態・技法                                    | 備 考                         |
|------|-----|------------|------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------|
| 85   | 図39 | B<br>北     | 砂礫   | 弥生土器<br>高坏   | -           | 7.0<br>以上    | 9.5         | 脚部<br>70%    | 内・外2.5YR6/6橙                               | 脚部はラッパ状に開く                               | 後期 反転復元                     |
| 86   | 図39 | B<br>流木下   | 砂礫   | 弥生土器<br>高坏   | 12.0        | 12.4         | 9.6         | 40%          | 内5YR7/4にぶい橙 外5YR7/6橙                       | 脚部はラッパ状に開く 坏部は深く内湾気味に開く 外面面取りか？          | 後期 反転復元                     |
| 87   | 図39 | B          |      | 弥生土器<br>鉢    | 12.4        | 8.2          | 4.6         | 30%          | 内10YR6/4にぶい黄橙<br>外7.5YR6/4にぶい橙 断面N4/灰      | 椀形 底部中央凹む 口縁端部は尖り気味 外面ヘラミガキ              | 後期 反転復元                     |
| 88   | 図39 | B<br>中央    | 砂礫   | 弥生土器<br>小形鉢  | 8.3         | 5.7          | 3.5         | 50%          | 内・外5YR5/3にぶい赤褐                             | 椀形 底部中央凹む                                | 後期 反転復元                     |
| 89   | 図39 | B<br>南     | 砂礫   | 弥生土器<br>壺蓋   | 9.0         | 2.4          | つまみ<br>径1.4 | 25%          | 内・外10YR6/1褐灰                               | 円盤状 つまみ突出 紐穴2箇所                          | 後期 反転復元                     |
| 90   | 図39 | B<br>北     |      | 土製品          | -           | -            | -           | 100%         | 内・外7.5YR5/3にぶい褐                            | 平らな円盤状 円孔6箇所                             | 後期？                         |
| 91   | 図40 | B          |      | 弥生土器<br>壺    | -           | 8.7<br>以上    | -           | -            | 内7.5YR5/2灰褐<br>外7.5YR6/3にぶい褐               | 体部外面雑な波状文・直線文                            | 後期末(庄内併行期～) 反転復元            |
| 92   | 図40 | B<br>流木下   | 砂礫   | 弥生土器<br>二重口縁 | 14.0        | 3.8<br>以上    | -           | 口縁部<br>25%   | 内・外10YR8/2灰白                               | 口縁部は直線的に開き わずかに肥厚することで屈曲                 | 後期末(庄内併行期～) 反転復元            |
| 93   | 図40 | B<br>南     | 砂礫   | 弥生土器<br>甕？   | 13.6        | 10.8<br>以上   | -           | 口縁部<br>30%   | 内・外5YR6/4にぶい橙                              | 口縁部長く外反                                  | 後期末 反転復元                    |
| 94   | 図40 | B          |      | 弥生土器<br>甕？   | 13.2        | -            | -           | 口縁部<br>50%   | 内10YR5/2灰黄褐<br>外10YR6/2灰黄褐                 | 口縁部長く外反 口縁部横ハケ 外面頸部～<br>体部板状工具ナデ 内面ユビオサエ | 後期末 スス付着 反転復元               |
| 95   | 図40 | B          |      | 弥生土器甕        | 13.8        | 9.5<br>以上    | -           | 口頸部<br>40%   | 内・外7.5YR5/2灰褐                              | 口縁部外反 体部外面平行タキ                           | 後期末 スス付着 反転復元               |
| 96   | 図40 | B          |      | 弥生土器<br>甕    | 18.0        | 15.5<br>以上   | -           | 口縁部<br>25%   | 内7.5YR5/4にぶい褐<br>外5YR5/1褐灰 N2/黒            | 口縁部外反 体部外面平行タキ                           | 後期末 スス付着 反転復元               |
| 97   | 図40 | B<br>北     | 砂礫   | 弥生土器甕        | 23.8        | 13.5<br>以上   | -           | 口縁部<br>15%   | 内7.5YR5/3にぶい褐～7.5YR4/1<br>褐灰 外7.5YR5/3にぶい褐 | 口縁部外反 外端面キザミ 体部外面平行タ<br>キ 内面板状工具ナデ       | 後期末 微細な金雲母多い 反転<br>復元       |
| 98   | 図40 | B          | 砂礫   | 弥生土器<br>甕    | 17.0        | 9.5<br>以上    | -           | 20%          | 内10YR5/4にぶい黄褐<br>外N3/暗灰                    | 口縁部外反 外面平行タキ                             | 後期末 スス付着 反転復元               |
| 99   | 図40 | B壁         |      | 弥生土器<br>甕    | 18.4        | 11.0<br>以上   | -           | 口縁部<br>20%   | 内10YR7/3にぶい黄橙<br>外N2/黒(スス)                 | 口縁部外反 端部付近やや肥厚 内外面粗い<br>ハケ 外面体部下平行タキ     | 後期末 スス外面全体に付着 反転<br>復元      |
| 100  | 図40 | B<br>中央    | 砂礫   | 弥生土器<br>甕    | 14.4        | 11.4<br>以上   | -           | 30%          | 内10YR7/4にぶい黄橙<br>外10YR7/3にぶい黄橙スス付着         | 口縁部短く外傾 体部外面ユビオサエ・ハケ<br>内面板状工具ナデ・部分ケズリ   | 後期末 歪大きい スス外面全体に<br>付着 反転復元 |
| 101  | 図40 | B          |      | 弥生土器<br>甕    | 17.2        | 4.7<br>以上    | -           | 口縁部<br>10%   | 内・外7.5YR5/3にぶい褐                            | 口縁部外反 端部斜め外方に面 外面体部平<br>行タキのち粗いキザミ       | 後期末？ 反転復元                   |
| 102  | 図40 | B<br>流木下   | 砂礫   | 弥生土器<br>甕    | 15.0        | 10.0<br>以上   | -           | 20%          | 内5YR7/4にぶい橙<br>外7.5YR6/3にぶい褐               | 口縁部短く強く外傾                                | 後期末？ 反転復元                   |
| 103  | 図40 | B<br>中央    | 砂礫   | 弥生土器<br>甕    | 23          | 6.2          | -           | 口縁部<br>20%   | 内5YR7/4にぶい橙<br>外10YR5/2灰黄褐 N2/黒            | 口縁部強く外反 口縁部外面平行タキのちコ<br>コナデ 体部外面平行タキのちハケ | 後期末 スス付着 反転復元               |
| 104  | 図40 | B<br>北     | 砂礫   | 弥生土器<br>甕    | -           | 5.2<br>以上    | 5.0         | 底部<br>100%   | 内・外7.5YR7/4にぶい橙                            | 底部脚台 体部外面平行タキ                            | 後期末(庄内併行期～) 熊野型甕<br>一部反転復元  |
| 105  | 図40 | B<br>中央    | 砂礫   | 弥生土器<br>高坏   | -           | 7.9<br>以上    | 11.2        | 脚部<br>15%    | 内・外5YR7/4にぶい橙                              | 脚部内湾気味に開く 外面ヘラミガキ 円孔2<br>箇所以上            | 後期末(庄内併行期～) 反転復元            |
| 106  | 図40 | B<br>北     |      | 弥生土器<br>鉢    | -           | -            | -           | -            | 内7.5YR5/3にぶい褐<br>外7.5YR7/4にぶい橙             | 大型粗製 端部外面キザミ 体部平行タキ                      | 後期末(庄内併行期～)                 |
| 107  | 図40 | B<br>南     |      | 弥生土器<br>鉢    | 44.8        | 6.5<br>以上    | -           | 口縁部<br>10%以下 | 内5YR7/3にぶい橙<br>外10YR7/4にぶい黄橙               | 大型粗製 端部外面キザミ 体部平行タキ                      | 後期末(庄内併行期～) 反転復元            |
| 108  | 図40 | B<br>中央    | 砂礫   | 弥生土器<br>鉢？   | 20.0        | 8.1<br>以上    | -           | 15%          | 内7.5YR5/2灰褐<br>外5YR7/4にぶい橙                 | 外面ハケのち平行タキ 内面ハケ                          | 後期末(庄内併行期～) スス付着<br>反転復元    |
| 109  | 図40 | B<br>南     | 砂礫   | 黒色土器<br>椀    | -           | 2.3<br>以上    | 7.4         | 底部<br>45%    | 内N3/暗灰<br>外10YR7/2にぶい黄橙                    | 黒色土器A 貼付高台 内面渦巻き状暗文                      | 平安時代 反転復元                   |
| 110  | 図40 | B<br>南     |      | 山茶碗<br>碗     | 15.8        | 5.65         | 高台径<br>8.2  | 80%          | 内N5/灰 外N6/灰                                | 貼付高台 高台内回転糸切                             | 内面体部自然釉                     |
| 111  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長2.75<br>以上 | 幅1.7         | 厚0.3        | 100%         |                                            | 凹基式                                      | 縄文時代 サスカイト？                 |
| 112  | 図41 | B<br>南     | 砂礫   | 石鏃           | 長2.8<br>以上  | 幅1.8         | 厚0.45       | 90%          |                                            | 凸基有茎式 基部欠                                | 弥生時代 サスカイト？                 |
| 113  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長3.25       | 幅2.2         | 厚0.6        | 100%         |                                            | 凸基有茎式                                    | 弥生時代 サスカイト                  |
| 114  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長2.9        | 幅2.2         | 厚0.4        | 100%         |                                            | 凸基有茎式                                    | 弥生時代 スレート                   |
| 115  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長2.85       | 幅2.2         | 厚0.3        | 100%         |                                            | 凸基有茎式                                    | 弥生時代 サスカイト？                 |
| 116  | 図41 | B<br>北     | 砂礫   | 石鏃           | 長2.9        | 幅1.5         | 厚0.4        | 100%         |                                            | 凸基有茎式 自然面残る                              | 弥生時代 砂岩                     |
| 117  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長3.9<br>以上  | 1.8          | 0.6         | 80%          |                                            | 凸基無茎式 基部欠                                | 弥生時代 スレート                   |
| 118  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長4.5        | 幅2.5         | 厚0.5        | 100%         |                                            | 凸基有茎式                                    | 弥生時代 スレート                   |
| 119  | 図41 |            |      | 石鏃           | 長3.8<br>以上  | 幅1.9         | 厚0.6        | 90%          |                                            | 凸基有茎式 先端欠                                | 弥生時代 スレート                   |
| 120  | 図41 |            |      | 尖頭器          | 長6.2        | 幅2.25        | 厚0.65       | 100%<br>？    |                                            | 有茎 基部欠？                                  | 弥生時代 スレート                   |
| 121  | 図41 |            |      | 尖頭器          | 長5.5        | 幅3.6         | 厚0.75       | 100%         |                                            | 有茎 自然面残る                                 | 弥生時代 スレート                   |
| 122  | 図41 | A<br>N3    |      | 石錐           | 長2.95       | 幅0.6・<br>1.7 | 厚0.5        | 100%         |                                            |                                          | 弥生時代 スレート                   |
| 123  | 図41 |            |      | 鑿形石斧         | 長4.3        | 幅1.5         | 厚0.6        | 85%          |                                            | 扁平 両刃                                    | 弥生時代 スレート                   |
| 124  | 図41 |            |      | 蛤刃石斧         | 長15.9       | 幅6.2         | 厚4.0        | 95%          |                                            |                                          | 弥生時代 砂岩                     |
| 125  | 図41 |            |      | 蛤刃石斧         | 長12.0       | 幅4.8         | 厚3.2        | 95%          |                                            | 装着痕顕著                                    | 弥生時代 石材不明                   |
| 126  | 図41 |            |      | 石包丁          | 長6.7        | 幅4.4         | 厚0.7        | 約30%         |                                            | 両側穿孔                                     | 弥生時代 緑泥片岩                   |
| 127  | 図41 | A<br>N3-24 | 第3層  | 打製石包丁        | 長11.2       | 幅2.7         | 厚0.9        | 100%         |                                            | 自然面残る                                    | 弥生時代 砂岩                     |
| 128  | 図41 | B<br>壁     |      | スクレイパー       | 長5.7        | 幅2.9         | 厚1.7        | 100%         |                                            |                                          | 弥生時代 スレート                   |

## 八反田遺跡出土遺物観察表（4）

| 遺物<br>番号 | 図   | 調査区      | 遺構<br>層位 | 種類<br>器種 | 口径    | 高さ    | 底径   | 残存率  | 色 調 | 形態・技法               | 備 考        |
|----------|-----|----------|----------|----------|-------|-------|------|------|-----|---------------------|------------|
| 129      | 図41 | B<br>南   | 砂礫       | スクレイパー   | 長6.5  | 幅2.9  | 厚0.6 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 スレート  |
| 130      | 図41 | A中～南     | 第2・3層    | スクレイパー   | 長7.7  | 幅4.1  | 厚0.8 | 100% |     |                     | 弥生時代 サスカイト |
| 131      | 図41 | B<br>北   | 砂礫       | スクレイパー   | 長7.9  | 幅5.6  | 厚1.0 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 サスカイト |
| 132      | 図41 | B<br>流木下 | 砂礫       | スクレイパー   | 長7.9  | 幅4.3  | 厚0.5 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 スレート  |
| 133      | 図41 | B<br>中央  | 砂礫       | 剥片石器     | 長5.7  | 幅5.7  | 厚1.2 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 スレート  |
| 134      | 図41 |          |          | 剥片石器     | 長10.6 | 幅6.9  | 厚1.4 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 砂岩    |
| 135      | 図41 | B<br>中央  | 砂礫       | 剥片石器     | 長9.7  | 幅9.7  | 厚2.5 | 100% |     | 自然面残る               | 弥生時代 砂岩    |
| 136      | 図41 | B<br>南   | 砂礫       | 凹石(台石)   | 長12.9 | 幅11.7 | 厚4.0 | 100% |     | 両面凹む 破損後も利用？側面にも敲打痕 | 弥生時代 砂岩    |
| 137      | 図41 | A<br>中～南 | 第2・3層    | 凹石(台石)   | 長18.8 | 幅9.1  | 厚3.8 | 100% |     | 片面のみ使用              | 弥生時代 砂岩    |
| 138      | 図41 | A<br>N3  | SK4      | 石杵       | 10.5  | 6.1   | 10.0 | 100% |     | L字状                 | 弥生時代 砂岩    |

## 那智山坊跡出土遺物観察表（1）

| 遺物<br>番号 | 図<br>図版 | 調査区<br>地区 | 遺構<br>層位 | 種類<br>器種  | 口径   | 高さ          | 底径  | 残存率        | 色 調                                          | 形態・技法                            | 備 考                           |
|----------|---------|-----------|----------|-----------|------|-------------|-----|------------|----------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 1        | 図45     |           | pit8     | 山茶碗<br>皿  | 8.0  | 2.8         | 4.2 | 40%        | 2.5Y7/1灰白                                    | 貼付高台 全体回転ナデ                      | 反転復元                          |
| 2        | 図45     |           | pit17    | 渥美？<br>壺  | 24   | 3.1<br>以上   | －   | 口縁部<br>15% | 内(2.5GY4/1暗オリーブ灰自然<br>釉) 外7.5YR3/2黒褐         | 強く外反する口縁の端部をわずかに摘み上げる            | 胎土精良 12世紀 反転復元                |
| 3        | 図45     |           | pit19    | 瀬戸<br>卸皿  | 12.4 | 2.5<br>以上   | －   | 10%        | 露胎部N8/灰白<br>釉7.5Y6/2灰オリーブ                    | 灰釉 口縁部外端面窪む 体部外面露胎               | 胎土精良 14世紀 反転復元                |
| 4        | 図45     |           | pit20    | 青磁<br>小碗  | 11.8 | 4.2<br>以上   | －   | 口縁部<br>15% | 胎土N6/灰 釉10G7/1明緑灰                            | 口縁部わずかに外反 鎚蓮弁文                   | 胎土精良 13世紀後半 反転復元              |
| 5        | 図45     |           | pit38    | 山茶碗<br>碗  | －    | 4.1<br>以上   | 7.0 | 底部<br>40%  | 内・外N7/灰白                                     | 貼付高台 高台内回転糸切                     | 反転復元                          |
| 6        | 図45     |           | pit38    | 山茶碗<br>皿  | 9.6  | 3.2         | 4.8 | 95%        | 内7.5Y5/2灰オリーブ(自然釉)<br>外N8/灰白                 | 貼付高台 高台内回転糸切                     | 内面全体自然釉がガラス状に付着<br>底部付近冷め割れ顕著 |
| 7        | 図45     |           | pit38    | 山茶碗<br>皿  | 8    | 1.95        | 5.2 | 80%        | 2.5Y7/1灰白                                    | 平底回転糸切                           | 内外面の約半分にスス付着 灯明<br>皿か？        |
| 8        | 図45     |           | pit38    | 山茶碗<br>皿  | 8.6  | 2.0         | 5.0 | 50%        | 内・外N8/灰白                                     | 平底ナデ                             | 反転復元                          |
| 9        | 図45     |           | pit39    | 山茶碗<br>皿  | 7.5  | 2           | 4.6 | 100%       | 内・外2.5Y7/1灰白                                 | 平底回転糸切                           |                               |
| 10       | 図45     |           | pit39    | 土師器<br>小皿 | 8.8  | 1.3         | 5.7 | 50%        | 内・外7.5YR7/3にぶい橙                              | 手捏ね成形                            | 反転復元                          |
| 11       | 図45     |           | pit42    | 瓦器<br>皿   | 8.0  | 1.6         | 6.2 | 98%        | 内・外N3/暗灰 断面N8/灰白                             | 口縁部ヨコナデ 外底部コビオサエのナデ              | 13世紀                          |
| 12       | 図45     |           | pit45    | 瓦器<br>小碗  | 10.7 | 3.6         | 3.9 | 20%        | 内・外N3/暗灰 断面N8/灰白                             | 断面三角形の貼付高台 内面同心円状・見込<br>み部ループ状暗文 | 13世紀 反転復元                     |
| 13       | 図45     |           | pit45    | 東播系<br>捏鉢 | 27.0 | 6.0<br>以上   | －   | 5%         | 2.5Y6/1褐灰 外面口縁部のみ<br>N3/暗灰                   | 体部から口縁部に向かって肥厚                   | 12世紀後半 反転復元                   |
| 14       | 図45     |           | pit45    | 常滑<br>甕   | －    | 6.9<br>以上   | －   | －          | 内・外N4/灰                                      | 口縁部強く外反し、端部は上下に拡張                | 14世紀                          |
| 15       | 図45     |           | pit45    | 常滑<br>甕   | －    | 6.6<br>以上   | －   | －          | 内・外10YR4/1褐灰                                 | 口縁部強く外反し、端部は上下に拡張                | 14世紀                          |
| 16       | 図45     |           | pit45    | 常滑<br>甕   | －    | 6.7<br>以上   | －   | －          | 内・外N6/灰                                      | 外面格子タキ 花のスタンプ文を重ねる               | 外面自然釉 胎土精良 12世紀               |
| 17       | 図45     |           | pit46    | 山茶碗<br>皿  | 7.8  | 2.1<br>以上   | －   | 90%        | 内・外2.5Y6/1黄灰                                 | 平底ナデ                             |                               |
| 18       | 図45     |           | pit54    | 山茶碗<br>碗  | －    | 3.0<br>以上   | 7.6 | 底部<br>70%  | 内・外2.5Y6/1黄灰                                 | 貼付高台 高台内回転糸切                     | 高台内墨書「南・」 反転復元                |
| 19       | 図45     |           | pit54    | 東播系<br>捏鉢 | 27.0 | 6.6<br>以上   | －   | 20%        | 内・外N5/灰<br>外面口縁部のみN2/黒                       | 口縁部上下に肥厚                         | 13世紀 反転復元                     |
| 20       | 図45     |           | pit61    | 備前<br>壺   | 11.4 | 9.1<br>以上   | －   | －          | 内N4/灰 外N3/暗灰<br>釉2.5GY4/1暗オリーブ灰              | 口縁部玉縁 外面肩部櫛描波状文                  | 外面自然釉 反転復元                    |
| 21       | 図45     |           | pit69    | 山茶碗<br>碗  | －    | 2.0<br>以上   | 6.5 | 底部<br>100% | 内・外2.5Y6/1黄灰                                 | 形骸化した貼付高台 高台内回転糸切 疊付<br>粗穀痕      | 高台内墨書「・・」                     |
| 22       | 図45     |           | pit86    | 土師器<br>皿  | 10.6 | 3.3         | －   | 70%        | 内・外10YR8/1灰白                                 | 底部丸い 内面ハケ(暗文？)                   |                               |
| 23       | 図45     |           | pit88    | 山茶碗<br>皿  | 9.3  | 3.3         | 5.2 | 40%        | 内・外N7.5/灰白                                   | 貼付高台 高台内回転糸切                     | 内面一部自然釉 反転復元                  |
| 24       | 図45     |           | pit105   | 山茶碗<br>碗  | －    | 2.9<br>以上   | 7.4 | 底部<br>100% | 内・外N8/灰白                                     | 貼付高台                             | 高台内墨書「・・」 反転復元                |
| 25       | 図45     |           | pit105   | 山茶碗<br>皿  | 8.1  | 2.25        | 4.1 | 95%        | 内2.5Y6/1黄灰 外2.5Y7/1灰白                        | 平底回転糸切・ナデ                        | 外底部墨書「寿？・」                    |
| 26       | 図45     |           | pit109   | 瓦器<br>碗   | 12.2 | 3.2         | －   | 50%        | 内・外N5/灰                                      | 底部丸い 内面同心円状暗文                    | 和泉型14世紀 反転復元                  |
| 27       | 図45     |           | pit116   | 土師器<br>小碗 | 10.1 | 3.2         | 3.9 | 45%        | 内・外10YR8/3浅黄橙                                | 貼付高台 口縁部外反                       | 瓦器小碗と同形態 反転復元                 |
| 28       | 図45     |           | pit120   | 山茶碗<br>碗  | 16.7 | 4.8～<br>5.1 | 8.6 | 60%        | 内・外N7.5/灰白                                   | 貼付高台 高台内回転糸切 疊付粗穀痕               |                               |
| 29       | 図45     |           | pit135   | 山茶碗<br>皿  | 10   | 2.7         | 5.0 | 40%        | 内・外N8/灰白                                     | 形骸化した貼付高台                        | 内面口縁～体部自然釉砂付着 反<br>転復元        |
| 30       | 図45     |           | pit135   | 山茶碗<br>皿  | 9    | 2.65        | 4.4 | 40%        | N7.5/灰白 内面口縁～体部自然<br>釉7.5Y5/3(灰オリーブ)         | 貼付高台 疊付粗穀痕                       | 内面口縁～体部自然釉 反転復元               |
| 31       | 図45     |           | pit140   | 黄釉陶器<br>盤 | 18.0 | 5.4<br>以上   | －   | 20%        | 露胎部10YR7/4にぶい黄橙 釉<br>(2.5Y7/2灰黄)(10YR5/2灰黄褐) | 口縁端部内外に拡張 口縁部付近露胎 釉は<br>薄い       | 中国製13世紀 胎土粗い 反転復<br>元         |



## 那智山坊跡出土遺物観察表（2）

| 遺物<br>番号 | 図<br>版 | 調査区<br>地区 | 遺構<br>層位    | 種類<br>器種     | 口径   | 高さ          | 底径   | 残存率          | 色 調                                     | 形態・技法                                     | 備 考                              |
|----------|--------|-----------|-------------|--------------|------|-------------|------|--------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------|
| 32       | 図45    |           | pit142      | 瀬戸・美濃<br>天目碗 | 10.4 | 5.9<br>以上   | －    | 20%          | 胎土2.5Y7/2灰黄<br>釉7.5Y3/2オリーブ黒            | 高台付近露胎・回転ヘラケズリ                            | 16世紀 反転復元                        |
| 33       | 図45    |           | pit142      | 瀬戸・美濃<br>皿   | 22.4 | 3.55        | 17.5 | 15%          | 胎土10YR6/1褐灰<br>釉7.5Y6/2灰オリーブ            | 灰釉 高台内に露胎部あり ロ縁部直立し、端<br>部は外方に折れる 見込み部に目跡 | 反転復元                             |
| 34       | 図45    |           | pit142      | 常滑<br>甕      | －    | 6.2<br>以上   | －    | －            | 内10R4/2灰褐 2.5YR2/1赤黒<br>外2.5YR4/1赤灰     | 直立する口縁部外面に幅広く粘土を貼付                        | 15世紀後半                           |
| 35       | 図45    |           | pit147      | 土師器<br>小皿    | 7.5  | 1.9<br>以上   | －    | 10%          | 内・外10YR7/2にぶい黄橙                         | 器壁薄い 体部・口縁部内湾                             | 南伊勢系 反転復元                        |
| 36       | 図45    |           | pit147      | 土師器<br>小皿    | 7.6  | 1.5<br>以上   | －    | 10%          | 内・外10YR8/3浅黄橙                           | 器壁薄い 体部・口縁部内湾                             | 南伊勢系 反転復元                        |
| 37       | 図45    |           | pit148      | 青磁<br>皿      | 11.2 | 1.7<br>以上   | －    | 口縁部<br>10%   | 胎土2.5Y7/1灰白<br>釉5Y6/3オリーブ黄              |                                           | 龍泉窯 12世紀 反転復元                    |
| 38       | 図45    |           | pit151      | 山茶碗<br>皿     | 8.4  | 3.2         | 4.4  | 85%          | 内・外2.5Y7/1灰白                            | 貼付高台 疊付靱殻痕                                |                                  |
| 39       | 図45    |           | pit166      | 瓦器<br>小椀     | 10.6 | 3.1         | 3.8  | 30%          | 内・外N3/暗灰 断面N8/灰白                        | 断面三角形の貼付高台 内面ループ状暗文                       | 反転復元                             |
| 40       | 図45    |           | pit169      | 土師器<br>小皿    | 7.8  | 1.6         | －    | 30%          | 内・外10YR7/3にぶい黄橙                         | 底部は平坦気味                                   | 反転復元                             |
| 41       | 図45    |           | pit174      | 土師器<br>皿     | 15.0 | 3.5         | 9.2  | 30%          | 内・外7.5YR7/6橙                            | 平底・回転系切 器壁厚い                              | 反転復元                             |
| 42       | 図45    |           | pit175      | 山茶碗<br>皿     | 8.2  | 2.4         | 4.0  | 60%          | 内・外N7.5/灰白                              | 平底・回転系切                                   | 内面口縁部部分的に自然釉                     |
| 43       | 図45    |           | pit189      | 山茶碗<br>皿     | 8.5  | 2.45        | 4.4  | 90%          | 内・外N7/灰白                                | 平底・回転系切                                   |                                  |
| 44       | 図45    |           | pit203      | 青磁<br>碗      | 16.4 | 4.8<br>以上   | －    | 口縁部<br>20%   | 胎土N7/灰白<br>釉10Y6/2オリーブ灰                 | 口縁部強く外反 釉に細かい貫入                           | 龍泉窯 15世紀後半 反転復元                  |
| 45       | 図46    |           | SK01        | 山茶碗<br>皿     | 8.2  | 2.5         | 3.7  | 70%          | 内・外2.5Y7/1灰白                            | 平底・回転系切・ナデ ロ縁部肥厚                          |                                  |
| 46       | 図46    |           | SK02        | 青磁<br>碗      | －    | 2.3<br>以上   | 6.0  | 底部<br>100%   | 胎土N7/灰白 釉2.5GY5/1オリ<br>ブ灰 露胎部5Y5/2灰オリーブ | 高台内露胎・回転ヘラケズリ 見込み部片切り<br>彫花文 釉に貫入         | 龍泉窯 13世紀前半 反転復元                  |
| 47       | 図46    |           | SK02        | 青磁<br>盤      | 23.6 | 2.4<br>以上   | －    | －            | 胎土N8/灰白<br>釉10Y6/2オリーブ灰                 | 口縁部玉縁状 内面櫛目                               | 龍泉窯 15世紀前半 漆接ぎの痕<br>跡 反転復元       |
| 48       | 図46    |           | SK02        | 備前<br>擂鉢     | 35.8 | 4.3<br>以上   | －    | 口縁部<br>10%   | 内・外7.5YR4/2灰褐                           | 口縁端部斜め上方に面                                | 乗岡編年中世3期a 14世紀<br>反転復元           |
| 49       | 図46    |           | SK02        | 備前<br>擂鉢     | 28.4 | 5.3<br>以上   | －    | 口縁部<br>10%   | 内7.5YR4/2灰褐<br>外7.5YR5/3にぶい褐            | 口縁部上方に大きく拡張 外方に面                          | 乗岡編年中世5期b 16世紀初<br>反転復元          |
| 50       | 図46    |           | SK02        | 備前<br>擂鉢     | －    | 5.5<br>以上   | －    | 口縁部<br>10%以下 | 内・外7.5YR4/2灰褐                           | 口縁端部上下にわずかに拡張                             | 乗岡編年中世4期b 15世紀中頃<br>反転復元         |
| 51       | 図46    |           | SK02        | 備前<br>甕      | －    | 5.7<br>以上   | －    | 口縁部<br>10%以下 | 内5YR4/2灰褐 外10R3/2暗赤褐                    | 口縁部外反 端部玉縁状                               | 乗岡編年中世4期 15世紀前半                  |
| 52       | 図46    |           | SK02        | 土師器<br>焙烙    | 25.4 | 7.2<br>以上   | －    | 15%          | 内・外7.5YR7/4にぶい橙                         | 体部・口縁部内傾 端部わずかに肥厚 体部<br>平行タキ              | 外面全体煤付着 17世紀 反転復<br>元            |
| 53       | 図46    |           | SK02        | 滑石製品<br>石鍋   | 30.0 | 6.7<br>以上   | －    |              | 内N6/灰 外N7/灰白                            | 断面台形の罫 ロ縁端部上方に面成形時の鑿<br>の痕跡               | 内面煤付着 12世紀 反転復元                  |
| 54       | 図46    |           | 第2石垣<br>裏込  | 山茶碗<br>鉢     | －    | 5.5<br>以上   | 14.2 | 底部<br>25%    | 内・外2.5Y6/1黄灰                            | 外傾する貼付高台 体部下半回転ヘラケズリ                      | 反転復元                             |
| 55       | 図46    |           | 第1石垣<br>裏込  | 肥前系染付<br>蓋   | 12.0 | 4.0<br>以上   | －    | －            | 灰白                                      | 口縁部下方に垂下 ロ縁付近露胎 外面圏線<br>内に雲文・渦卷文          | 伊万里 18～19世紀 反転復元                 |
| 56       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | 17.6 | 5.5～<br>6.0 | 8.5  | 45%          | 内・外2.5Y6/1黄灰                            | 貼付高台 疊付靱殻痕 高台内回転系切・冷<br>め割れ               | 胎土粗い 反転復元                        |
| 57       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | 15.9 | 5.1         | 8.1  | 45%          | 内・外2.5Y6/1黄灰                            | 貼付高台 疊付靱殻痕 高台内回転系切                        | 内面自然釉 反転復元                       |
| 58       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 4.4<br>以上   | 7.5  | 底部<br>90%    | 内・外5Y7/1灰白                              | 貼付高台 高台内回転系切                              | 高台内墨書「・・」 反転復元                   |
| 59       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 2.6<br>以上   | 8.0  | 底部<br>50%    | 内・外2.5Y7/1灰白                            | 貼付高台 高台内回転系切                              | 高台内墨書「・・」 反転復元                   |
| 60       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 2.1<br>以上   | 7.4  | 底部<br>50%    | 内・外2.5Y6/1黄灰                            | 貼付高台 高台内回転系切                              | 内面自然釉 高台内・体部外面2方<br>向墨書「・・」 反転復元 |
| 61       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 3.6<br>以上   | 7.4  | 底部<br>50%    | 内・外2.5Y7/1灰白                            | 貼付高台 高台内回転系切 体部内面自然釉                      | 高台内墨書「・・」 反転復元                   |
| 62       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 2.3<br>以上   | 7.6  | 底部<br>60%    | 内・外2.5Y7.5/1灰白                          | 貼付高台 高台内回転系切                              | 高台内墨書「・・」 反転復元                   |
| 63       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | －    | 2.2<br>以上   | 8.1  | 底部<br>100%   | 内・外2.5Y8/1灰白                            | 貼付高台 高台内回転系切                              | 高台内墨書「・・」 反転復元                   |
| 64       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>碗     | 9.3  | 2.9         | 5.2  | 60%          | 内・外N7/灰白                                | 貼付高台                                      | 高台内墨書「光・坊、上」                     |
| 65       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>皿     | 9.8  | 3.0         | 4.3  | 55%          | 内10Y5/2オリーブ灰（自然釉）<br>外N7/灰白             | 貼付高台 疊付靱殻痕 高台内回転系切                        | 内面ガラス状に自然釉 反転復元                  |
| 66       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>皿     | 8.9  | 2.6         | 4.9  | 85%          | 内7.5Y6/2灰オリーブ（自然釉）<br>外N7/灰白            | 貼付高台 疊付靱殻痕 高台内回転系切 見<br>込み部重焼き痕跡          | 内面自然釉                            |
| 67       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 山茶碗<br>皿     | 9.2  | 2.5         | 4.9  | 80%          | 内・外N7/ 灰                                | 貼付高台 疊付靱殻痕                                | 内面自然釉                            |
| 68       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>碗      | 15.6 | 5.6         | 7.0  | 15%          | 釉10Y7/1灰白<br>胎土N7.5/ 灰白                 | 口縁部玉縁状 高台付近露胎・回転ヘラケズリ<br>体部下半鉤のノッキング痕     | 閩南沿海窯 12世紀後半 反転復<br>元            |
| 69       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>碗      | 17.4 | 6.1         | 7.0  | 30%          | 釉7.5Y7/1灰白<br>胎土N8/灰白                   | 口縁部玉縁状 高台付近露胎・回転ヘラケズリ                     | 閩南沿海窯 13世紀第1四半期 反<br>転復元         |
| 70       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>碗      | 16.1 | 5.9         | 6.0  | 75%          | 釉5Y7/2灰白<br>胎土5Y8/1灰白                   | 口縁部小さな玉縁状 高台付近露胎・回転ヘ<br>ラケズリ 釉に細かい貫入      | 閩南沿海窯 12世紀中頃                     |
| 71       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>碗      | 15.6 | 5.9         | 6.9  | 80%          | 釉7.5Y7/2灰白<br>胎土7.5Y8/1灰白               | 口縁部小さな玉縁状 高台付近露胎・回転ヘ<br>ラケズリ 釉に細かい貫入      | 閩南沿海窯 12世紀中頃                     |
| 72       | 図46    |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>皿      | 10.6 | 2.7         | 3.8  | 30%          | 釉7.5Y8/2灰白<br>胎土N8/ 灰白                  | 外底部窪む・回転ヘラケズリ 露胎                          | 閩南沿海窯 12世紀 反転復元                  |

# 那智山坊跡出土遺物観察表（3）

| 遺物<br>番号 | 図<br>図版 | 調査区<br>地区 | 遺構<br>層位    | 種類<br>器種  | 口径            | 高さ          | 底径  | 残存率          | 色 調                              | 形態・技法                                                     | 備 考                                  |
|----------|---------|-----------|-------------|-----------|---------------|-------------|-----|--------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 73       | 図46     |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>皿   | 10.7          | 2.5～<br>2.7 | 4.2 | 50%          | 釉5Y7/1～7/2灰白<br>胎土5Y8/1 灰白       | 平底 外底部露胎・回転ヘラケズリ                                          | 関南沿海窯 12世紀 反転復元                      |
| 74       | 図46     |           | 整地層<br>(炭層) | 白磁<br>皿   | 11.1          | 2.7         | 4.1 | 50%          | 釉5Y7/2灰白<br>胎土2.5Y8/1 灰白         | 基筋底風 外底部露胎・回転ヘラケズリ 釉に<br>細かい貫入                            | 関南沿海窯 12世紀 反転復元                      |
| 75       | 図46     |           | 整地層<br>(炭層) | 青磁<br>皿   | 9.9           | 2.55        | 2.8 | 80%          | 釉7.5Y6/2灰オリブ<br>胎土N8/ 灰白         | 外底部付近露胎 見込み部ヘラ先で花文                                        | 龍泉窯 12世紀                             |
| 76       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 28.6          | 9.45<br>以上  | －   | 口縁部<br>70%   | 内N6/灰 ごま灰状に自然釉<br>外N5/1～3/1黄灰～黒褐 | 外反する口縁部の端部を上方へ摘み上げ 内<br>面口縁から外面肩部自然釉                      | 胎土精良 12世紀 反転復元                       |
| 77       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 30.6          | 22.7<br>以上  | －   | 口頸部<br>75%   | 5Y5/1灰 内面口縁～外面肩部<br>自然釉          | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ 頸部に突帯                          | 内面口縁から外面肩部自然釉<br>胎土精良 12世紀 反転復元      |
| 78       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 30.6          | 32.0<br>以上  | －   | 口頸部<br>70%   | 内N6/灰<br>外7.5YR4/1褐灰・N6/灰        | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ 頸部に突帯                          | 胎土精良 12世紀 反転復元                       |
| 79       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 26.2          | 21.6<br>以上  | －   | 口頸部<br>80%   | 内2.5Y4/1黄灰<br>自然釉2.5GY4/1オリブ灰    | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ                                | 内面口縁部～外面自然釉 釉垂れ<br>あり 胎土精良 12世紀 反転復元 |
| 80       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 11.8          | 5.6<br>以上   | －   | 口縁部<br>35%   | 内・外N8/灰白                         | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ                                | 口縁部内面肩部自然釉 胎土精良<br>12世紀 反転復元         |
| 81       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 11.8          | 4.7<br>以上   | －   | 口縁部<br>50%   | 内・外N7/灰白                         | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ                                | 内外面部分的に自然釉かかる 胎<br>土精良 反転復元          |
| 82       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 17            | 5.25<br>以上  | －   | 口縁部<br>30%   | 内・外(釉)10Y5/2オリブ灰<br>断面N7/ 灰白     | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ                                | 内外自然釉 12世紀 反転復元                      |
| 83       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 18.4          | 3.9<br>以上   | －   | 口縁部<br>25%   | 内自然釉 ごま塩状(灰白・灰オ<br>リーブ) 外N6/ 灰   | 外反する口縁部の端部を上方へ摘み上げ                                        | 内面自然釉 胎土精良 12世紀 反<br>転復元             |
| 84       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 18.6          | 11.0<br>以上  | －   | 口縁部<br>70%   | 10YR4/1～5/1褐灰<br>自然釉2.5GY5/1オリブ灰 | 外反する口縁部の端部を上方へ摘み上げ                                        | 肩部付近自然釉 胎土精良 12世<br>紀 反転復元           |
| 85       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 17.6          | 8.3<br>以上   | －   | 口縁部<br>100%  | 内N4/～N5/灰<br>自然釉7.5Y5/2灰オリブ      | 口縁部短く直立 端部上方に面                                            | 外面自然釉 胎土精良 反転復元                      |
| 86       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美<br>壺   | 17.2          | 5.8<br>以上   | －   | 口縁部<br>30%   | 内・外N7/灰白                         | 口縁部短く直立 端部は丸い                                             | 肩部自然釉 胎土精良 反転復元                      |
| 87       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 渥美？<br>甕  | 20.8          | 4.9<br>以上   | －   | 口縁部<br>10%   | 内・外N4/ 灰                         | 外反する口縁部の端部をわずかに上方へ摘み<br>上げ 頸部平行タタキ・ナデ                     | 反転復元                                 |
| 88       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 土師器<br>皿  | 15.6          | 4.2         | 8.6 | 70%          | 内7.5YR7/4にぶい・橙<br>外7.5YR7/4にぶい・橙 | 器壁薄い 平底・回転系切                                              |                                      |
| 89       | 図47     |           | 整地層<br>(炭層) | 土師器<br>甕  | 30.8          | 20.8<br>以上  | －   | 80%          | 内・外5YR5/4にぶい・赤褐                  | 口縁部屈曲して強く外傾し、端部斜め上方に<br>面 体部扁球形・外面ユビオサエ・ナデ                | 胎土粗い 長石・金雲母多い 反転<br>復元               |
| 90       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>碗  | 17.8          | 5.65        | 8.8 | 40%          | 内・外2.5Y8/1灰白                     | 貼付高台 畳付靱殻痕 高台内回転系切                                        | 内面部分的に自然釉付着 反転復<br>元                 |
| 91       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>碗  | 15.2          | 4.7         | 7.6 | 35%          | 内・外2.5Y7/1灰白                     | 貼付高台 畳付靱殻痕 高台内回転系切                                        | 反転復元                                 |
| 92       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>碗  | －             | －           | 8.9 | 底部<br>100%   | 内・外5Y7/1灰白                       | 貼付高台                                                      | 高台内墨書「明城」内面体部自然<br>釉 反転復元            |
| 93       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 8             | 2.3         | 4.3 | 100%         | 内・外N8/灰白                         | 平底 回転系切                                                   | 内面口縁～体部自然釉                           |
| 94       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 11.6          | 3.35        | 6.3 | 50%          | 内・外N6/灰                          | 貼付高台・靱殻痕 高台内回転系切                                          | 反転復元                                 |
| 95       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 8.3           | 2.3         | 4.0 | 100%         | 内・外2.5Y7/1灰白                     | 貼付高台？ 畳付靱殻痕                                               | 外面体部～内面自然釉                           |
| 96       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 9.45          | 2.6         | 4.8 | 70%          | 内・外N7/灰白                         | 貼付高台                                                      | 口縁付近自然釉                              |
| 97       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 9.15          | 2.95        | 4.3 | 65%          | 内・外N7/灰白                         | 貼付高台                                                      | 口縁付近自然釉                              |
| 98       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 8             | 1.9         | 5.1 | 80%          | 内・外N7/灰白                         | 平底・回転系切                                                   |                                      |
| 99       | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 山茶碗<br>皿  | 8.3           | 2.2         | 3.8 | 80%          | 内・外2.5Y6/1黄灰                     | 平底・回転系切                                                   | 口縁付近自然釉                              |
| 100      | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 白磁<br>小碗  | 11.3          | 3.6         | 4.9 | 40%          | 釉10Y7/1灰白 胎土N8/灰白                | 高台付近露胎・回転ヘラケズリ                                            | 釉垂れ 関南沿海窯 13世紀第1四<br>半期 反転復元         |
| 101      | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 青磁<br>碗   | 15.2          | 3.7         | －   | 口縁部<br>20%   | 胎土N6/灰 釉5Y5/2灰オリブ                | 外面ハケの上に鎗蓮弁文 内面劃文                                          | 龍泉窯 猫描手 12世紀前半 反<br>転復元              |
| 102      | 図48     |           | 遺構面<br>直上   | 瓦器<br>碗   | 15.0～<br>15.6 | 4.4～<br>4.6 | 4.1 | 85%          | 内N4/灰 外N6/～4/灰                   | 断面三角貼付高台 体部外面ユビオサエ・部<br>分的横ヘラミガキ 体部内面横ヘラミガキ 見<br>込み部分割ミガキ | 焼荒が激しい 外面重焼の痕跡 13<br>世紀前半            |
| 103      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | 15.5          | 5.3         | 6.2 | 40%          | 内・外2.5Y7/1灰白                     | 貼付高台 畳付靱殻痕 高台内回転系切                                        | 胎土粗い 反転復元                            |
| 104      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | 17.5          | 4.6～<br>5.1 | 8.8 | 98%          | 内・外N7.5/灰白                       | 貼付高台・靱殻痕                                                  | 内面わずかに自然釉                            |
| 105      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>鉢  | －             | 3.1<br>以上   | 8.4 | 底部<br>60%    | 内・外N8/灰白                         | 貼付高台                                                      | 高台内墨書「外・坊」？ 反転復元                     |
| 106      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | 13.4          | 4.9         | 5.2 | 30%          | 内・外5Y7/2灰白                       | 貼付高台 高台内回転系切                                              | 胎土精良 高台内墨書「池上房？」<br>反転復元             |
| 107      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | －             | 2.9<br>以上   | 8.8 | 底部<br>100%   | 内・外2.5Y6/1黄灰                     | 貼付高台 高台内回転系切 畳付靱殻痕                                        | 高台内墨書「明城」反転復元                        |
| 108      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | －             | 2.1<br>以上   | 7.4 | 底部<br>60%    | 内2.5Y7/1灰白 外N7.5/灰白              | 貼付高台 高台内回転系切                                              | 高台内墨書「百享 義・・・」反転復<br>元               |
| 109      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>碗  | －             | 3.0<br>以上   | 5.4 | 底部<br>100%   | 内・外2.5Y8/1灰白                     | 平底 回転系切                                                   | 外底部墨書「・」 反転復元                        |
| 110      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>皿  | 9.2           | 3           | 4.5 | 70%          | 内・外2.5Y8/1灰白                     | 貼付高台 畳付靱殻痕・砂付着                                            | 内面全体自然釉(灰オリブ) ガラ<br>ス状になる            |
| 111      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>皿  | 9             | 2.4         | 4.7 | 95%          | 内・外2.5Y7/1灰白                     | 貼付高台 畳付靱殻痕 高台内回転系切                                        |                                      |
| 112      | 図48     |           | 黒灰色土        | 山茶碗<br>鉢  | 30.6          | 9.2<br>以上   | －   | 口縁部<br>15%   | 内N8/灰白 外N6/灰                     | 体部下半ヘラケズリ                                                 | 反転復元                                 |
| 113      | 図48     | 西半分       | 黒灰色土        | 白磁<br>碗   | 15.2          | 4.4<br>以上   | －   | 口縁部<br>5%    | 胎土N8/灰白<br>釉7.5Y7/1灰白(オリブ)       | 体部外面 線描斜線文                                                | 関南沿海窯 反転復元                           |
| 114      | 図48     | 西半分       | 黒灰色土        | 青磁<br>碗   | 16.8          | 4.4<br>以上   | －   | 口縁部<br>10%以下 | 胎土N7/灰白<br>釉7.5GY7/1明緑灰          | 無文                                                        | 龍泉窯 15世紀前半 反転復元                      |
| 115      | 図48     |           | 黒灰色土        | 青磁<br>輪花皿 | 15.8          | 2.7<br>以上   | －   | 口縁部<br>15%   | 胎土2.5Y7/1灰白<br>釉5GY5/1オリブ灰       | 輪花 体部内面沈線                                                 | 龍泉窯 11世紀反転復元                         |

# 那智山坊跡出土遺物観察表（４）

| 遺物<br>番号 | 図<br>版 | 調査区<br>地区    | 遺構<br>層位 | 種類<br>器種         | 口径   | 高さ          | 底径          | 残存率        | 色 調                                 | 形態・技法                                                   | 備 考                        |
|----------|--------|--------------|----------|------------------|------|-------------|-------------|------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------|
| 116      | 図48    |              | 黒灰色土     | 青白磁<br>壺         | 10   | 3.2以上       | -           | 口縁部<br>25% | 胎土 白 釉薄い所白<br>釉濃い所淡水色               | 口縁部玉縁状(折り曲げ)                                            | 景徳鎮窯 12世紀 反転復元             |
| 117      | 図48    | 西半分          | 黒灰色土     | 青磁<br>壺          | 10.8 | 3.6以上       | -           | 口縁部<br>15% | 胎土N5/灰<br>釉2.5GY5/1オリブ灰             | 口縁端部折り曲げ垂下 釉薄い                                          | 龍嶽窯 12世紀 反転復元              |
| 118      | 図48    |              | 黒灰色土     | 土師器<br>皿         | 12.9 | 2.8         | -           | 30%        | 内・外10YR8/1灰白                        | 底部平坦気味 内底部付近ハケ状ナデ                                       | 反転復元                       |
| 119      | 図48    | 西半分          | 黒灰色土     | 瓦器<br>皿          | 8.6  | 1.35        | -           | 40%        | 内・外N4/灰 胎土N5/灰                      | 底部平坦気味 ユビオサエ・ナデ                                         | 13世紀 反転復元                  |
| 120      | 図48    | 西半分          | 黒灰色土     | 山茶碗<br>皿         | 7.8  | 1.7         | 5.1         | 80%        | 内・外2.5Y8/1灰白                        | 平底・板目圧痕                                                 |                            |
| 121      | 図48    | 西半分          | 黒灰色土     | 瓦質<br>火鉢         | -    | 5.2以上       | -           | -          | 内・外7.5YR8/4浅黄橙                      | 輪花状 体部外面印花文                                             | 火中                         |
| 122      | 図48    |              | 黒灰色土     | 備前<br>搦鉢         | 25.8 | 7.6以上       | -           | 口縁部<br>10% | 内・外2.5YR4/2灰赤                       | 口縁端部わずかに上方に拡張 搦目10本<br>/2.6cm                           | 乗岡編年中世4期b 15世紀前半<br>反転復元   |
| 123      | 図48    |              | 黒灰色土     | 備前<br>肩衝茶入       | 2.9  | 6.05        | 4.6         | 60%        | 内・外10R4/2灰赤 断面N6/灰                  | やや上げ底 肩部屈曲 口縁部短く直立 体部<br>下半ヘラケズリ                        | 16世紀後半から17初                |
| 124      | 図48    | 西半分          | 黒灰色土     | 常滑<br>甕          | 31.6 | 4.7以上       | -           | 口縁部<br>10% | 内N4/灰<br>外10Y4/2オリブ灰N2/黒            | 強く外反する口縁の端部をわずかに上下に拡張                                   | 外面自然釉 13世紀後半 反転復元          |
| 125      | 図48    |              | 黒灰色土     | 石製品<br>石鍋        | 24.6 | 6.0以上       | -           | 口縁部<br>15% | 内・外10YR8/1灰白                        | 口縁端部上方に面 口縁下に断面台形の鑿<br>鑿の製作痕                            | 滑石製 13世紀 反転復元              |
| 126      | 図48    |              | 黒灰色土     | 石製品<br>石鍋        | 24.8 | 7.2以上       | -           | 口縁部<br>10% | 内5YR5/2灰黄褐<br>外7.5YR4/2灰褐           | 口縁端部上方に面 口縁下に断面台形の鑿<br>鑿の製作痕                            | 滑石製 13～14世紀 外面スス付着<br>反転復元 |
| 127      | 図49    |              | 黒灰色土     | 肥前系染付<br>皿       | 12.8 | 3.2         | 4.7         | 40%        | 内10G7/1明緑灰<br>外10Y7/1灰白色            | 豊付露胎 内面草花文                                              | 初期伊万里 17世紀前半 反転復元          |
| 128      | 図49    |              | 黒灰色土     | 肥前系染付<br>蕎麦猪口    | 7.4  | 6.2         | 5.6         | 45%        | 淡青白                                 | 外面梅花の中に折枝梅花文・草花文・蛸唐草<br>内面口縁部四方禪文 見込み部二重圏線内に<br>丁寧な五弁花文 | 伊万里 反転復元                   |
| 129      | 図49    |              | 黒灰色土     | 肥前系青磁<br>染付<br>碗 | 11.2 | 6.4         | 4.8         | 30%        | 透明釉(内) 淡グリーン釉(外)                    | 内面口縁部四方禪文 見込み部二重圏線五<br>弁花文 高台内角福か？                      | 波佐見 反転復元                   |
| 130      | 図49    |              | 黒灰色土     | 肥前系染付<br>仏飯器     | 5.2  | 5.35        | 3.5         | 65%        | 白灰色の釉                               | 外底部露胎 碗部外面・圏線間に蛸唐草                                      | 波佐見 反転復元                   |
| 131      | 図49    | 西半分          | 黒灰色土     | 備前<br>搦鉢         | 28.4 | 10.2以上      | -           | 口縁部<br>30% | 内・外2.5YR5/6明赤褐                      | 口縁部上方に拡張 外端面に2条凹線 搦目<br>11本/2.6cm 口縁部に重焼の痕跡             | 17世紀後半 反転復元                |
| 132      | 図49    |              |          | 山茶碗<br>碗         | 14.4 | 5.3         | 6.5         | 60%        | 内・外N7.5/灰白<br>自然釉7.5Y5/3灰オリブ        | 形骸化した貼付高台 豊付靱殻痕 内面冷割<br>れ目立つ                            | 内面口縁部自然釉 胎土粗い 反<br>転復元     |
| 133      | 図49    |              |          | 山茶碗<br>碗         | 13.4 | 5.45        | 5.6         | 20%        | 内・外2.5Y8/2灰白                        | 貼付高台 高台内回転系切 豊付靱殻痕                                      | 高台内墨書 胎土精良 反転復元            |
| 134      | 図49    |              |          | 山茶碗<br>碗         | -    | 2.6以上       | 7.6         | 底部<br>50%  | 内・外2.5Y7/1灰白                        | 貼付高台 高台内回転系切 豊付靱殻痕                                      | 高台内墨書 反転復元                 |
| 135      | 図49    | 北端東西<br>トレンチ |          | 山茶碗<br>皿         | -    | 0.9以上       | 4.0         | 底部<br>50%  | 内・外N6/灰                             | 平底・回転系切                                                 | 外底部墨書 反転復元                 |
| 136      | 図49    |              | 表探       | 山茶碗<br>皿         | 9.6  | 3.15        | 4.1～<br>4.5 | 70%        | 内釉(7.5Y5/2灰オリブ)<br>外N8/灰白           | 貼付高台 高台内回転系切 見込み部重ね焼<br>き痕                              | 内面から外面口縁部までガラス状自<br>然釉     |
| 137      | 図49    |              |          | 山茶碗<br>皿         | 8.5  | 2.4         | 4.8         | 80%        | 内2.5Y7/1灰白 外N8/灰白<br>自然釉7.5Y5/3灰オリブ | 平底・回転系切 器壁厚い 内面重ね焼き痕                                    | 口縁部自然釉                     |
| 138      | 図49    |              | 表土       | 山茶碗<br>皿         | 8.4  | 2.6～<br>2.9 | 4.6         | 95%        | 内N3/暗灰(砂付着) 外N6/灰                   | 貼付高台 高台内回転系切 内面全体砂付着                                    | 重ね焼きの天皿か                   |
| 139      | 図49    |              | 表探       | 山茶碗<br>皿         | 9.8  | 2.55        | 6.1         | 70%        | 内・外10YR7/1灰白                        | 形骸化した貼付高台 高台内回転系切 靱殻<br>痕                               | 体部内面自然釉・外面墨？               |
| 140      | 図49    |              | 表土       | 山茶碗<br>皿         | 9.0  | 2.0         | 5.0         | 100%       | 内・外2.5Y7/1灰白                        | 平底・回転ヘラ？切                                               | 内面口縁部付近自然釉                 |
| 141      | 図49    |              | 表探       | 瀬戸・美濃<br>天目碗     | 12   | 6.05以上      | -           | 口縁部<br>15% | 釉5YR1.7/1黒<br>断面10YR8/2灰白           | 鉄釉 体部下露胎・ヘラケズリ・鬼板掛け                                     | 16世紀前半 反転復元                |
| 142      | 図49    |              |          | 志野<br>碗          | 11.6 | 3.7以上       | -           | 口縁部<br>10% | 胎土2.5Y7/2灰黄<br>釉5Y6/2灰オリブ           | 体部屈曲気味に直立 口縁部わずかに外反<br>長石釉 貫入                           | 反転復元                       |
| 143      | 図49    |              | 表土       | 陶器？<br>皿         | 8.3  | 1.5         | 6.7         | 65%        | 内・外N5/灰                             | 平底・回転系切                                                 | 産地不明                       |
| 144      | 図49    |              |          | 備前<br>甕          | -    | 7.1以上       | -           | -          | 内5YR4/1褐灰<br>外7.5YR3/2(黒褐)5YR3/2暗赤褐 | 口縁部外傾 端部玉縁状                                             | 14世紀                       |
| 145      | 図49    |              |          | 備前<br>甕          | -    | 5.9以上       | -           | -          | 内10R3/1暗赤灰<br>外10R3/2暗赤褐            | 口縁部外傾 端部玉縁状                                             | 15世紀                       |
| 146      | 図49    |              |          | 備前<br>甕          | -    | 12.6以上      | -           | -          | 内N3/暗灰<br>外5Y4/1灰・5Y2/1黒(釉)         | 口縁部短く外反 端部玉縁状                                           | 外面自然釉 14世紀中頃               |
| 147      | 図49    |              |          | 土師器<br>小碗        | 10.4 | 2.7         | 4.7         | 60%        | 内・外・断面10YR8/3浅黄橙 N3/<br>灰           | 断面三角形の低い高台                                              | 反転復元                       |
| 148      | 図49    |              |          | 瓦器<br>小碗         | 9.5  | 3.0         | 4.1         | 40%        | 内・外N4/灰 断面N8/灰白                     | 断面三角形の低い高台                                              | 反転復元                       |
| 149      | 図49    |              | 表探       | 瓦器<br>皿          | 8.5  | 2.2         | -           | 35%        | 内・外N4/灰 断面N8/灰白                     | 器壁厚い                                                    | 反転復元                       |
| 150      | 図49    |              |          | 土師器<br>皿         | 11.8 | 3.1         | -           | 30%        | 内・外10YR8/1灰白                        | 底部やや丸い 体部外面ユビオサエ                                        | 反転復元                       |
| 151      | 図49    |              |          | 土師器<br>皿         | 12.8 | 2.95        | -           | 20%        | 内・外2.5Y8/1灰白                        | 底部平坦気味 内底部付近ハケ状ナデ                                       | 反転復元                       |
| 152      | 図49    |              |          | 土師器<br>皿         | 11.6 | 1.6         | -           | 20%        | 内・外10YR8/2灰白                        | 底部平坦気味 体部口縁部内湾                                          | 南伊勢系 反転復元                  |
| 153      | 図49    |              | 表土       | 土師器<br>小皿        | 9.8  | 1.6         | -           | 40%        | 内・外10YR8/3浅黄橙                       | 底部平坦気味                                                  | 反転復元                       |
| 154      | 図49    |              |          | 土師器<br>小皿        | 6.8  | 1.8         | 5.0         | 20%        | 内・外10YR8/2灰白                        | 平底・回転系切                                                 | 反転復元                       |
| 155      | 図49    |              |          | 土師器<br>土釜        | -    | 4.0以上       | -           | 5%以下       | 内・外N5/灰 7.5YR6/4にぶい橙                | 体部・口縁部直立 口縁端部内上方に拡張<br>口縁部下鑿                            | 口縁端部被熱で発泡する                |
| 156      | 図49    | 北端東西<br>トレンチ |          | 土師器<br>焙烙        | -    | 3.8以上       | -           | 5%以下       | 内・外5YR6/4にぶい橙                       | 体部・口縁部やや内傾 口縁端部肥厚 口縁<br>部下断面三角形の鑿 体部平行タタキ               |                            |
| 157      | 図49    |              | 表探       | 白磁<br>壺          | -    | 2.9以上       | -           | 10%<br>以下  | 胎土N8/灰白<br>釉2.5GY7/1明オリブ灰           | 口縁部緩やかに外反 端部垂下                                          | 関南沿海窯 13世紀 反転復元            |
| 158      | 図49    |              |          | 青磁<br>碗          | -    | 2.6以上       | 5.7         | 底部<br>100% | 胎土N8/灰白<br>釉10Y5/2オリブ灰              | 高台内露胎 見込み部印花文 釉厚い                                       | 龍泉窯 15世紀前半                 |

# 那智山坊跡出土遺物観察表（5）

| 遺物<br>番号 | 図<br>版 | 調査区<br>地区   | 遺構<br>層位   | 種類<br>器種     | 口径          | 高さ         | 底径   | 残存率          | 色 調                                      | 形態・技法                                       | 備 考                                |
|----------|--------|-------------|------------|--------------|-------------|------------|------|--------------|------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------|
| 159      | 図49    |             |            | 白磁<br>四耳壺    | -           | 5.1<br>以上  | 7.8  | 底部<br>25%    | 胎土N7/灰白7.5YR7/4にぶい、橙<br>他 釉2.5GY6/1オリーブ灰 | 高台部露胎・回転ヘラケズリ                               | 焼成やや不良 反転復元                        |
| 160      | 図49    |             | 近世層        | 肥前系染付<br>皿   | 12.6        | 3.7        | 6.4  | 70%          | 釉・胎土灰白                                   | 体部外面唐草文 体部内面草花文 見込み部<br>五弁花文 高台内形骸化した「大明年製」 | 波佐見                                |
| 161      | 図49    |             | 攪乱土        | 堺<br>播鉢      | -           | 13.2<br>以上 | 22.4 | 底部<br>25%    | 内・外10R4/2灰赤                              | 高台 見込部播目放射状 播目13本/3.4cm                     | 反転復元                               |
| 162      | 図49    |             |            | 丹波<br>播鉢     | 26.0        | 3.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%   | 内・外2.5YR4/2灰赤                            | 口縁部内側肥厚 端部外上方に面・やや窪む<br>播目6本/1.3cm          | 反転復元 17世紀                          |
| 163      | 図49    |             |            | 石製品<br>鍋     | 32          | 5.85<br>以上 | -    | 口縁部<br>10%   | 内・外灰白                                    | 口縁端部上方に面 口縁下に断面台形の罫                         | 滑石製 12世紀 反転復元                      |
| 164      | 図49    |             |            | 軒平瓦          | 復元長<br>24.0 | 幅4.5       |      | 瓦当の<br>50%   | N5/灰 断面N8/～7/灰白                          | 郭線内に均整唐草文                                   |                                    |
| 165      | 図50    | 第2トレ<br>第1区 | 灰褐色土       | 山茶碗<br>碗     | 15.5        | 5.15       | 7.4  | 90%          | 内・外N7/灰白                                 | 貼付高台 高台内回転系切 畳付粗殺痕                          | 内面体部の一部灰オリーブの自然<br>釉               |
| 166      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 山茶碗<br>碗     | 14.5        | 5.65       | 5.4  | 25%          | 内・外2.5Y8/2灰白                             | 貼付高台 高台内回転系切 畳付粗殺痕 器<br>壁薄い                 | 東濃 胎土精良 反転復元                       |
| 167      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 山茶碗<br>碗     | 13          | 5.4        | 5.6  | 60%          | 内・外N8/灰白                                 | 貼付高台 高台内板目圧痕 畳付粗殺痕 器<br>壁厚い                 | 内面口縁～体部自然釉 反転復元                    |
| 168      | 図50    |             |            | 山茶碗<br>碗     | -           | 4.8<br>以上  | 5.4  | 底体部<br>20%   | 灰白                                       | 貼付高台 高台内回転系切 畳付粗殺痕 器<br>壁薄い                 | 東濃 胎土精良 高台内墨書 反転<br>復元             |
| 169      | 図50    | 第1トレ<br>1区  | 表土～黒<br>色土 | 山茶碗<br>碗     | -           | 1.3<br>以上  | 8.0  | 底部<br>40%    | 内・外2.5Y7/1灰白                             | 貼付高台 高台内回転系切？                               | 高台内墨書                              |
| 170      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 山茶碗<br>碗     | -           | 3.0<br>以上  | 5.2  | 底部<br>95%    | 内・外2.5Y7/3浅黄                             | 貼付高台 高台内回転系切                                | 東濃 胎土精良 高台内墨書 反転<br>復元             |
| 171      | 図50    | 第2トレ<br>2区  | 旧客土        | 山茶碗<br>皿     | 9.6         | 3          | 4.8  | 70%          | 内・外2.5Y7/1灰白                             | 貼付高台                                        | 内外面墨塗布                             |
| 172      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 山茶碗<br>皿     | 8.4         | 2.55       | 5.4  | 70%          | 内・外10YR8/1灰白                             | 平底・回転系切                                     |                                    |
| 173      | 図50    | 第2トレ<br>2区  | 黄褐色土       | 山茶碗<br>皿     | 9.7         | 2.85       | 4.7  | 80%          | 2.5Y7/2灰黄                                | 貼付高台                                        |                                    |
| 174      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒灰色土       | 山茶碗<br>皿     | 8.4         | 2.25       | 4.7  | 80%          | 内・外2.5YR8/1                              | 平底・回転系切                                     |                                    |
| 175      | 図50    | 第2トレ<br>4区  | 黒色土        | 山茶碗<br>鉢     | 27.2        | 5.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>15%   | 内自然釉(灰オリーブ)N7/灰白<br>外10YR4/1褐灰           |                                             | 反転復元                               |
| 176      | 図50    |             | 暗褐色礫<br>土  | 瀬戸・美濃<br>天目碗 | 12.4        | 5.6<br>以上  | -    | 20%          | 釉7.5YR1.7/1黒<br>胎土10YR8/2灰白              | 体部下露胎 回転ヘラケズリ                               | 17世紀 反転復元                          |
| 177      | 図50    | 第2トレ<br>2区  | 表土         | 瀬戸<br>卸皿     | 15.6        | 2.3<br>以上  | -    | 20%          | 露胎部5Y5/1灰<br>釉5Y6/3オリーブ黄                 | 灰釉 口縁部肥厚 端部内側に摘み出す                          | 15世紀 反転復元                          |
| 178      | 図50    | 第1トレ<br>5区  | 礫群2        | 瀬戸・美濃<br>輪花皿 | 14.2        | 3.0        | 9.0  | 40%          | 釉7.5Y6/3オリーブ黄<br>胎土5Y6/1灰                | 灰釉 高台付近露胎・回転ヘラケズリ                           | 17世紀後半 反転復元                        |
| 179      | 図50    |             | 黒褐色土       | 瀬戸<br>梅瓶     | 4.2         | 2.5<br>以上  | -    | 口縁部<br>25%   | 2.5Y6/1黄灰<br>自然釉10Y6/2オリーブ灰              | 灰釉 口縁部細く直立 端部丸い 端部下に突<br>帯                  | 14世紀 反転復元                          |
| 180      | 図50    |             | 暗褐色礫<br>土  | 常滑<br>甕      | 15.2        | 5.2<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%   | 内・外N3/暗灰                                 | 口縁部外傾・端部近くで外反 端部は上下にわ<br>ずかに拡張              | 肩部自然釉 13世紀前半 反転復<br>元              |
| 181      | 図50    |             | 黒褐色土       | 常滑<br>甕      | -           | 8.2<br>以上  | -    | -            | 内・外2.5YR4/2灰赤                            | 口縁部は内傾 端部の拡張は幅広く口縁部に<br>接する                 | 15世紀前半                             |
| 182      | 図50    |             | 黒褐色土       | 常滑<br>甕      | -           | 10.8<br>以上 | -    | -            | 内N3/暗灰 外N2/黒(釉)                          | 口縁部は内傾 端部近くで強く外反 端部は上<br>下に拡張               | 外面全体に厚い自然釉 13世紀後<br>半              |
| 183      | 図50    | 第2トレ<br>1区  | 攪乱坑        | 丹波<br>播鉢     | 35.2        | 13.3       | 13.6 | 20%          | 内・外7.5YR4/3褐                             | 口縁端部は上下に拡張 外上方に面 片口                         | 播目7本/2.2cm 17世紀後半～18<br>世紀 反転復元    |
| 184      | 図50    | 第3トレ<br>4区  | 表土～黒<br>色土 | 堺<br>壺       | 14.6        | 7.9        | -    | 口縁部<br>25%   | 内・外7.5YR4/2灰褐<br>断面10R5/4赤褐              | 口縁部外反 端部玉縁状 肩部に櫛直線文不<br>規則                  | 備前模倣 18世紀 反転復元                     |
| 185      | 図50    | 第2トレ<br>3区  | 黒色土土<br>層  | 灰釉陶器<br>盤    | 25.2        | 6.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%以下 | 露胎部2.5Y5/1黄灰<br>釉7.5Y6/2灰オリーブ            | 口縁端部内外に大きく拡張 口縁端部付近と<br>体部中位以下露胎 内面鉄絵       | 晋江磁灶窯 13世紀 反転復元                    |
| 186      | 図50    | 第1トレ<br>5区  | 表土         | 青磁<br>盤      | -           | 6.3<br>以上  | -    | 10%<br>以下    | 胎土N8/灰白<br>釉10Y6/2オリーブ灰                  | 口縁部強く屈曲・端部摘み上げ 内面体部丸髹<br>蓮弁状文様              | 龍泉窯 15世紀前半                         |
| 187      | 図50    | 第1トレ<br>4区  | 表土         | 青磁<br>盤      | -           | 2.2<br>以上  | -    | 5%以下         | 胎土N8/灰白<br>釉オリーブ灰 草緑色                    | 口縁部強く屈曲・端部摘み上げ 内面体部丸髹<br>蓮弁状文様              | 龍泉窯 15世紀前半                         |
| 188      | 図50    | 石垣本落<br>込み  |            | 白磁<br>壺      | 10.0        | 2.2<br>以上  | -    | 5%以下         | 胎土N8/灰白<br>釉2.5GY7/1明オリーブ灰               | 口縁部は外傾し端部は垂下                                | 関南沿海窯 13世紀前半 反転復<br>元              |
| 189      | 図50    | 第2トレ<br>3区  | 黒色土土<br>層  | 土師器<br>皿     | 11.4        | 2.7<br>以上  | -    | 20%          | 内・外10YR8/1灰白                             | 底部は平坦気味 口縁端部下凹線                             | 反転復元                               |
| 190      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 土師器<br>鍋     | 25.8        | 2.5<br>以上  | -    | 10%<br>以下    | 内・外10YR4/1褐灰                             | 口縁部は強く外反し、端部は上方に粘土を足し<br>て拡張                | 南伊勢系 反転復元                          |
| 191      | 図50    | 第1トレ<br>8区  | 黒色土        | 石製品<br>石鍋    | 25.4        | 5.0<br>以上  | -    | 口縁部<br>10%   | 内2.5Y5/1黄灰 外罫土2.5Y3/1<br>黒褐 罫下N2/        | 口縁端部上方に面 口縁下に断面台形の罫<br>鑿の製作痕                | 滑石製 外面スス付着 12～13世紀<br>反転復元         |
| 192      | 図50    | 第2トレ<br>4区  | 黒色土        | 石製品<br>石鍋    | 33.1        | 5.1<br>以上  | -    |              | 内・外2.5Y5/1黄灰 罫下煤で黒                       | 口縁端部上方に面 口縁下に断面台形の罫<br>鑿の製作痕                | 滑石製 外面スス付着 再利用の切<br>断痕あり 13世紀 反転復元 |
| 193      | 図50    |             | 表採         | 瓦質土器<br>火鉢   | 29.8        | 7.0<br>以上  | -    |              | 2.5Y7/1 N3/灰白～暗灰                         | 体部・口縁部は内湾 端部は丸い 内外面ヘラ<br>ミガキ 外面印花文          | 反転復元                               |
| 194      | 図50    |             | pit172     | 石製品<br>硯     | 長4.5        | 幅2.7       | 厚1.4 | 95%          | 7.5Y7/1灰白                                | 長方形 下面の方が狭い                                 | 滑石 使用痕あり                           |
| 195      | 図50    |             | pit100     | 石製品<br>硯     | 長8.0<br>以上  | 幅5.5<br>以上 | 厚1.5 | -            | N3/暗灰                                    | 長方形 下面の方が狭い                                 | 粘板岩                                |
| 196      | 図50    |             | 表土         | 石製品<br>硯     | 長6.0<br>以上  | 幅5.5       | 厚0.9 | 40%          | N3/暗灰                                    | 長方形 下面の方がやや狭い                               | 粘板岩 使用痕顕著 中央に穴をあ<br>け再利用           |
| 197      | 図50    |             | 遺構検出<br>面  | 石製品<br>砥石    | 長6.7        | 幅3.6<br>以上 | 厚1.5 | -            | N3/暗灰                                    |                                             | 滑石 石鍋→温石→滑石製数珠玉<br>素材に転用か？         |
| 198      | 図50    |             | 遺構検出<br>面  | 石製品<br>砥石    | 長11.3       | 幅9.8       | 厚2.5 | -            |                                          |                                             | 砂岩                                 |



# 報告書抄録

| ふりがな                | わかやまけんきんきゅうこうそうしゅつじぎょうりんじとくれいききんじぎょうにかかるまいぞうぶんかざいかんれんしりょうせいりがいほう |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
|---------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------|-------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------|------------------|
| 書名                  | 和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業に係る埋蔵文化財関連資料整理概報                             |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| 副書名                 | 和歌山県内 6 遺跡の概要報告書                                                 |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| 編著者名                | 川崎 雅史                                                            |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| 編集機関                | 公益財団法人和歌山県文化財センター                                                |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| 所在地                 | 〒640-8404 和歌山県和歌山市湊571-1 TEL 073-433-3843                        |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| 発行年月日               | 西暦2012年 3 月16日                                                   |                       |                     |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| ふりがな<br>所収遺跡名       | ふりがな<br>所在地                                                      | コード                   |                     | 北緯                | 東経                                  | 調査期間                                   | 調査<br>面積                         | 調査原因             |
|                     |                                                                  | 市町村                   | 遺跡番号                |                   |                                     |                                        |                                  |                  |
| うだもりいせき<br>宇田森遺跡    | わかやまし<br>和歌山市<br>うだもり<br>宇田森                                     | 30201                 | 149                 | 34°<br>15′<br>35″ | 135°<br>14′<br>57″                  | 19910901～19920131<br>20000902～20001031 | 680㎡<br>180㎡                     | 遺跡の<br>範囲確認      |
| あきづきいせき<br>秋月遺跡     | わかやまし<br>和歌山市<br>あきづき<br>秋月                                      | 30201                 | 331                 | 34°<br>13′<br>40″ | 135°<br>12′<br>02″                  | 19990205～19990331                      | 508㎡                             | 高等学校体育<br>施設整備事業 |
| こばやし いせき<br>小林遺跡    | きのかわし<br>紀の川市<br>ももやまちょうこうだ<br>桃山町神田                             | 30208                 | 桃山<br>地区<br>003     | 34°<br>13′<br>38″ | 135°<br>21′<br>10″                  | 19970402～19971128                      | 1100㎡                            | 道路改良             |
| ひらいけ こふんぐん<br>平池古墳群 | きのかわし<br>紀の川市<br>きしがわちょうこうど<br>貴志川町神戸                            | 30208                 | 貴志川<br>地区<br>018    | 34°<br>12′<br>42″ | 135°<br>18′<br>10″                  | 20021117～20030216                      | 335㎡                             | 池改修              |
| はったんだいせき<br>八反田遺跡   | しんぐうし さの<br>新宮市佐野<br>きのかわ<br>・木ノ川                                | 30207                 | 新宮<br>地区<br>019     | 33°<br>40′<br>40″ | 135°<br>58′<br>08″                  | 19911114～19920331                      | 960㎡                             | 河川改修             |
| なちさんぼうあと<br>那智山坊跡   | なちかつうらちょう<br>那智勝浦町<br>なちさん<br>那智山                                | 30421                 | 006                 | 33°<br>40′<br>12″ | 135°<br>53′<br>21″                  | 19890801～19891225                      | 300㎡                             | 駐車場建設            |
| 所収遺跡名               | 種別                                                               | 主な時代                  | 主な遺構                |                   | 主な遺物                                |                                        | 特記事項                             |                  |
| 宇田森遺跡               | 集落跡                                                              | 弥生時代<br>室町時代<br>江戸時代  | 竪穴住居・溝・土<br>坑・土墳墓   |                   | 弥生土器・土師器・陶器・<br>石斧・石包丁・石鏃           |                                        | 弥生時代中期の居<br>住範囲を確認               |                  |
| 秋月遺跡                | 古墳<br>集落跡<br>寺院跡                                                 | 古墳時代<br>奈良時代<br>平安時代他 | 溝・土坑・井戸・<br>堀       |                   | 弥生土器・土師器・須恵器・<br>瓦器・陶器・瓦・埴輪         |                                        | 古代～中世の屋敷<br>地、古墳時代の墓<br>域を区切る溝   |                  |
| 小林遺跡                | 散布地                                                              | 弥生時代<br>奈良時代<br>平安時代  | 溝・掘立柱建物             |                   | 弥生土器・土師器・須恵器・<br>黒色土器・製塩土器          |                                        | 多量の遺物を含む<br>古代の溝                 |                  |
| 平池古墳群               | 古墳                                                               | 古墳時代                  | 前方後円墳・円墳            |                   | 須恵器・埴輪（円筒・形象）                       |                                        | 古墳の規模確認、<br>出土遺物から築造<br>時期の確認    |                  |
| 八反田遺跡               | 散布地<br>集落                                                        | 弥生時代                  | 竪穴建物・土坑・<br>柱穴・自然流路 |                   | 弥生土器・山茶碗・石鏃・<br>石斧・石包丁              |                                        | 弥生時代後期末の<br>集落、各地から搬<br>入された弥生土器 |                  |
| 那智山坊跡               | 寺院跡                                                              | 平安時代<br>鎌倉時代<br>室町時代他 | 掘立柱建物・石垣            |                   | 山茶碗・国産陶磁器・輸入<br>陶磁器・土師器・瓦器・石<br>鍋・硯 |                                        | 宿坊を構成する各<br>時期の建物跡、豊<br>富な陶磁器類   |                  |



和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業に係る

## 埋蔵文化財関連資料整理概報

－和歌山県内 6 遺跡の概要報告書－

2012年 3 月16日

編集・発行 和歌山県教育委員会  
公益財団法人和歌山県文化財センター

印刷・製本 西岡総合印刷株式会社

